

高松市の教育に関するアンケート調査 報告書

令和 5 年 5 月

高松市教育委員会

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の内容	1
3. 調査の対象	1
4. 調査方法	2
5. 調査期間	2
6. 回収結果	2
第2章 調査の結果	3
1. 児童生徒調査	3
2. 保護者調査	14
【1】小・中学校保護者	14
【2】幼稚園・こども園保護者	26
3. 教員調査	31
【1】小・中学校教員	31
【2】幼稚園・こども園教員	40
4. 一般市民調査	44
5. 対象者比較	56
【1】児童生徒、保護者	56
【2】児童生徒、教員	57
【3】児童生徒、保護者、教員、一般市民	58
【4】保護者、教員	59
【5】保護者、一般市民	60
【6】保護者、教員、一般市民	62
参考資料	67
1. 集計表(※対象者比較の一部設問のみ)	67
2. 調査票(小学3年生用)	70
3. 調査票(小学5年生用)	72
4. 調査票(中学2年生用)	75
5. 調査票(小・中学校保護者用)	78
6. 調査票(幼稚園・こども園保護者用)	81
7. 調査票(小・中学校教員用)	83
8. 調査票(幼稚園・こども園教員用)	86
9. 調査票(一般市民用)	88

<第1章 調査の概要>

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

児童生徒の学習意欲、将来に対する意識、家庭や地域における教育力などの現状把握、前回の調査との経年比較を行うことで、本市の教育施策全般に、調査で得た課題等を生かすため、実施した。

2. 調査の内容

- (1) 学校教育(生活)について
- (2) 家庭や地域での教育(生活)について
- (3) 子どもの教育(課題等)、将来に対する意識について
- (4) 本市の教育施策(必要な取組等)について

3. 調査の対象

調査種別	調査対象及び調査方法
児童生徒調査	○対象校 高松市立小学校のうち26校、高松市立中学校のうち11校 ○対象者 小学校:第3学年から1クラス選出、第5学年から1クラス選出 中学校:第2学年から1クラス選出 ※対象学年の特別支援学級の児童生徒を含む。
保護者調査	○対象校・園 児童生徒調査の対象校及び高松市立幼稚園・こども園のうち10園 ○対象者 対象校・園の保護者 小学校:第3学年から1クラス選出、第5学年から1クラス選出 中学校:第2学年から1クラス選出 幼稚園・こども園:年長(5歳児)クラスから1クラス選出 ※小・中学校の保護者調査は、原則として、児童生徒調査のアンケートを実施した学級の保護者 ※特別支援学級の対象学年の保護者を含む。
教員調査	○対象校・園 児童生徒調査の対象校及び高松市立幼稚園・こども園のうち10園 ○対象者 小学校:校長、副校長、教頭、3年団・5年団の教員 中学校:校長、副校長、教頭、2年団の教員 幼稚園・こども園:園長(嘱託園長含む)、クラス担任
一般市民調査	○対象者 無作為抽出した市内在住の20歳以上の男女

4. 調査方法

(1) 児童生徒調査、保護者調査、教員調査

調査票を学校・園に送付し、学校・園を通じて調査対象の児童生徒、保護者、教員に調査票を配布し、Web アンケート(Microsoft Forms)で回答、又は学校・園で調査票を回収した。

(2) 一般市民調査

調査票を郵送し、Webアンケート(Microsoft Forms)で回答、又は調査票に記入後、同封の返信用封筒で回収した。

5. 調査期間

令和4年10月28日～令和4年11月30日

6. 回収結果

調査種別		実施校数	配布数	回収数	回収率	前回の回収率(H26)
児童生徒調査	小学生	26校	1,469	1,419	96.6%	99.5%
	中学生	11校	323	289	89.5%	96.5%
保護者調査	小学生	26校	1,469	1,287	87.6%	95.3%
	中学生	11校	319	250	78.4%	87.6%
	幼稚園・こども園	10園	172	162	94.2%	95.9%
教員調査	小学校	26校	182	182	100.0%	98.5%
	中学校	11校	69	69	100.0%	98.1%
	幼稚園・こども園	10園	20	20	100.0%	100.0%
一般市民調査		—	1,000	372	37.2%	47.7%
全体		—	5,023	4,050	80.6%	87.4%

(注)報告書を読む際の注意点

(1)回答結果の割合「%」は有効サンプル数「N」に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の表においても反映しています。

(2)複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

(3)対象者 小 学 3 年 生 N=744
 小 学 5 年 生 N=675
 中 学 2 年 生 N=289
 小・中 学 校 保 護 者 N=1,537
 幼 稚 園・こ ども 園 保 護 者 N=162
 小・中 学 校 教 員 N=251
 幼 稚 園・こ ども 園 教 員 N=20
 一 般 市 民 N=372

<第2章 調査の結果>

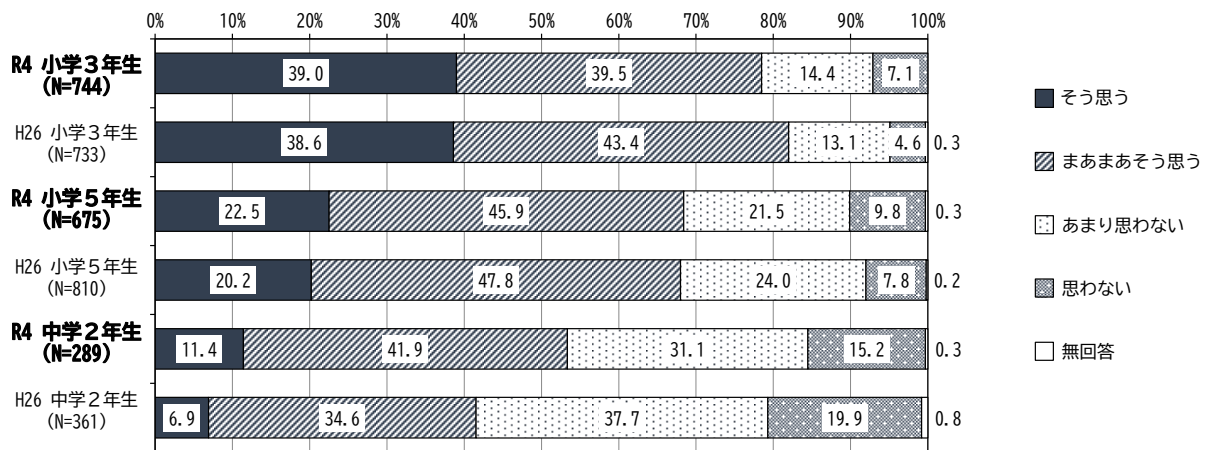
第2章 調査の結果

1. 児童生徒調査

(1)あなたは勉強が面白いですか。

「そう思う」は小学3年生で 39.0%、小学5年生で 22.5%、中学2年生で 11.4%となっており、「そう思う」と「まあまあそう思う」を合わせた数字は小学3年生で 78.5%、小学5年生で 68.4%、中学2年生で 53.3%と学年が上がるにつれて減少している。

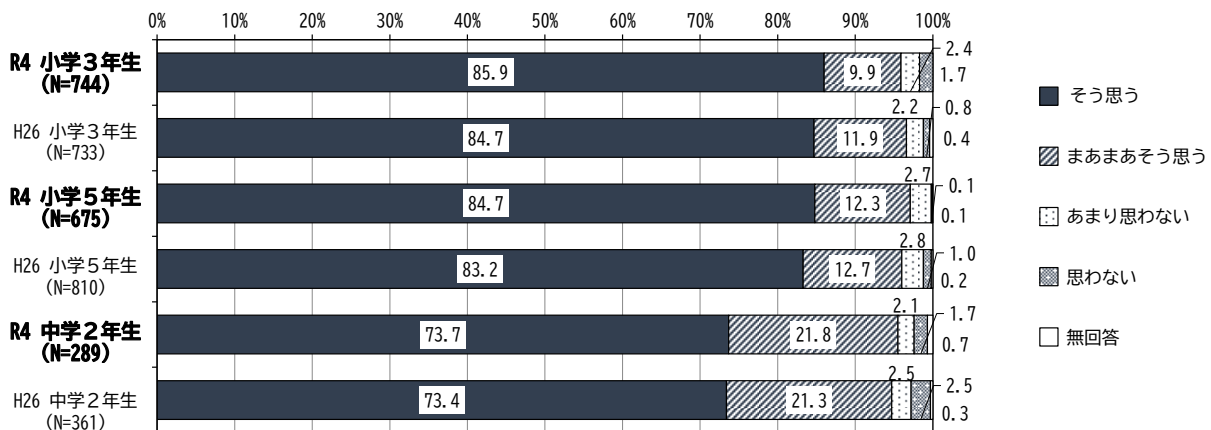
また、前回結果と比べると、小学3年生、小学5年生は大きく変化は見られない。
 中学2年生は「そう思う」と「まあまあそう思う」を合わせた数字は 11.8 ポイント増加している。



(2)あなたは、友達と遊ぶのが楽しいですか。

「そう思う」は小学3年生で 85.9%、小学5年生で 84.7%、中学2年生で 73.7%となっており、「そう思う」と「まあまあそう思う」を合わせた数字は全学年で9割以上と高くなっている。

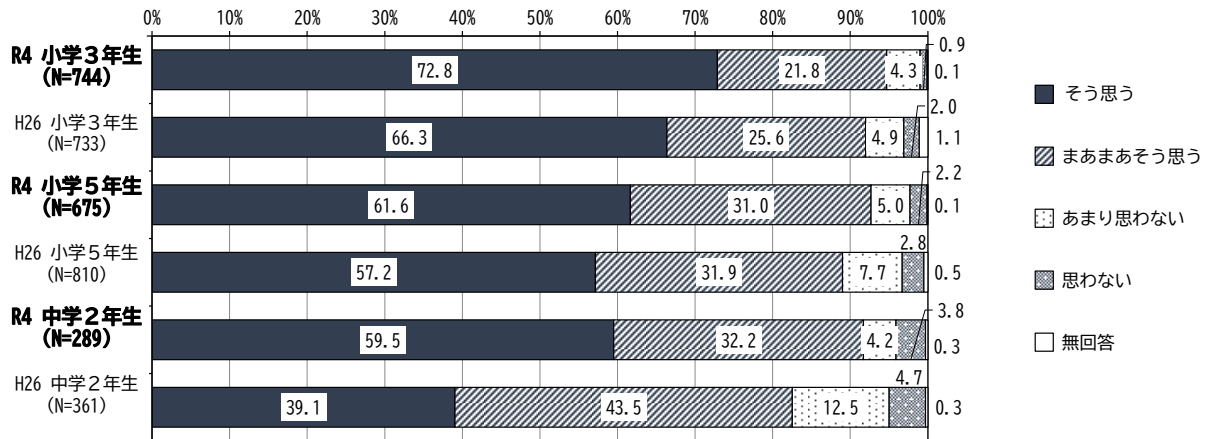
また、前回結果と比べると、全学年、大きく変化は見られない。



(3)あなたの周りには、やさしい先生がいますか。
(H26:良い先生がいるか。)

「そう思う」は小学3年生で 72.8%、小学5年生で 61.6%、中学2年生で 59.5%となっている。「そう思う」と「まあまあそう思う」を合わせた数字は小学3年生で 94.6%、小学5年生で 92.6%、中学2年生で 91.7%と学年が上がるにつれて減少するものの、いずれも9割を超えている。

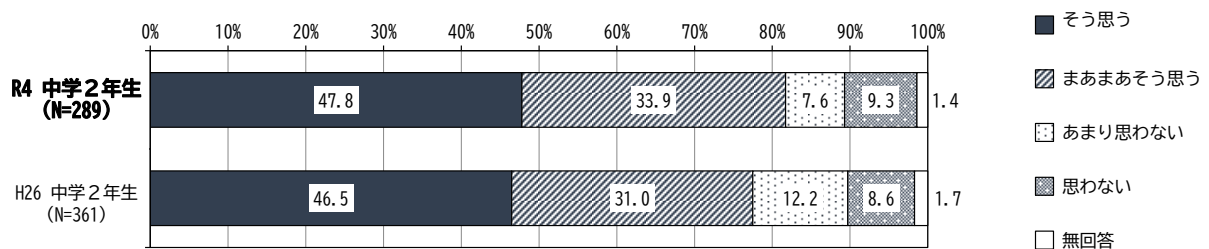
また、前回結果と比べると、小学3年生では「そう思う」が 6.5 ポイント増加しており、中学2年生では「そう思う」の割合は 20.4 ポイント増加している。



(4)あなたは、部活動が楽しいですか。※中学2年生のみ

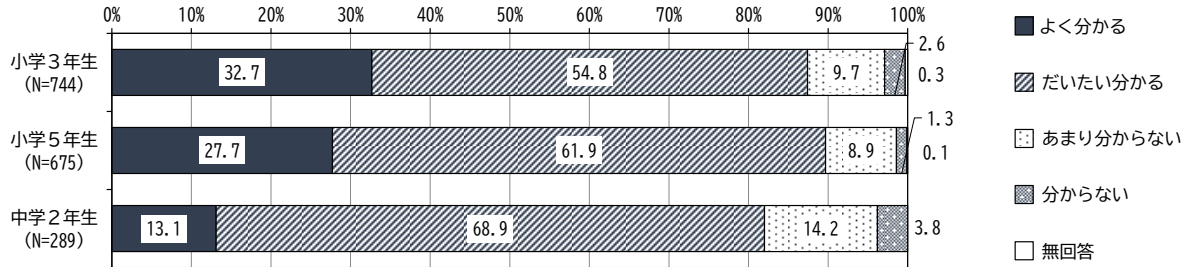
「そう思う」は 47.8%となっており、「まあまあそう思う」と合わせて 81.7%と部活動が楽しいと感じている児童生徒が多くいることがわかる。

また、前回結果と比べると、大きく変化は見られないが、「あまり思わない」の割合は 4.6 ポイント減少している。



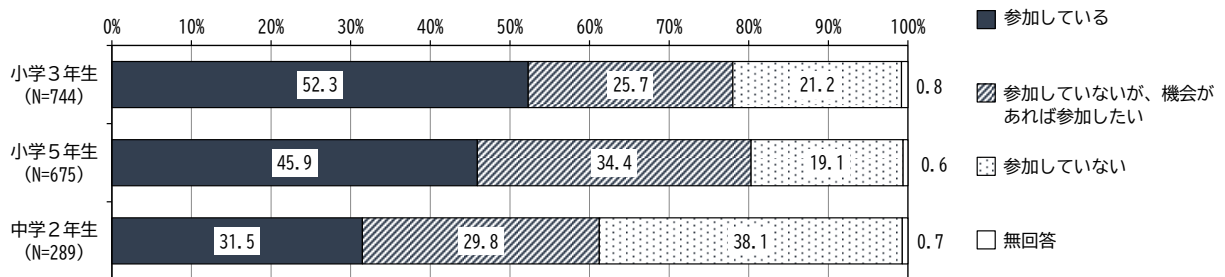
(5)あなたは、学校の授業がどのくらい分かりますか。

「よく分かる」は小学3年生で 32.7%、小学5年生で 27.7%、中学2年生で 13.1%と学年が上がるにつれて減少しているが、「よく分かる」と「だいたい分かる」と合わせた数字は全学年で 8 割以上と高くなっている。



(6)あなたは、学校(学級)の規則(きまり)づくりに参加していますか。

「参加している」は小学3年生で 52.3%、小学5年生で 45.9%、中学2年生で 31.5%となっている。一方、中学2年生では「参加していない」が 38.1%と多くなっている。



(7)あなたは、どんな先生が好きですか。

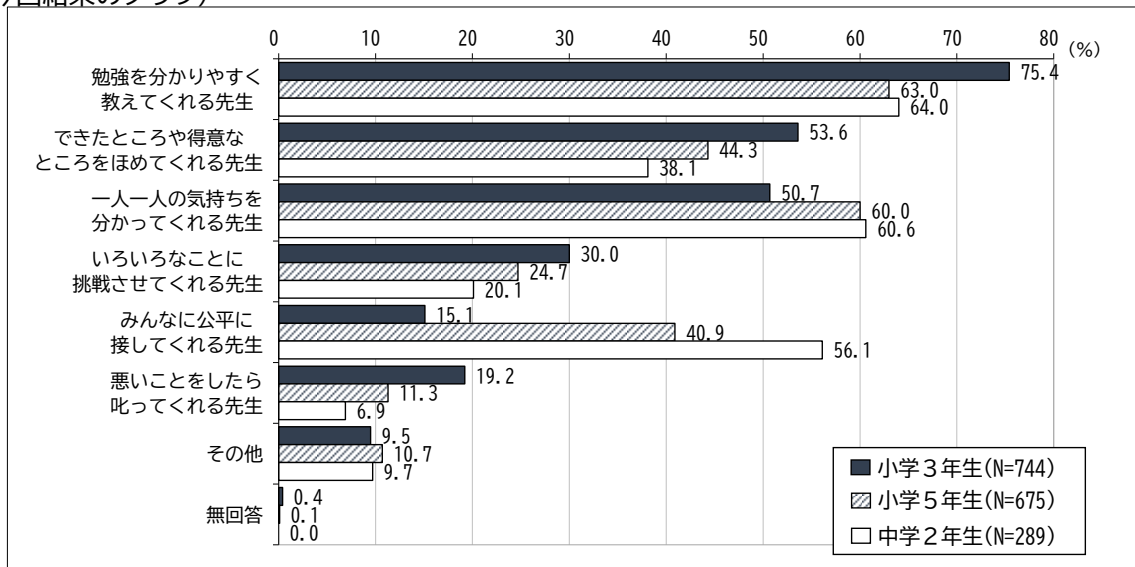
全学年で「勉強をわかりやすく教えてくれる先生」(小学3年生 75.4%、小学5年生 63.0%、中学2年生 64.0%)が最も多くなっている。

また、「できたところや得意なところをほめてくれる先生」、「いろいろなことに挑戦させてくれる先生」、「悪いことをしたら叱ってくれる先生」は低学年ほど高く、一方、「一人一人の気持ちをわかってくれる先生」、「みんなに公平に接してくれる先生」は高学年ほど高くなっている。

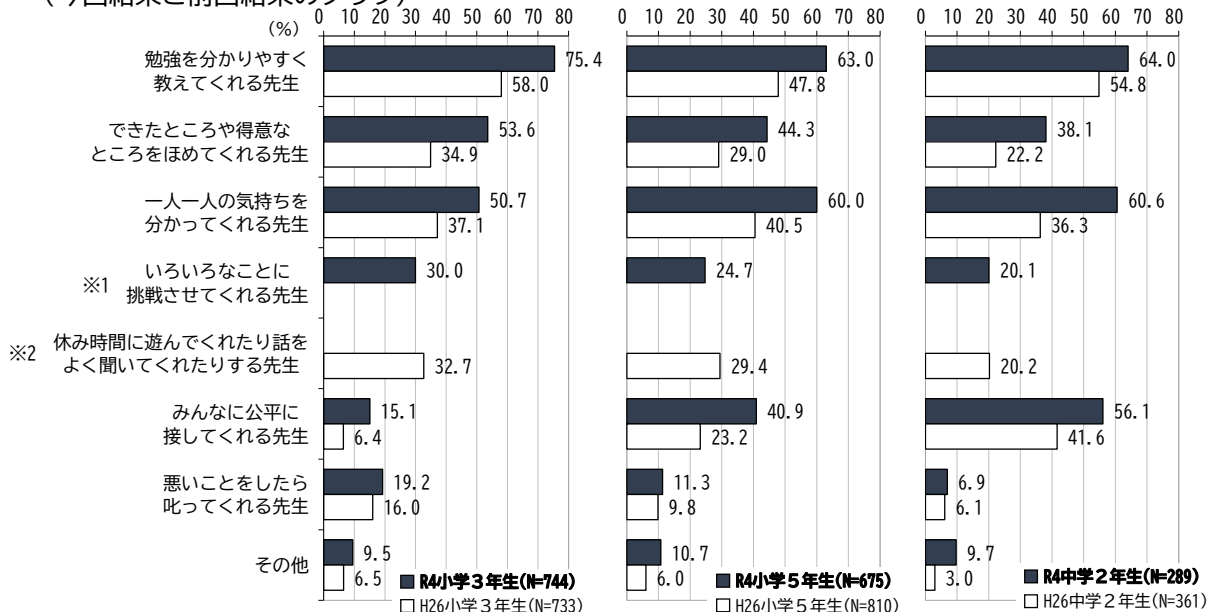
他の対象者に学校へ望むことについてたずねたところ、小・中学校保護者、小・中学校教員、幼稚園・こども園保護者いずれも「教育に対する責任感や愛情を持って接すること」、「分かりやすい授業を工夫すること」が4割以上と高く、一般市民においても「教育に対する責任感や愛情を持って接すること」が4割以上と高く、分かりやすい授業、愛情を持って接することへの関心が高いことが分かる。

また、前回結果と比べると、小学3年生では「できたところや得意なところをほめてくれる先生」が 18.7ポイント、小学5年生、中学2年生では「一人一人の気持ちを分ってくれる先生」がそれぞれ 19.5ポイント、24.3ポイント増加している。

(今回結果のグラフ)



(今回結果と前回結果のグラフ)

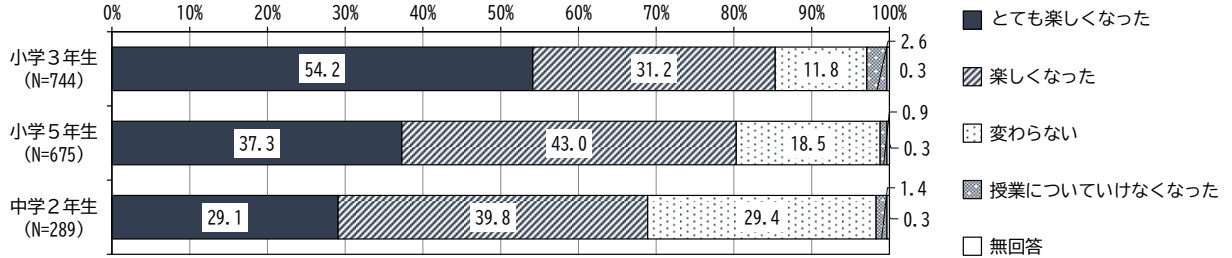


▶対象者比較 P.64

※1 R4 新設項目
※2 R4 項目なし

(8)一人一台端末(タブレット)を使った授業について、これまでの授業と比べてどのように感じていますか。

「とても楽しくなった」は小学3年生で 54.2%、小学5年生で 37.3%、中学2年生で 29.1%と学年が上がるにつれて減少している。「とても楽しくなった」と「楽しくなった」の割合が、約7割を占めている。

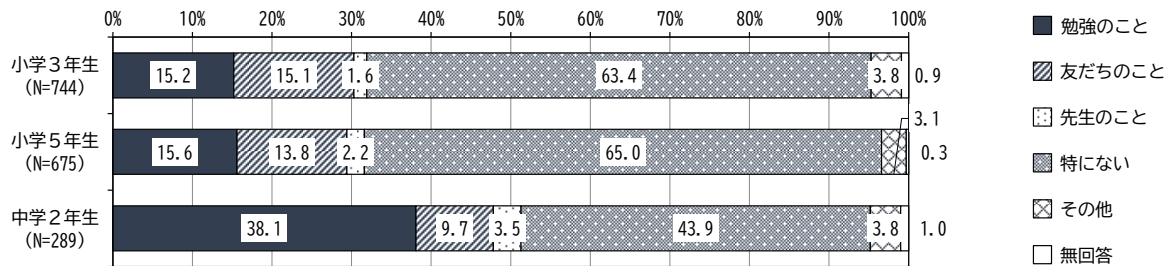


▶対象者比較 P.57

(9)あなたは、学校で困っていることや、不安に思うことがありますか。

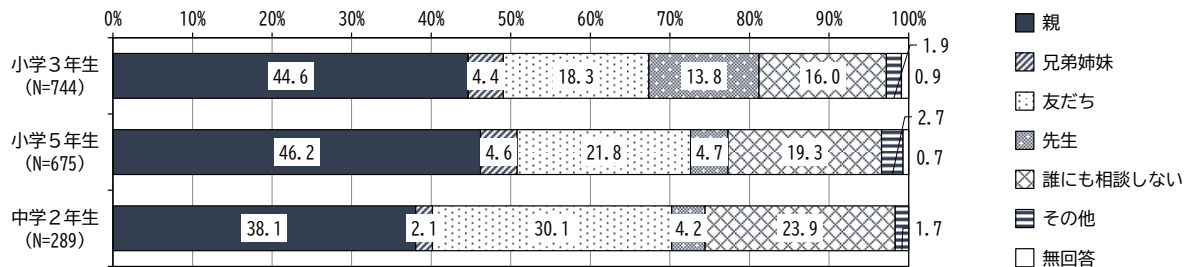
全学年で「特にない」と回答した児童生徒が4割以上と多くなっている。

また、小学3年生、小学5年生は同じような回答傾向を示しているが、中学2年生では「勉強のこと」の割合が 38.1%と多くなっている。



(10)あなたは、学校で困っていることや、不安に思うことがあるときには、誰に相談しますか。

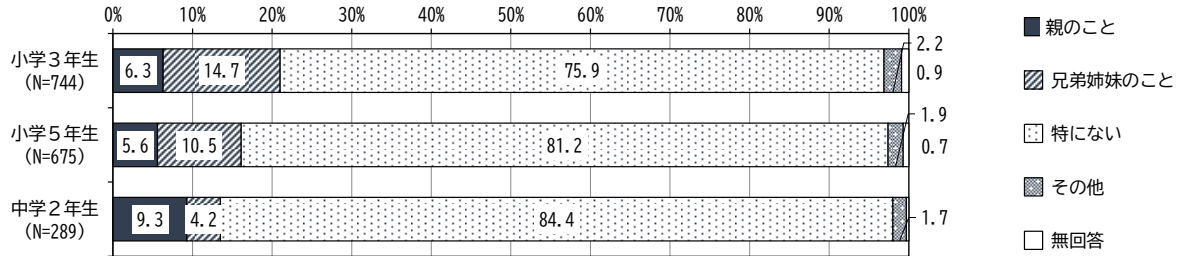
「親」は小学3年生で 44.6%、小学5年生で 46.2%、中学2年生で 38.1%と学年が上がるにつれて減少している。一方、「友だち」、「誰にも相談しない」の割合は学年が上がるにつれて増加している。



(11)あなたは、家で困っていることや、不安に思うことがありますか。

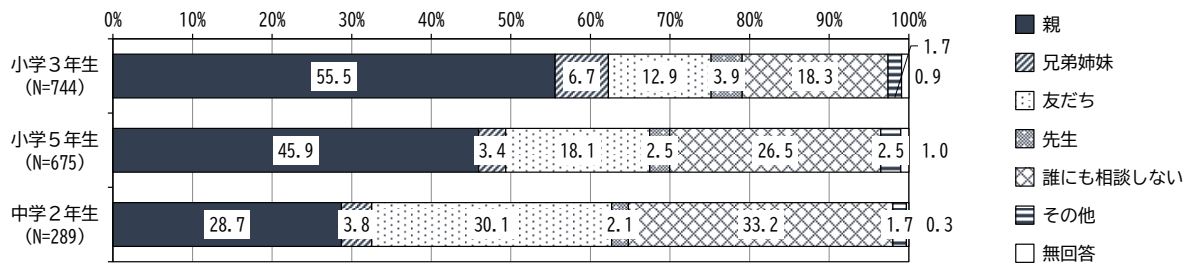
全学年で「特にない」と回答した児童生徒が7割以上と多くなっている。

また、小学3年生、小学5年生では「兄弟姉妹のこと」、中学2年生では「親のこと」の割合が1割程度と多くなっている。



(12)あなたは、家で困っていることや、不安に思うことがあるときには、誰に相談しますか。

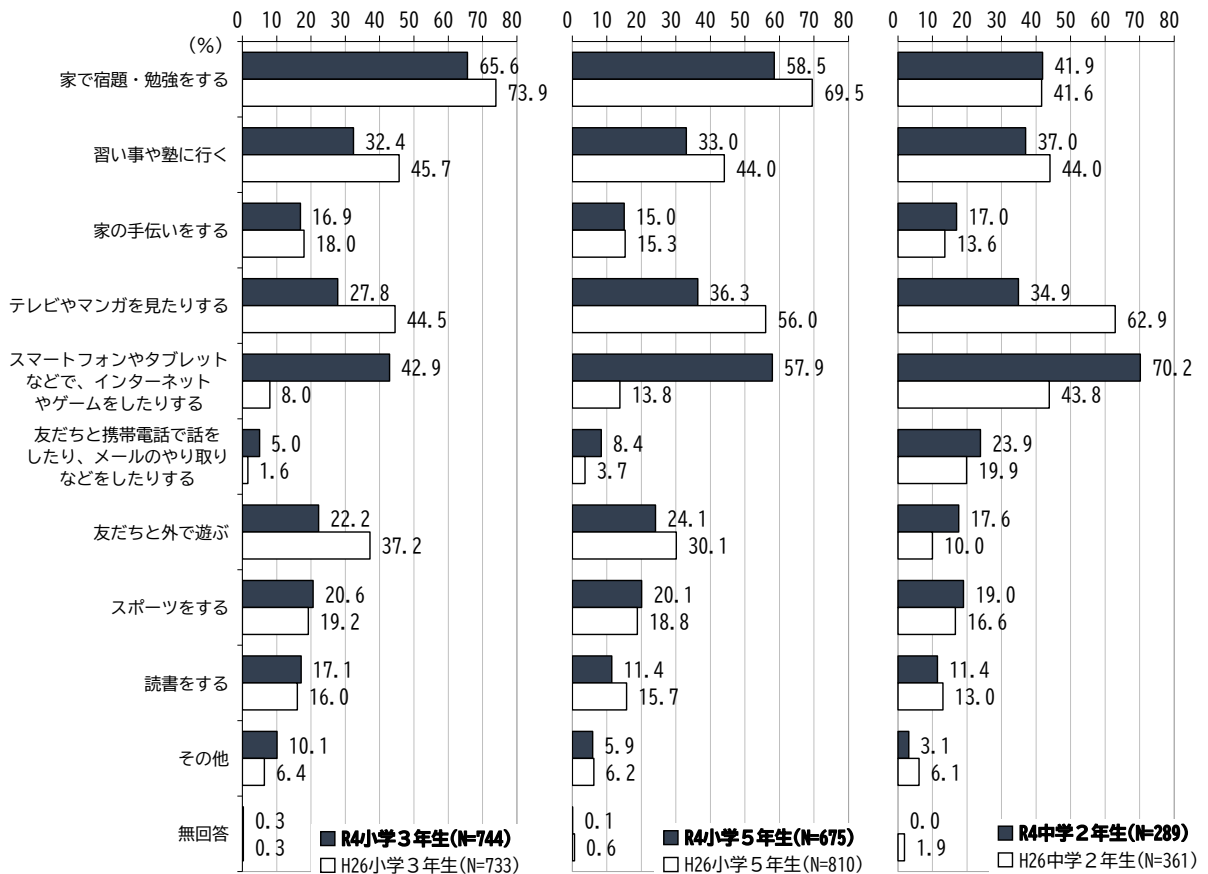
「親」は小学3年生で55.5%、小学5年生で45.9%、中学2年生で28.7%と学年が上がるにつれて減少している。一方、「友だち」、「誰にも相談しない」の割合は学年が上がるにつれて増加している。



(13)あなたは、学校から帰ったら、どのようなことに使う時間が多いですか。

小学3年生、小学5年生では「家で宿題・勉強をする」がそれぞれ 65.6%、58.5%と最も多く、中学2年生では「スマートフォンやタブレットなどで、インターネットやゲームをしたりする」が 70.2%と最も多くなっている。

また、前回結果と比べると、小学3年生、小学5年生では「友だちと外で遊ぶ」がそれぞれ、15.0 ポイント、6.0 ポイント減少している一方、中学2年生では 7.6 ポイント増加している。

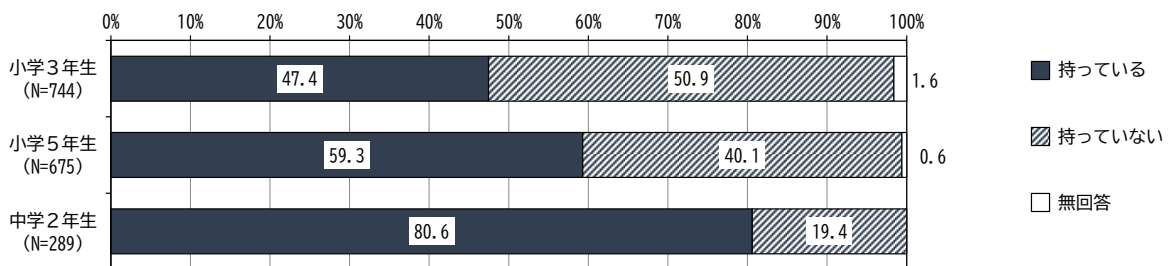


※1 前回 H27：「テレビやマンガを見たり、ゲームをしたりする」

※2 前回 H27：「インターネット（携帯電話・スマートフォンを含む）をする」
<前回と項目内容が異なるため、割合も大きく違っている>

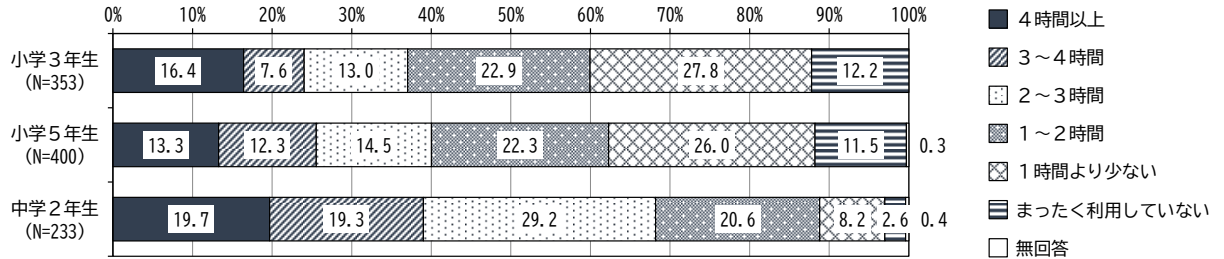
(14)あなたは、自分だけが使う携帯電話やスマートフォンを持っていますか。

「持っている」は小学3年生で 47.4%、小学5年生で 59.3%、中学2年生で 80.6%となっており、学年が上がるにつれて自分専用の携帯電話を持っている割合が多くなっている。



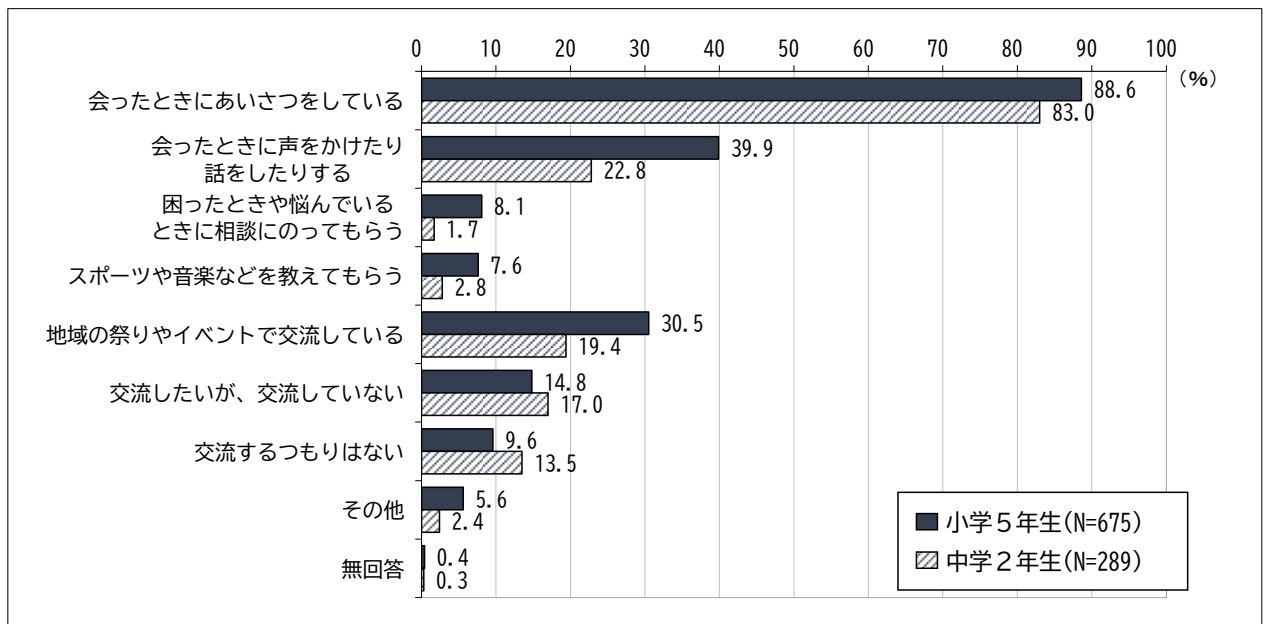
(15)あなたは、平日に携帯電話やスマートフォンを、どのくらいの時間使っていますか。

小学3年生、小学5年生では「1時間より少ない」が最も多く、同じような回答傾向を示しているのに対し、中学2年生では「2～3 時間」が最も多く、平日に携帯電話やスマートフォンを使用する割合が多くなっている。



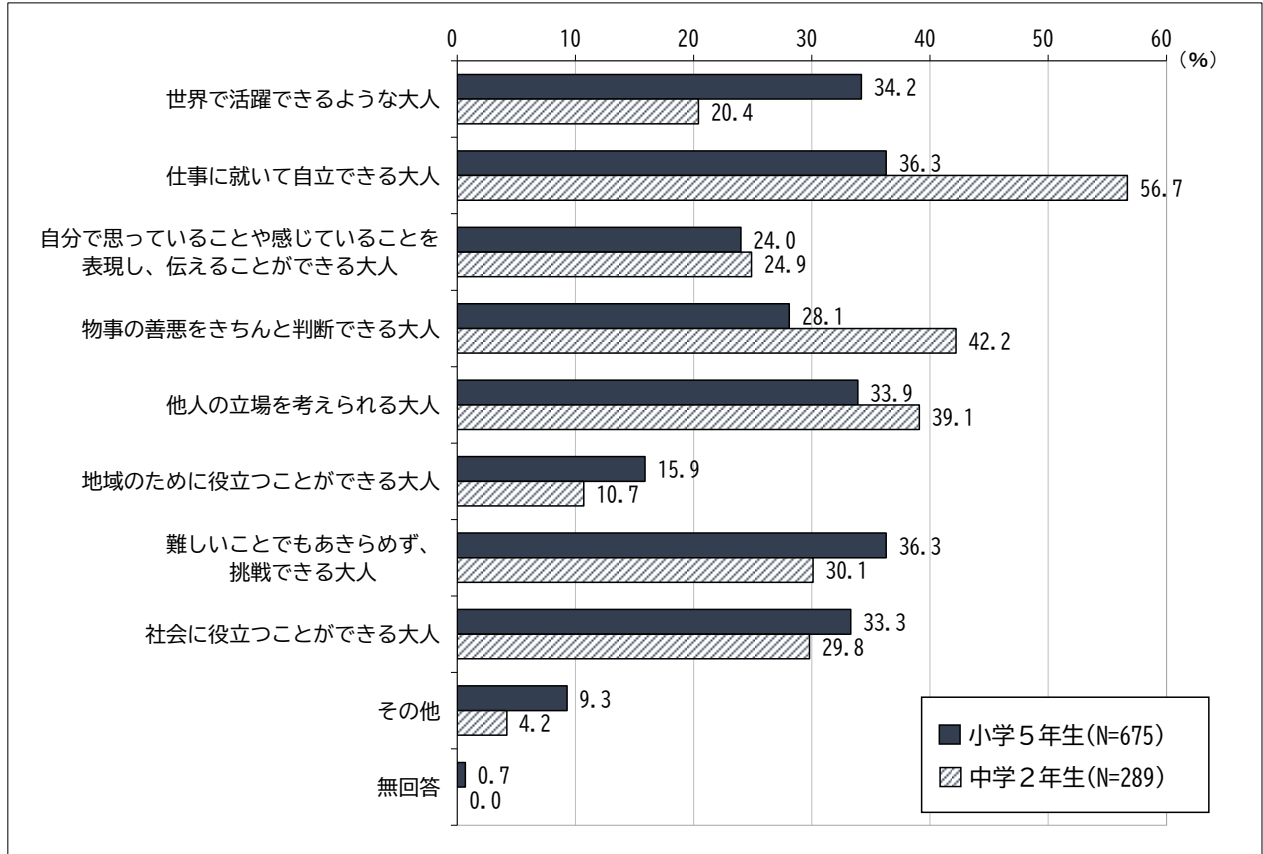
(16)普段、あなたは地域の人たちとどのように接していますか。※小学5年生、中学2年生のみ

小学5年生、中学2年生ともに「会ったときにあいさつをしている」が8割以上と最も多く、次いで「会ったときに声をかけたり話をしたりする」、「地域の祭りやイベントで交流している」、「交流したいが、交流していない」の割合がそれぞれ多くなっている。



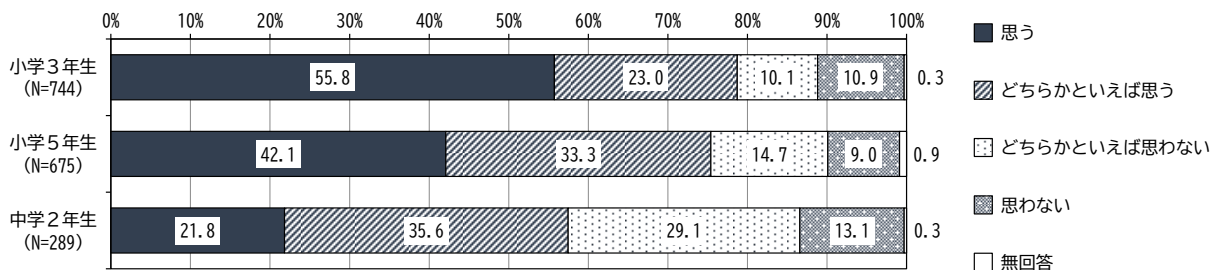
(17)あなたは、将来どのような大人になりたいと思いますか。※小学5年生、中学2年生のみ

小学5年生は「仕事に就いて自立できる大人」、「難しいことでもあきらめず、挑戦できる大人」、「世界で活躍できるような大人」、中学2年生は「仕事に就いて自立できる大人」、「物事の善悪をきちんと判断できる大人」、「他人の立場を考えられる大人」の割合が高くなっている。



(18)あなたは、大人になってからも高松市や今住んでいる地域に住み続けたいと思いますか。

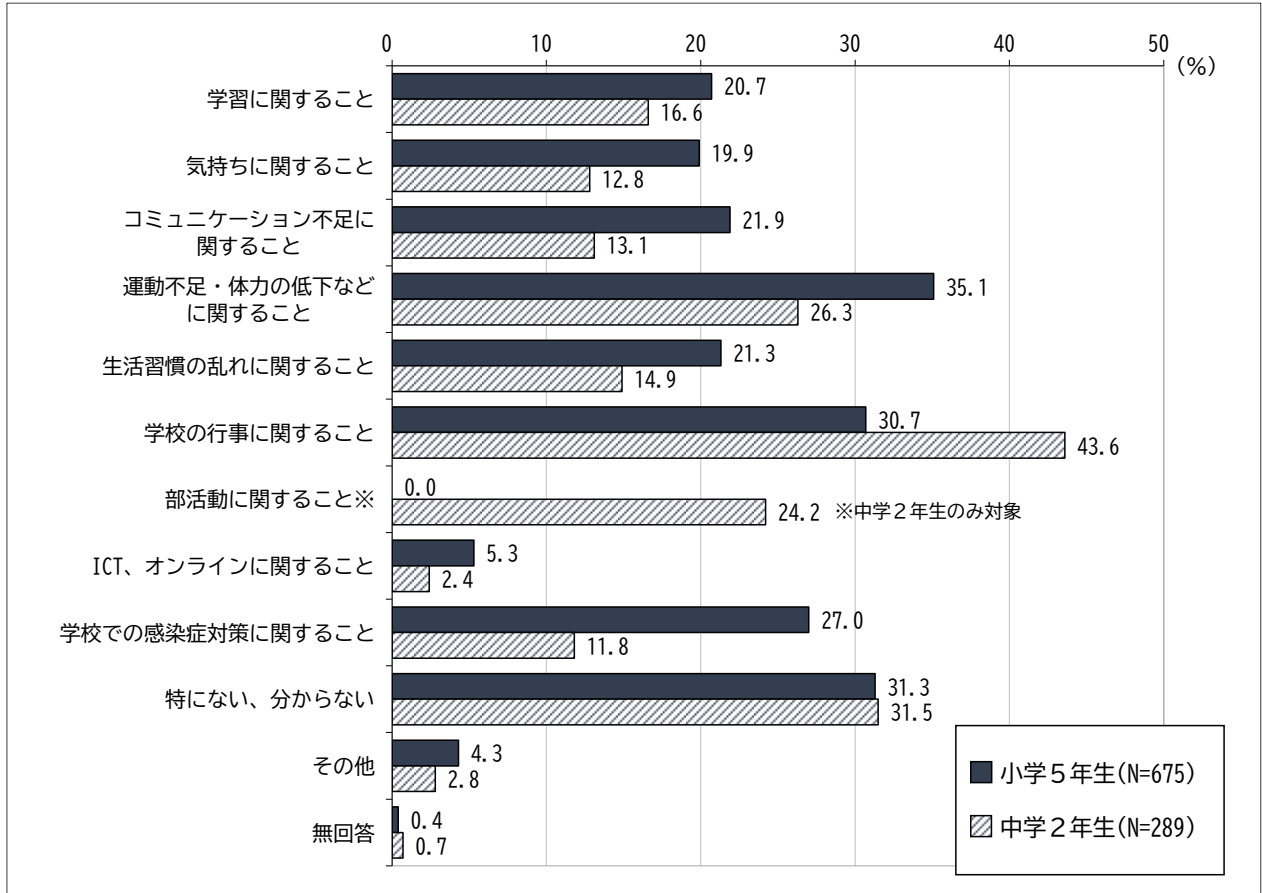
「思う」は小学3年生で55.8%、小学5年生で42.1%、中学2年生で21.8%となっており、中学2年生では半数近く減少しているが、「どちらかといえば思う」を合わせた割合が約6割を占めており、特に小学3年生は8割近い結果となっている。



▶対象者比較 P.56

(19)新型コロナウイルス感染症の流行に関して、あなたが不安に感じていることは何ですか。
 ※小学5年生、中学2年生のみ

小学5年生は「運動不足・体力の低下などに関すること」、「学校の行事に関すること」、「学校での感染症対策に関すること」、中学2年生は「学校の行事に関すること」の割合が高くなっている。



▶対象者比較 P.58

(20)最後に、今後の学校生活でやってみたいことや、学校に変わってほしいと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

主な意見は以下のとおりとなっている。

①学校教育の充実について

- ・パソコンやタブレット端末等を活用した授業を増やしてほしい。
- ・他学年や全校生との交流を増やしてほしい。
- ・文化祭や球技大会等みんなで活動できる学校行事を充実させてほしい。
- ・調理実習がしたい。
- ・英語の時間などで友達と話すときに、できるだけ日本語ではなく英語で話をしたい。
- ・進路について学習したい。
- ・同じスポーツばかりではなく普段やらないスポーツ(パラスポーツの体験など)もやってみたい。
- ・いじめや暴力、差別等、自分が人にされて嫌なことをなくして正しい行動ができる学校にしてほしい。
- ・地域の人と一緒に行事をしたい。

②学校教育環境の整備について

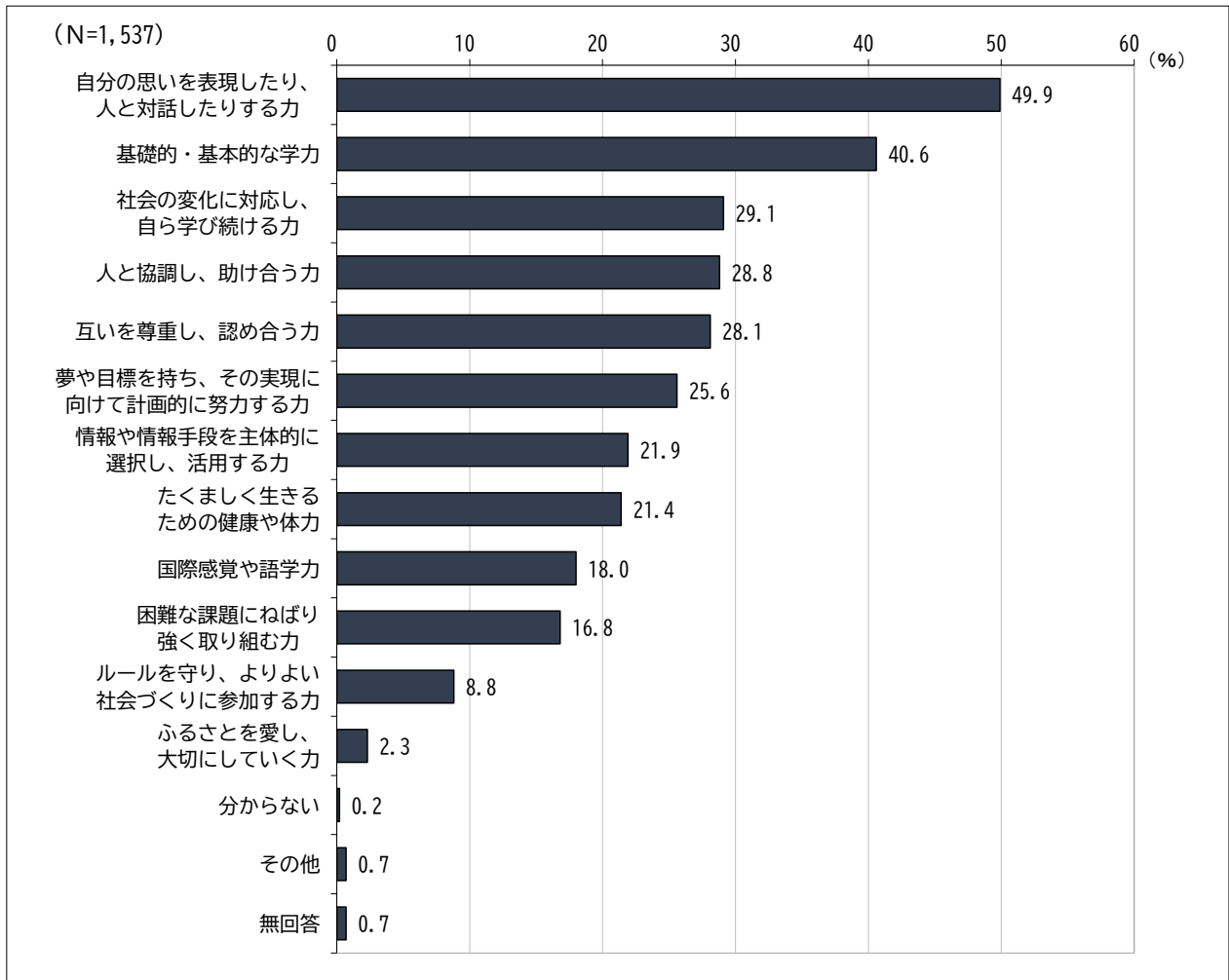
- ・周りの学校に合わせて校則やいろんなこと(髪型・制服の自由化等)を変えたり試したりしてほしい。
- ・図書館の本を増やしてほしい。
- ・学校の中で相談できる場がほしい。
- ・安全な学校であってほしい。

2. 保護者調査

【1】小・中学校保護者

(1)あなたは、これからの子どもたちに特に必要な資質・能力はどれだと思いますか。

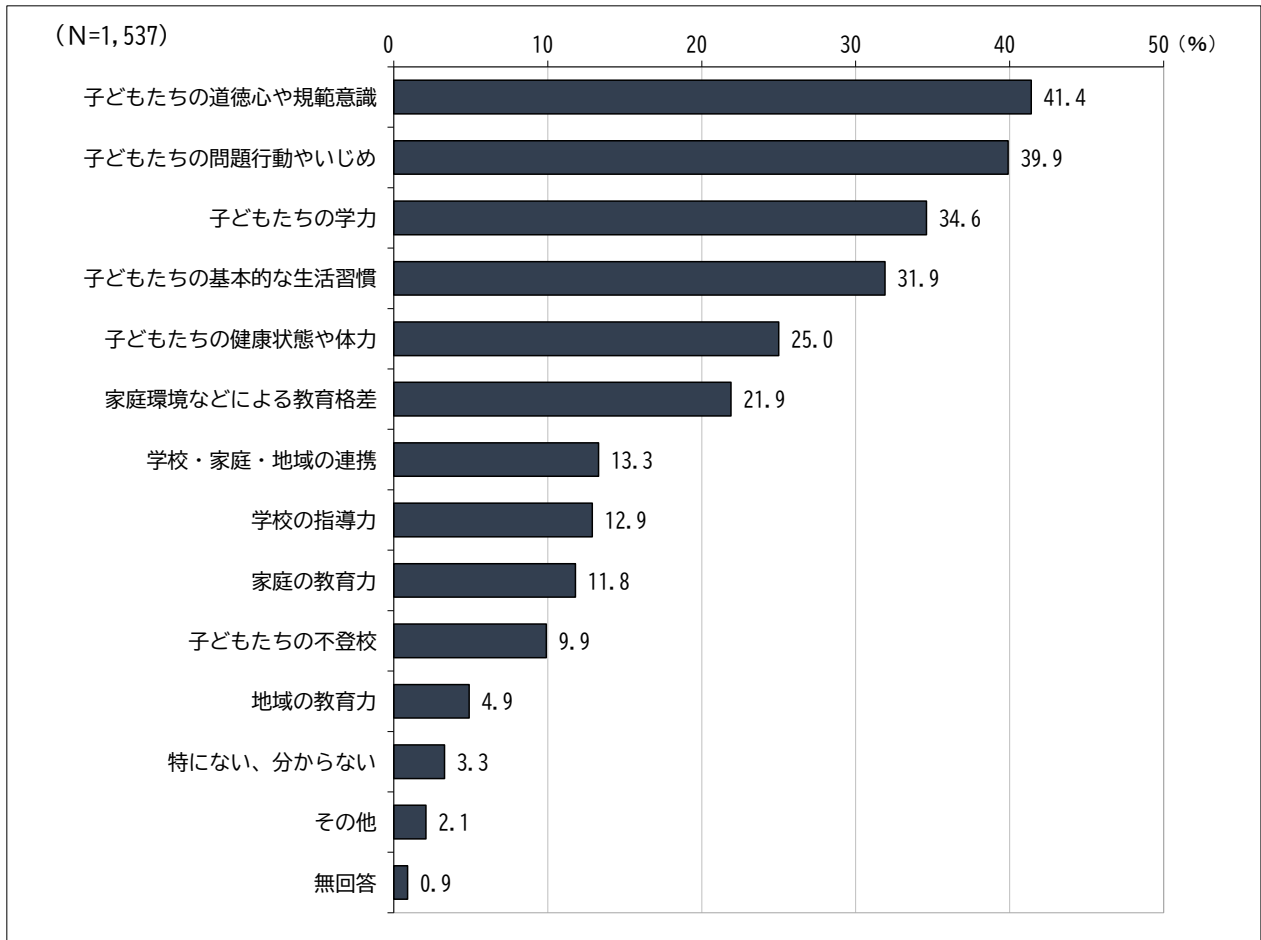
これからの子どもたちに特に必要な資質・能力について、「自分の思いを表現したり、人と対話したりする力」49.9%が最も多く、「基礎的・基本的な学力」40.6%、「社会の変化に対応し、自ら学び続ける力」29.1%と続いている。



▶対象者比較 P.62

(2)あなたが、子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。

子どもたちや教育について課題と感じていることについて、「子どもたちの道徳心や規範意識」41.4%が最も多く、「子どもたちの問題行動やいじめ」39.9%、「子どもたちの学力」34.6%と続いている。

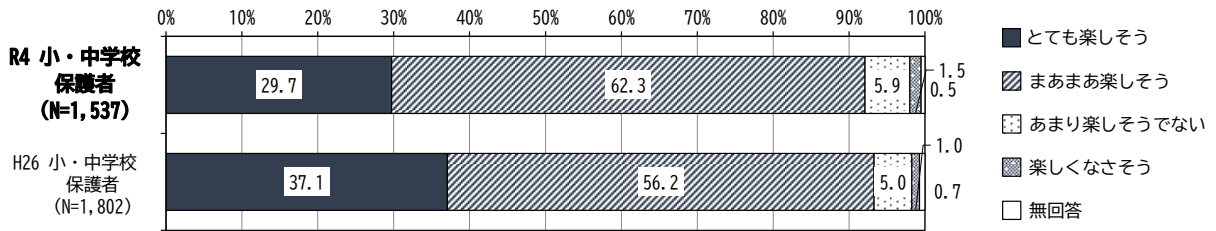


▶対象者比較 P.63

(3)あなたのお子さんは、学校に楽しく通っていますか。

自身の子どもが学校に楽しく通っているかどうかについて、「まあまあ楽しそう」62.3%が最も多く、「とても楽しそう」29.7%と合わせると、楽しそうと感じている保護者が9割以上と多くなっている。

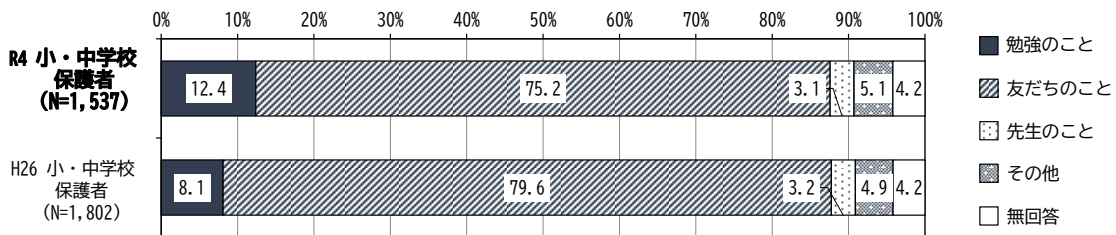
また、前回調査と比べると、「とても楽しそう」が7.4ポイント減少している。



(4)前問の回答について、理由は何だと思えますか。

楽しく通っているかどうかの理由について、「友だちのこと」75.2%が最も多く、「勉強のこと」12.4%、「その他」5.1%と続いている。

また、前回調査と比べると、「勉強のこと」が4.3ポイント増加している。

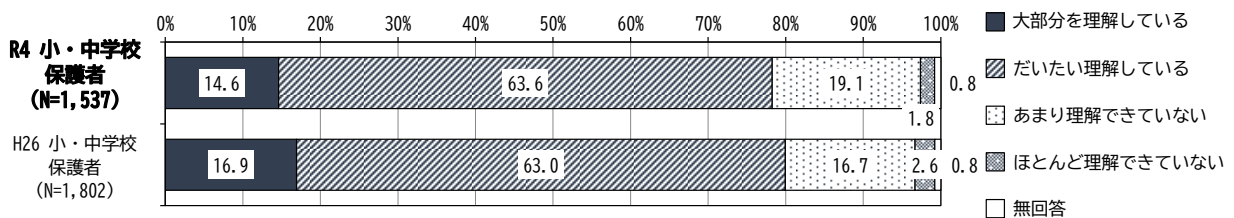


(5)あなたはお子さんが、学習内容をどのくらい理解していると思えますか。

自身の子どもの学習内容の理解度について、「だいたい理解している」63.6%が最も多く、「大部分を理解している」14.6%と合わせると、理解していると感じている保護者が約8割となっている。

一方、「あまり理解できていない」19.1%も約2割となっている。

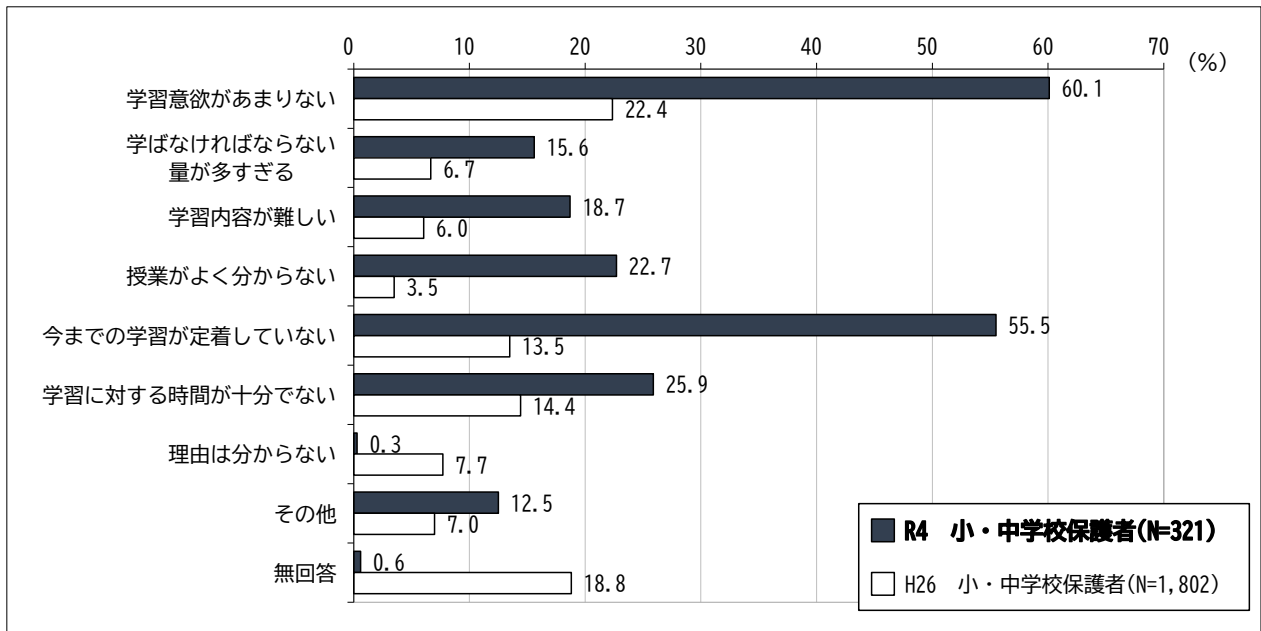
また、前回調査と比べると、大きな差は見られない。



(6)理解が十分でない理由は何だと思いますか。

理解が十分でない理由について、「学習意欲があまりない」60.1%が最も多く、「今までの学習が定着していない」55.5%、「学習に対する時間が十分でない」25.9%と続いている。

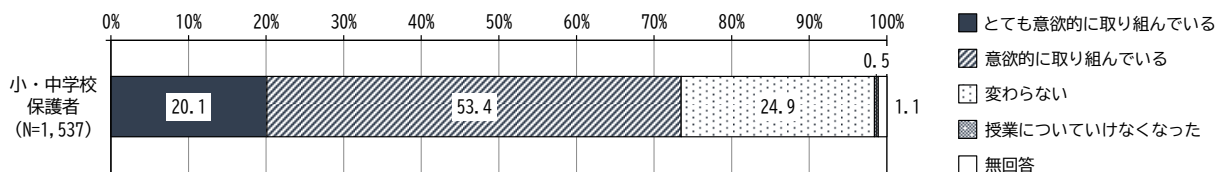
また、前回調査と比べると、「学習意欲があまりない」22.4%、「学習に対する時間が十分でない」14.4%の回答数が多く、各項目の割合が分散されているが、今回調査では、「学習意欲があまりない」60.1%、「今までの学習が定着していない」55.5%と回答数が5割以上と多くなっている。今回は複数回答のため、各項目への回答数の割合の差が出ている。



※前回調査は単数回答

(7)あなたのお子さんは、一人一台端末を使った授業について、意欲的に取り組んでいると思いますか。

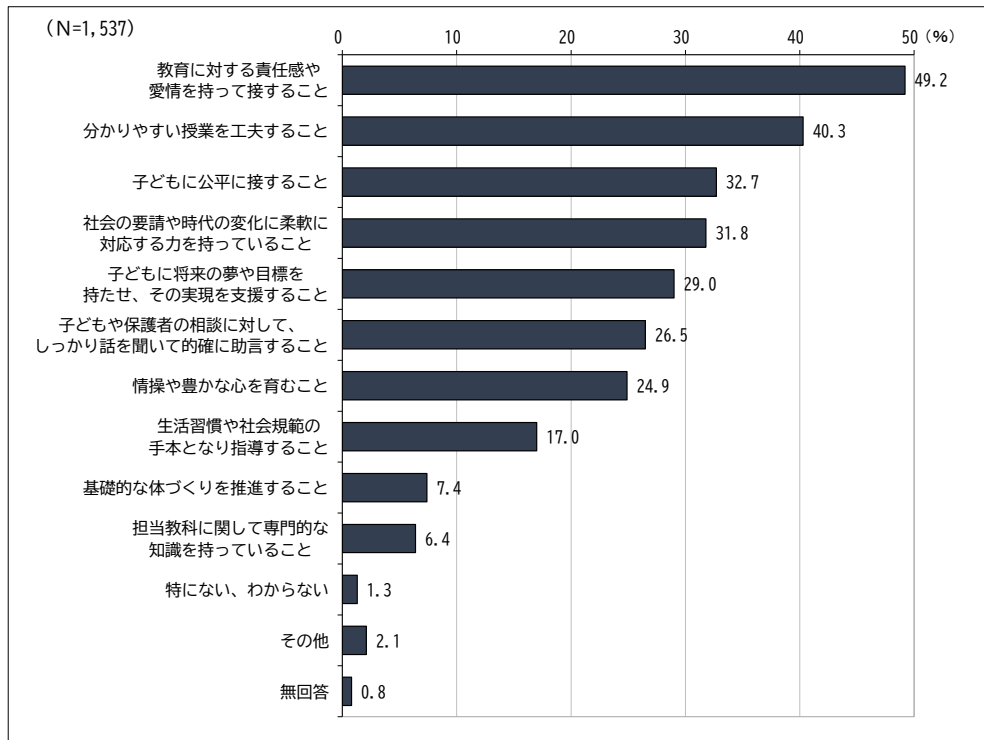
自身の子どもが、一人一台端末を使った授業について意欲的に取り組んでいるかどうかについて、「意欲的に取り組んでいる」53.4%が最も多く、「とても意欲的に取り組んでいる」20.1%と合わせると、7割を超えている。



▶対象者比較 P.57

(8)あなたは、学校に対してどのようなことを望みますか。

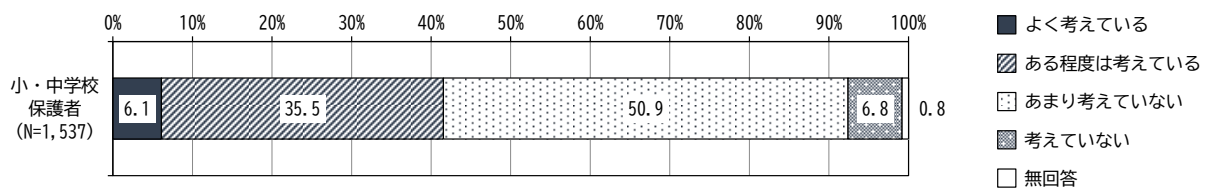
学校に対して望むことについて、「教育に対する責任感や愛情を持って接すること」49.2%が最も多く、「分かりやすい授業を工夫すること」40.3%、「子どもに公平に接すること」32.7%と続いている。



▶対象者比較 P.64

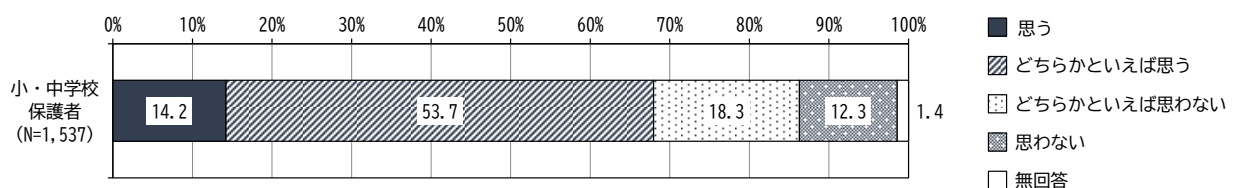
(9)あなたは、お子さんが、将来について考えていると思いますか。

自身の子どもが、将来について考えているかどうかについて、「あまり考えていない」50.9%が最も多く、「ある程度は考えている」35.5%、「考えていない」6.8%と続いている。



(10)あなたは、将来、お子さんに高松市に住み続けてもらいたいと思いますか。

将来、子どもに高松市に住み続けてもらいたいかどうかについて、「どちらかといえば思う」53.7%が最も多く、「思う」14.2%と合わせると約7割を占めている。

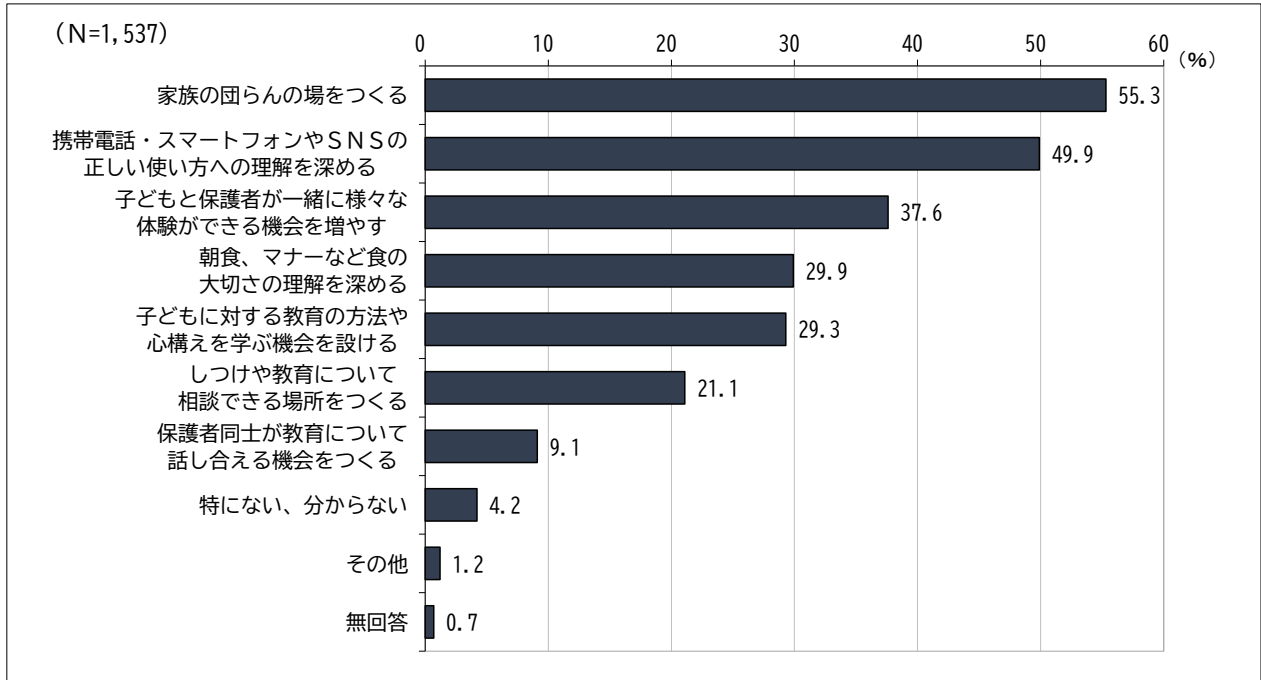


▶対象者比較 P.56

(11)あなたは、家庭教育についてどのような取組が必要だと思えますか。

家庭教育に必要な取組について、「家族団らんの場をつくる」55.3%が最も多く、「携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方への理解を深める」49.9%、「子どもと保護者が一緒に様々な体験ができる機会を増やす」37.6%と続いている。

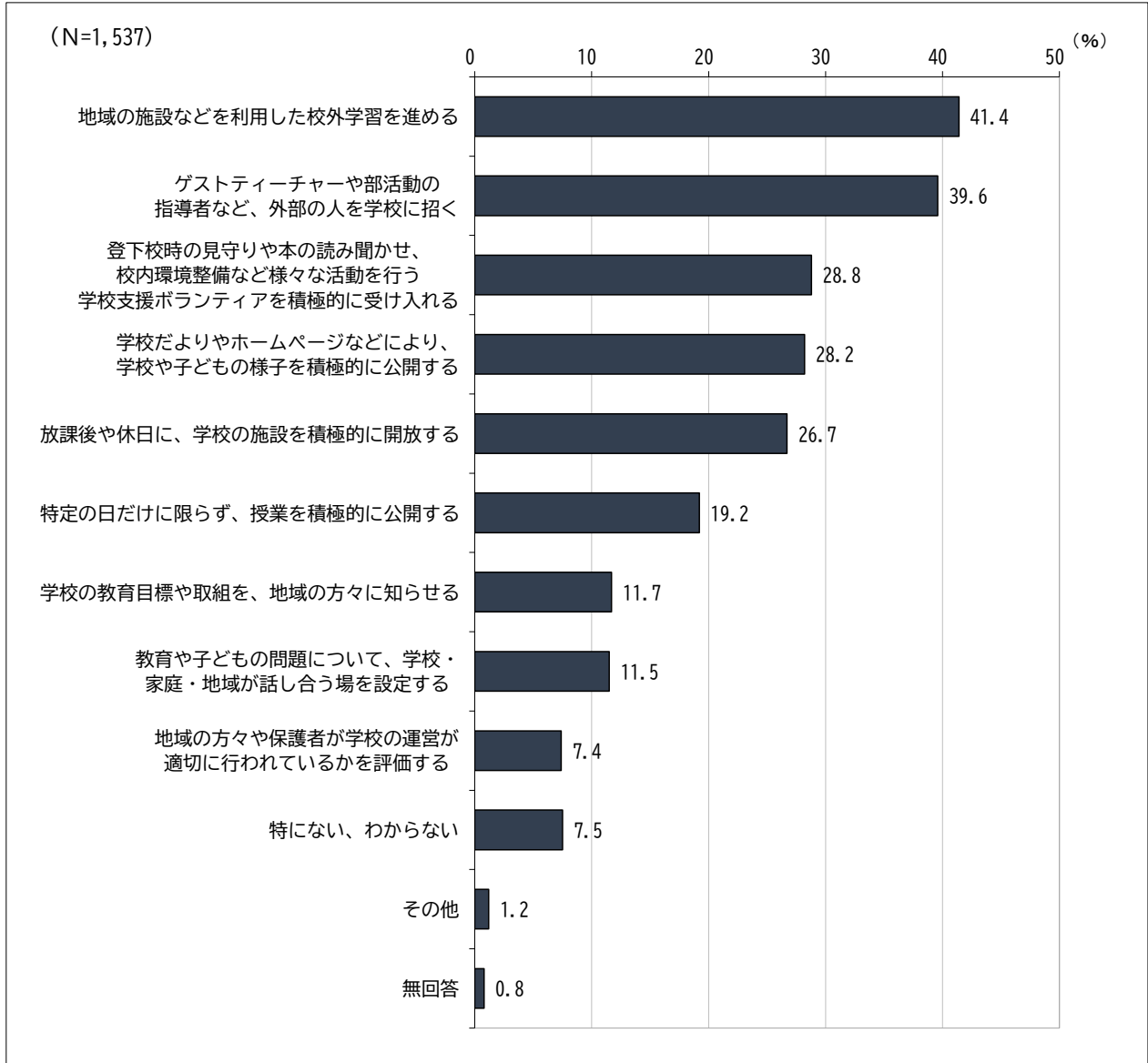
「朝食、マナーなど食の大切さの理解を深める」、「しつけや教育について相談できる場所をつくる」など教育・マナーの取組みより、家族の団らんの場や子どもと一緒に体験できる取組みが求められている傾向がある。



▶対象者比較 P.60

(12)地域とともにある学校にするために、あなたは何が大切だと思いますか。

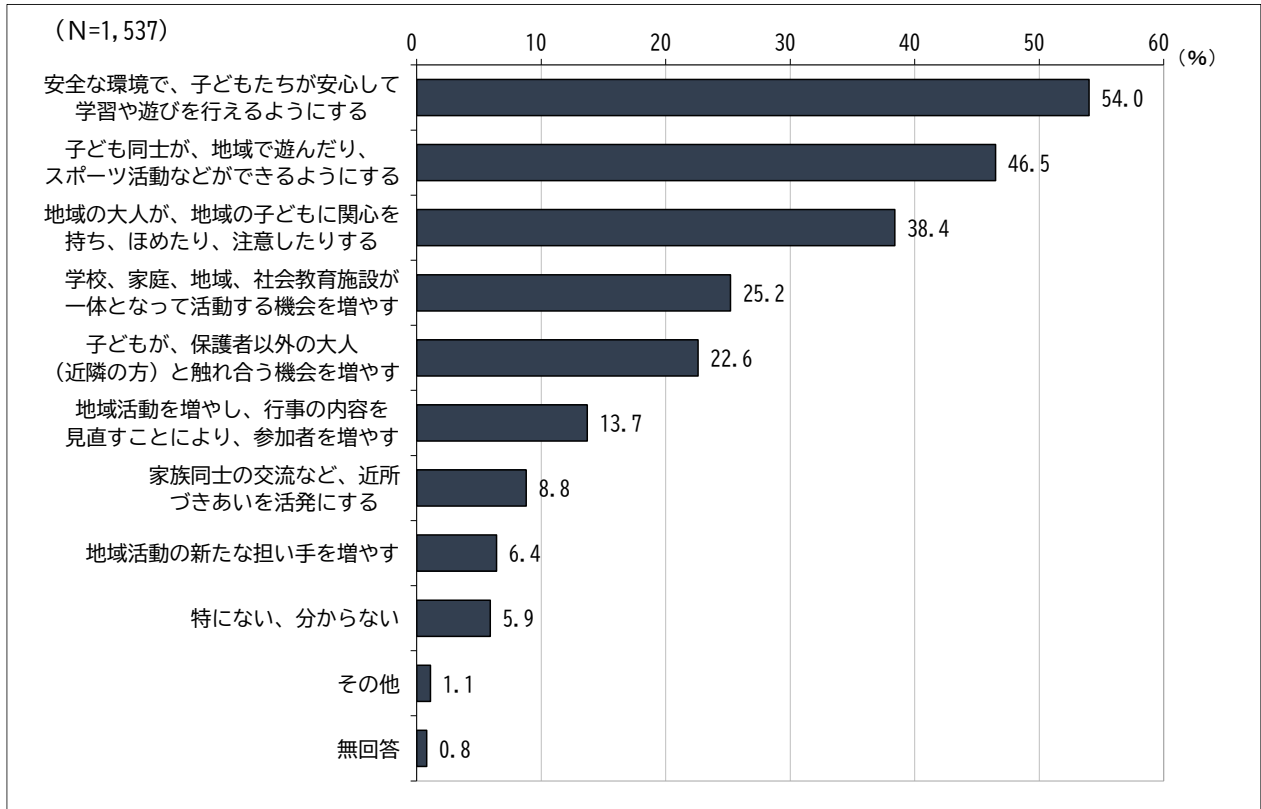
地域とともにある学校にするために大切なことについて、「地域の施設などを利用した校外学習を進める」41.4%が最も多く、「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」39.6%、「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」28.8%、「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」28.2%と続いている。



▶対象者比較 P.65

(13)あなたは、「地域の教育力」を高めるために、どのような取組が必要だと思いますか。

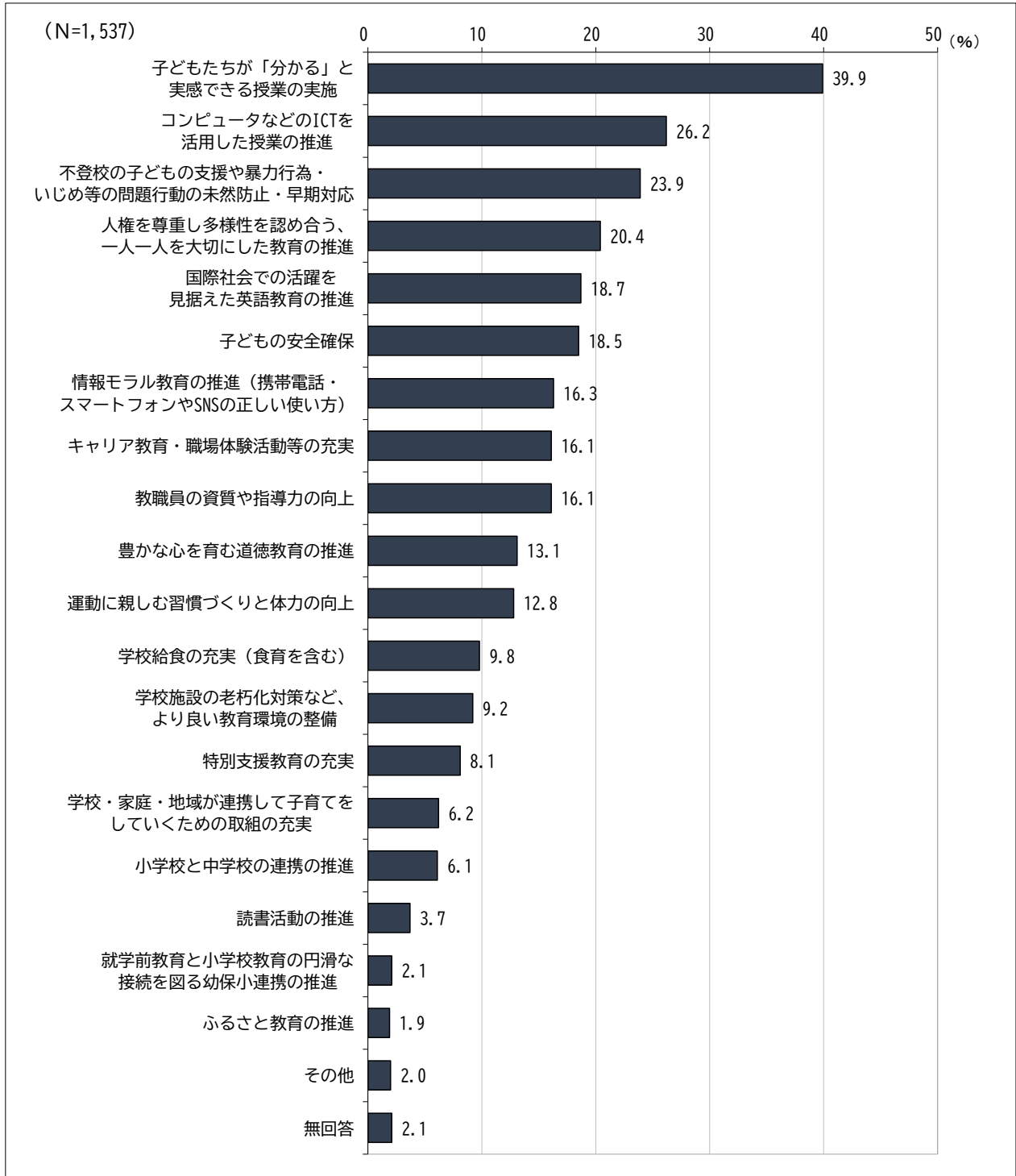
「地域の教育力」を高めるために必要な取組について、「安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする」54.0%が最も多く、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする」46.5%、「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」38.4%、「学校、家庭、地域、社会教育施設が一体となって活動する機会を増やす」25.2%と続いている。



▶対象者比較 P.61

(14)教育に関する主な施策のうち、今後、高松市が力を入れて行う必要があるものはどれですか。

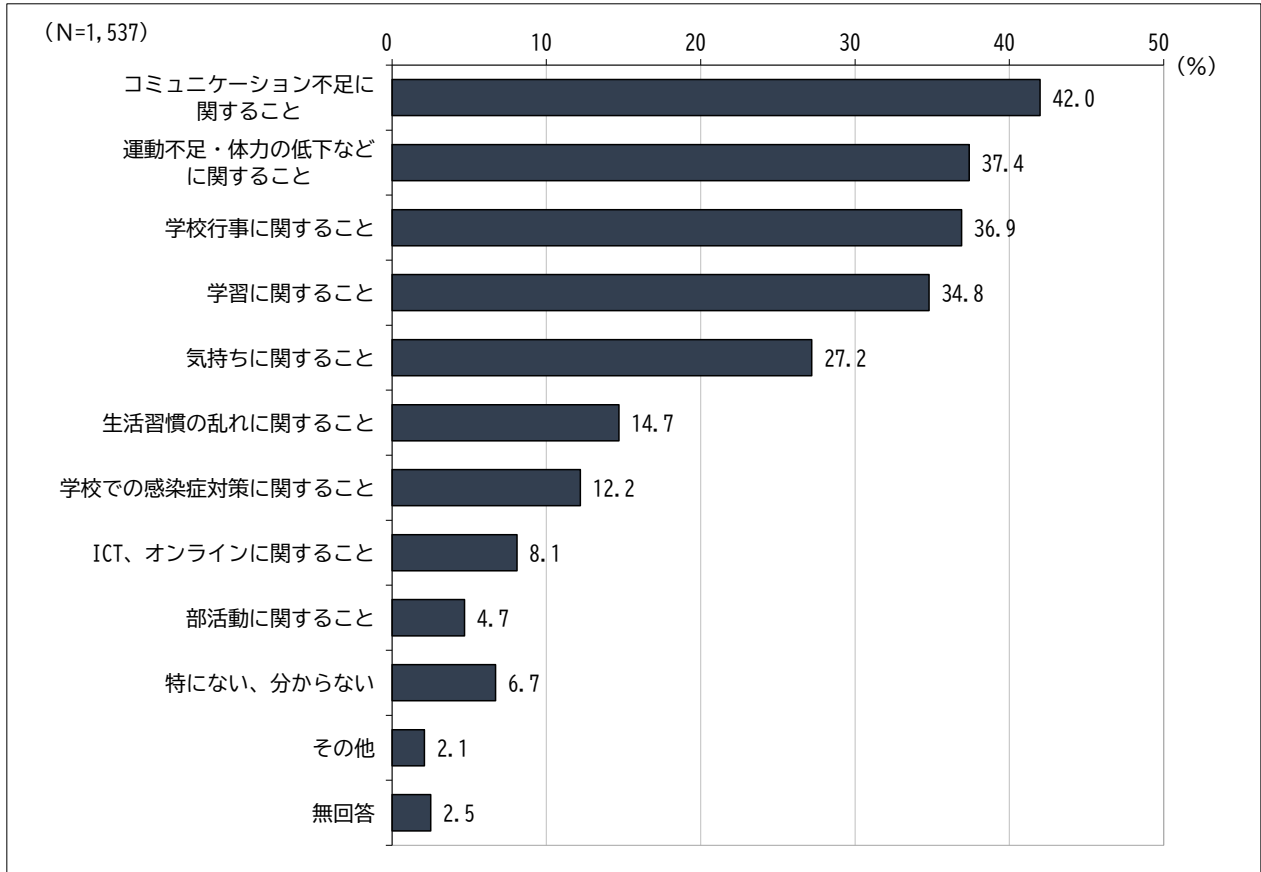
今後、高松市が力を入れて行う必要がある教育に関する主な施策について、「子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施」39.9%が最も多く、「コンピュータなどのICTを活用した授業の推進」26.2%、「不登校の子どもの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応」23.9%、「人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にした教育の推進」20.4%と続いている。



▶対象者比較 P.66

(15)新型コロナウイルス感染症の流行に関して、あなたが不安に感じていることは何ですか。

新型コロナウイルス感染症の流行に関して不安に感じていることについて、「コミュニケーション不足に関すること」42.0%が最も高く、「運動不足・体力の低下などに関すること」37.4%、「学校行事に関すること」36.9%と続いている。



▶対象者比較 P.58

(16)最後に、日頃、学校教育や家庭・地域の教育力について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

主な意見は以下のとおりとなっている。

①学校教育の充実について

- ・休校になった時に積極的にオンライン授業を活用してほしい。オンデマンドでもよいので、受けられなかった授業を確認できる手段を検討してほしい。
- ・端末を使った授業が多くなっているため、目を大切にできる教育(視力低下を防ぐため)も同時に行い、室外での活動を増やすようお願いしたい。
- ・高松市や香川県の良さを子どもたちにしっかり伝えてほしい。
- ・子ども時代の色々なことを吸収できる時期に多少の制限はあっても宿泊を伴う宿泊学習の実行や運動会も学年対抗競技などを実施してほしい。
- ・特別支援学級での教員による専門性の差があり、現場教員に対する研修等による教員の専門性の確保が必要だと感じる。
- ・自分の意見を伝えたり、発表したりする『伝える力』や『伝える方法』、発表の経験やスキルなどが得られるような教育があると良いと思う。
- ・一人一人の個性に寄り添った教育を望む。(何か一つでも子どもの好きなことがあれば、それをより深め、発展させる教育、そしてキャリア教育にもつなげてほしい。)
- ・教員不足を補うべく、外部指導者による専門性の高い教育を工夫してほしい。
- ・学習時間の確保、より深い意欲や理解への誘導を目指してほしい。

②学校教育環境の整備について

- ・教員への負担を減らし、優秀な人材が現場で活躍できるようにしてほしい。教員の仕事が魅力的と思えるものにしないと、誰も教員になりたがらないと思う。
- ・親が働いていても、充実した時間を過ごせるよう、子どもたちが楽しく過ごせるようなサービス、場所を提供してほしい。
- ・タブレット端末の導入も始まったが、同じ市内・地域でも活用方法のバラつきがあるように思う。今後のICT教育に向けて平準化できるよう準備・取組をお願いしたい。
- ・図書室や多目的室などを休日に積極的に開放して、子どもたちが気軽に立ち寄れてコミュニケーションが取れる場があればと思う。
- ・学校の授業で理解して帰れるよう、先生によって理解度が変わらないように、質の高い授業をしてほしい。
- ・学校内の様子を知りたいが、あまり話ができずにいた。しかし、学校のホームページが更新され、子どもたちの様子が分かり、家でも色々なことを話すようになった。

③子どもの安全確保について

- ・先生方や警察関係の方が見回り等をしてくださっているが人の目が届かない場所も多々ある。また、街灯がなく真っ暗な道がたくさんあり、予算やプライバシーのこともあり難しいと思うが、防犯カメラや街灯の設置を増やしていただきたい。
- ・放課後に子ども達が安全に遊べる場所(屋外)があれば、友達と遊ぶ際にも、ゲームばかりでなく、体を使った遊びができると思う。
- ・交通ルールを家庭でも教育現場でもしっかりと指導してほしいと思う。交通ルールにおいて、歩行者優先などあるが、あまりにも子どもたちの危機管理が低いように思う。

④青少年の健全育成について

- ・地域の方々等が、放課後の時間等を利用して宿題や自主学習等を指導してくれるような場所があれば、塾等になかなか通う事ができない子ども達のためになると思う。
- ・学校は警察や児童相談所などと協力して、ある程度家庭に介入してもいいのではないかと思う。
- ・学校内だけでなく、家庭の中でも情報モラルについては指導してほしい。

⑤家庭・地域の教育力の向上について

- ・学校行事を中心に、以前のように周りとのつながりを感じられるようになりたい。
- ・保護者(家庭)地域がもっと学校に関われるよう開かれた学校教育ができるようになればと思う。
- ・コロナによる行事中止や簡素化などで、学校で過ごす楽しさが十分に味わえない状況が続いていて、友達同士の関わりも減っているのが気になる。家に帰っても外に出ることが少なくなり、家の中で過ごすことが多い。子ども会も入っているが、地域の行事も中止になっていて、ほとんど行事がなく、どのように地域の人と交流していったらいいのか、交流がないまま小学校を卒業するのが残念である。
- ・高松市も他市のように、地域や家庭に開かれた学校であってほしい。

⑥生涯学習の推進について

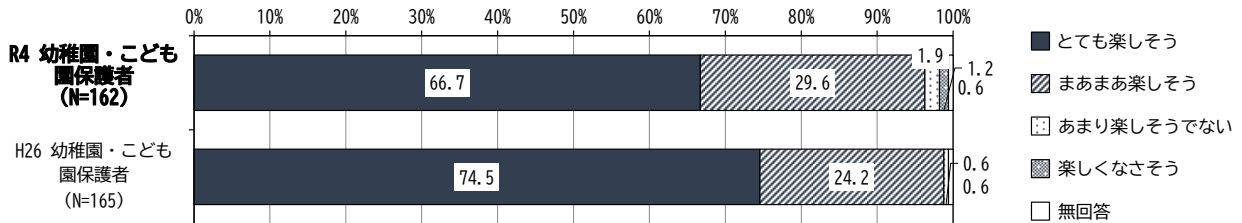
- ・土日に気軽に参加できるイベントがありがたい。
- ・コミュニティセンターによって受けられる講座が異なることを最近知った。他の地域でしている講座を希望出来るようにしてほしい。

【2】幼稚園・こども園保護者

(1)あなたのお子さんは、幼稚園・こども園に楽しく通っていますか。

自身の子どもが幼稚園・こども園に楽しく通っているかどうかについて、「とても楽しそう」66.7%が最も多く、「まあまあ楽しそう」29.6%と合わせると、楽しそうと感じている保護者が 9 割以上と多くっている。

また、前回結果と比べると、「とても楽しそう」が 7.8 ポイント減少している。



(2)前問の回答について、理由は何だと思えますか。

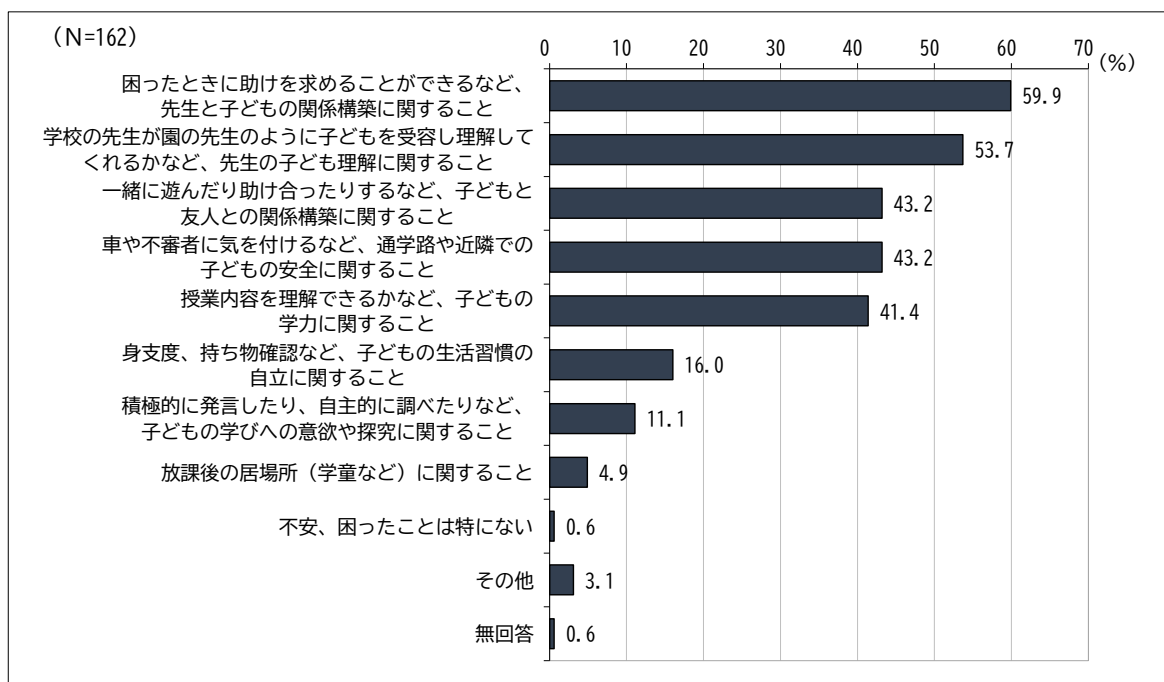
楽しく通っているかどうかの理由について、「友だちのこと」49.4%が最も多く、「幼稚園・こども園での活動のこと」39.5%、「先生のこと」5.6%と続いている。

また、前回結果と比べると、「友だちのこと」が 5.8 ポイント減少している。



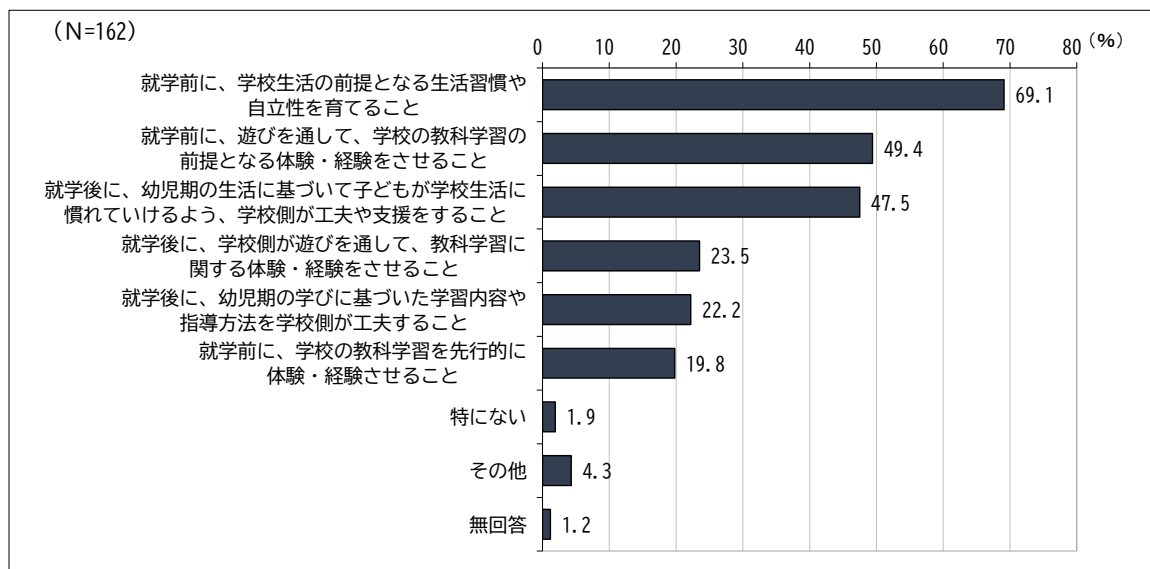
(3) 小学校生活について、不安に感じることは何ですか。

小学校生活について不安に感じることについて、「困ったときに助けを求めることができるなど、先生と子どもの関係構築に関すること」59.9%が最も多く、「学校の先生が園の先生のように子どもを受容し理解してくれるかなど、先生の子どもの理解に関すること」53.7%、「一緒に遊んだり助け合ったりするなど、子どもと友人との関係構築に関すること」43.2%、「車や不審者に気を付けるなど、通学路や近隣での子どもの安全に関すること」43.2%と続いている。



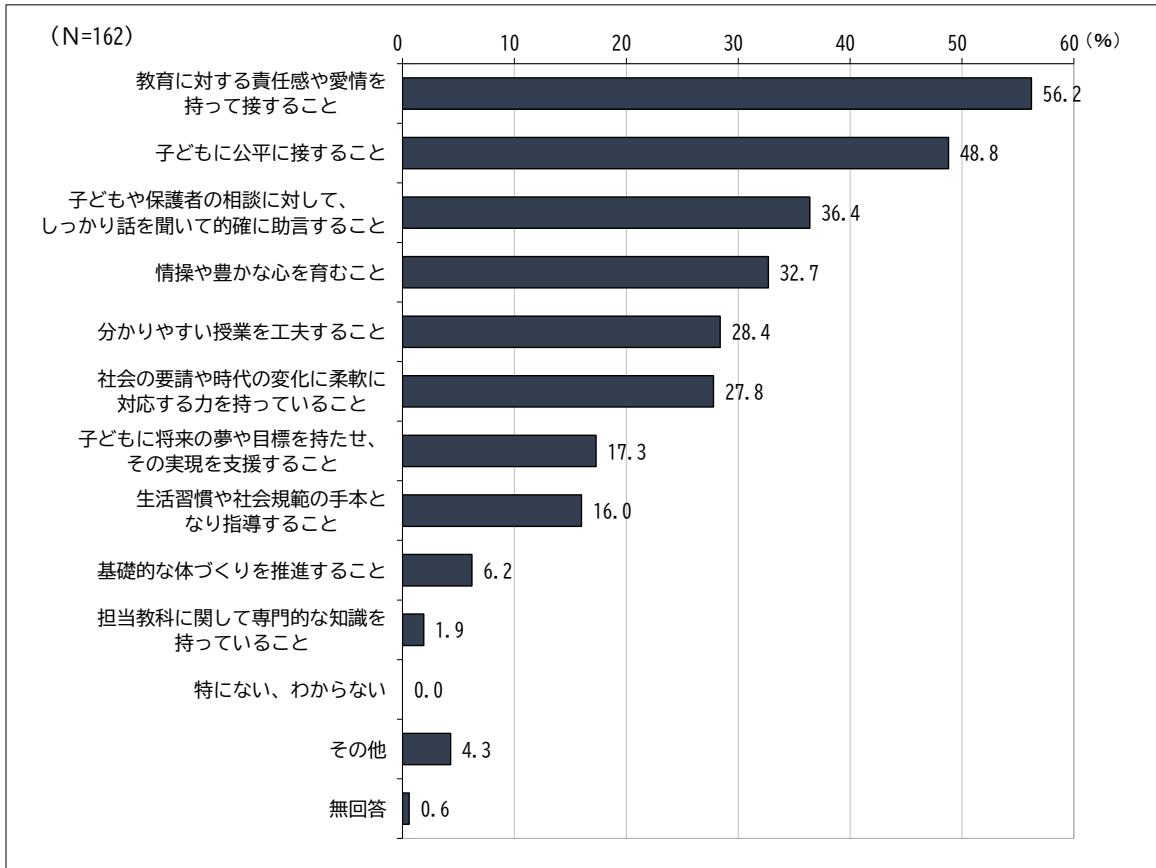
(4) 就学前教育と小学校教育との円滑な接続に向けて、どのような取組が必要だと思いますか。

就学前教育と小学校教育との円滑な接続に向けて必要な取組について、「就学前に、学校生活の前提となる生活習慣や自立性を育てること」69.1%が最も多く、「就学前に、遊びを通して、学校の教科学習の前提となる体験・経験をさせること」49.4%、「就学後に、幼児期の生活に基づいて子どもが学校生活に慣れていけるよう、学校側が工夫や支援をすること」47.5%と続いている。



(5)あなたは学校に対してどのようなことを望みますか。

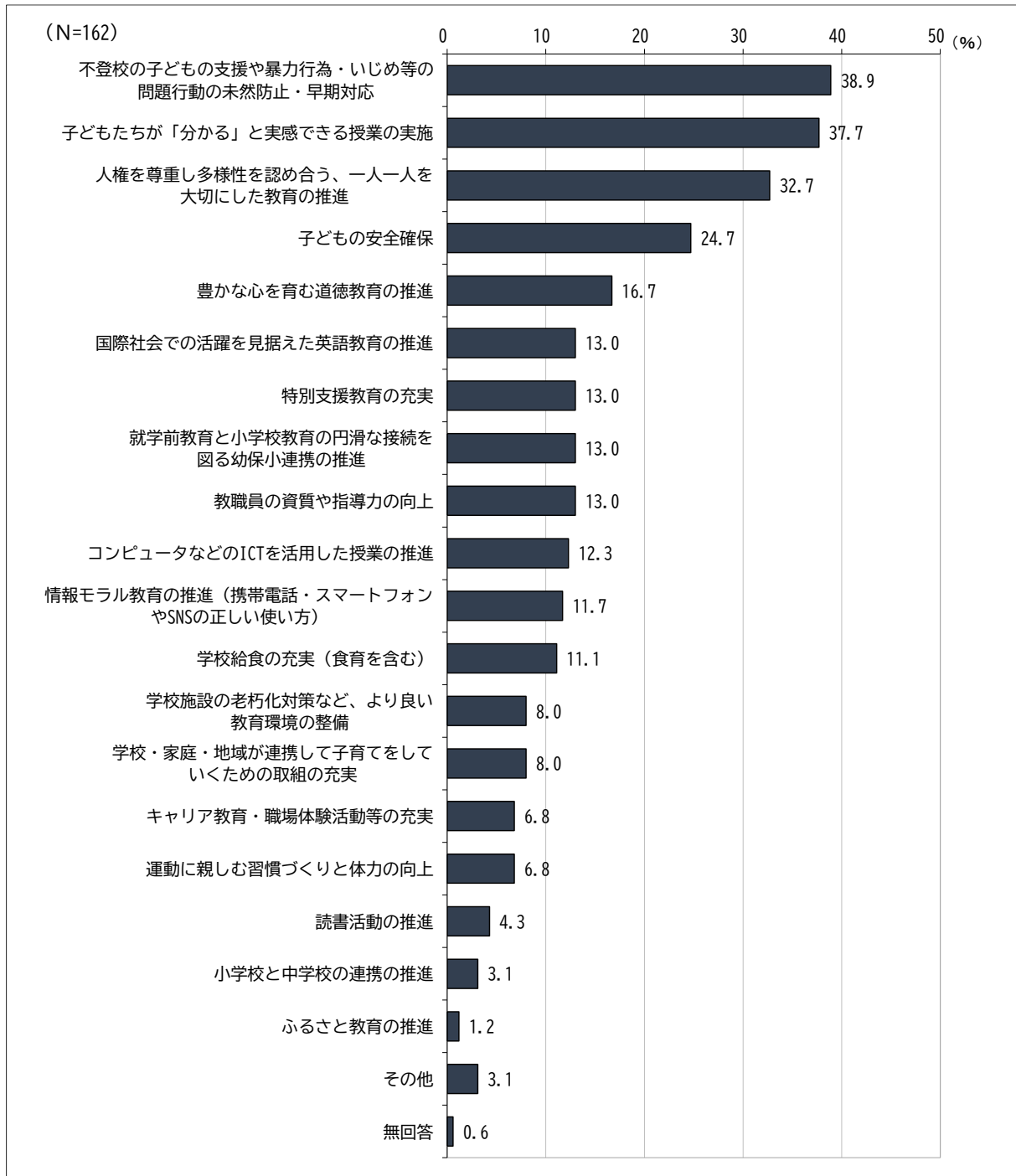
学校に対して望むことについて、「教育に対する責任感や愛情をもって接すること」56.2%が最も多く、「子どもに公平に接すること」48.8%、「子どもや保護者の相談に対して、しっかり話を聞いて的確に助言すること」36.4%と続いている。



▶対象者比較 P.64

(6)教育に関する主な施策のうち、今後、高松市が力を入れて行う必要があるものはどれですか。

今後、高松市が力を入れて行う必要がある教育に関する主な施策について、「不登校の子どもの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応」38.9%が最も多く、「子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施」37.7%、「人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にした教育の推進」32.7%と続いている。



▶対象者比較 P.66

(7)最後に、日頃、学校教育や家庭・地域の教育力について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

主な意見は以下のとおりとなっている。

①学校教育の充実について

- ・子ども一人一人のニーズに合ったサポート体制がより充実する様に取組を続けてほしい。
- ・小学校に入るとやはりクラスの人数も多くなり、環境の変化に戸惑う子どもが多いため、クラスの子どもの人数を減らしたり、教員の人数を増やす等して、子どもたちが落ち着いて取り組んだり、一人一人の良いところや自主性を育める環境が増えていくといいと思う。
- ・幼稚園教諭と小学校教諭の子どもたちへの接し方の差に親子共に戸惑うことがあり、6歳頃は、大人が思っているよりも出来ない事が多いので、気を長く持って接していただきたい。
- ・発達障がいのある児童やその疑いのある児童へのフォローを充実したものにしてほしい。

②子どもの安全確保について

- ・通学路や校・園内の事故・事件の対策をしっかりとすべき。
- ・小学1～2年生は特に登下校時を見ていると、急に走ったり車道の縁石に登っていたりと、とても危ないと思う。

③家庭・地域の教育力の向上について

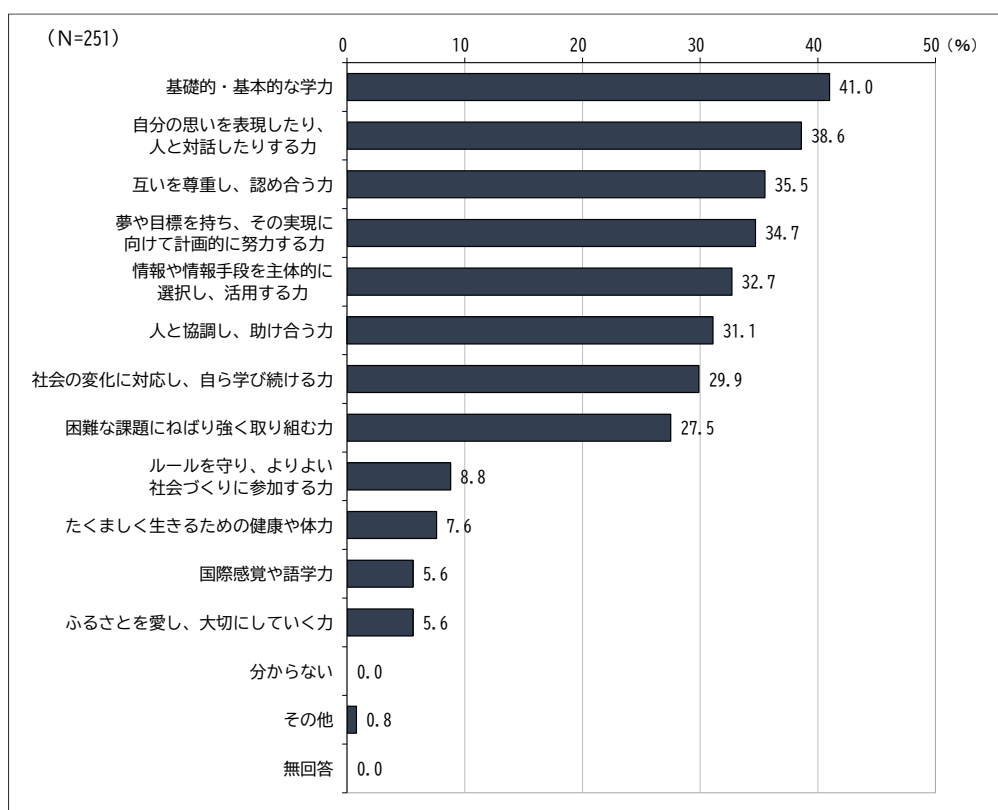
- ・地域の幼保小中の連携がもう少しあると助かる。仕事のことを考えると、親が参加出来る学校行事の調整などしてもらえると助かる。
- ・コロナ禍で学校の先生と保護者との関わり方や、地域との触れ合いが少なくなっていると思うので、なんらかの形でもう少し関わりをもてるとよいと思う。
- ・生まれ育った地域や地域の人との関わりが持てる機会が増え、安心感を持って、「自分のふるさとが好きだ」とより感じられるようになってもらいたい。

3. 教員調査

【1】小・中学校教員

(1)あなたは、これからの子どもたちに特に必要な資質・能力はどれだと思いますか。

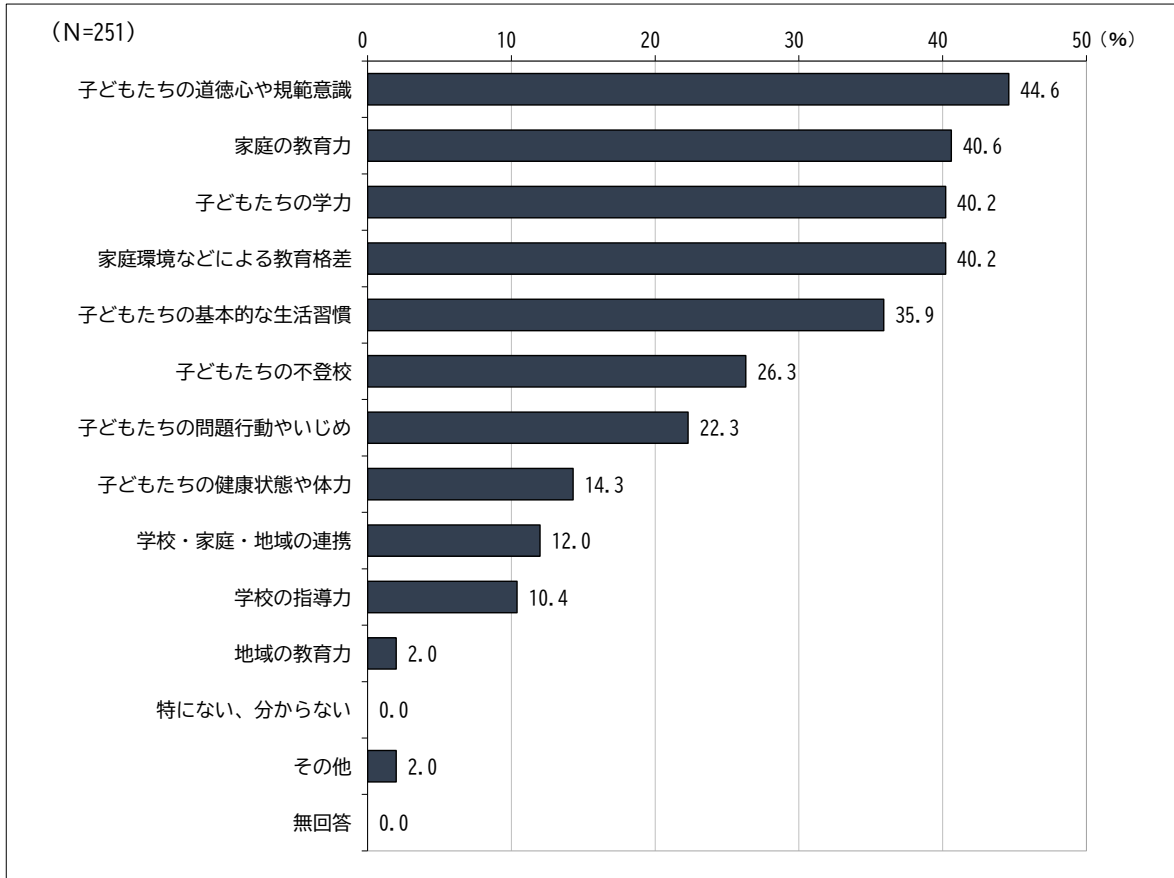
これからの子どもたちに特に必要な資質・能力について、「基礎的・基本的な学力」41.0%が最も多く、「自分の思いを表現したり、人と対話したりする力」38.6%、「互いを尊重し、認め合う力」35.5%、「夢や目標を持ち、その実現に向けて計画的に努力する力」34.7%と続いている。



▶対象者比較 P.62

(2)あなたが、子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。

子どもたちや教育について課題と感じていることについて、「子どもたちの道徳心や規範意識」44.6%が最も多く、「家庭の教育力」40.6%、「子どもたちの学力」、「家庭環境などによる教育格差」が同率で40.2%、「子どもたちの基本的な生活習慣」35.9%と続いている。

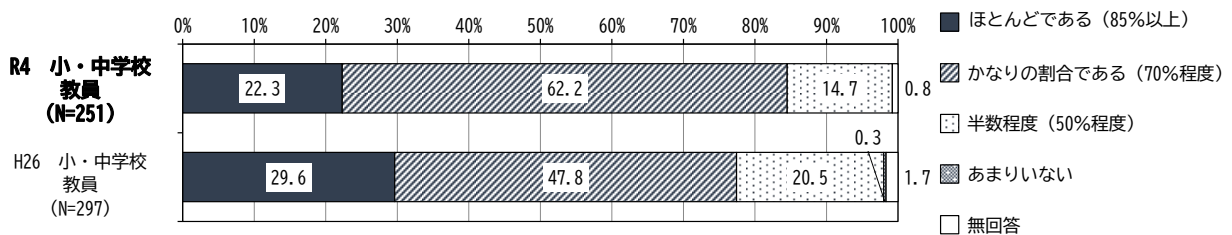


▶対象者比較 P.63

(3)あなたの学校を、「楽しい」と感じている児童生徒の割合はどの程度だと思いますか。

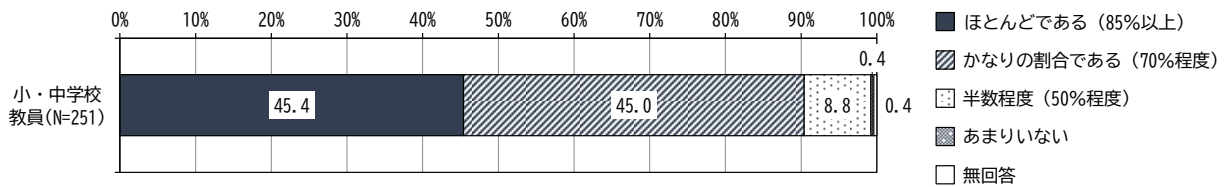
学校を「楽しい」と感じている児童生徒の割合について、「かなりの割合である(70%程度)」62.2%が最も多く、「ほとんどである(85%以上)」22.3%と続き、合わせると8割を超えている。

また、前回結果と比べると、「かなりの割合である(70%程度)」が14.4ポイント増加している。



(4)一人一台端末を使った授業について、「楽しい」と感じている児童生徒の割合はどの程度だと思いますか。

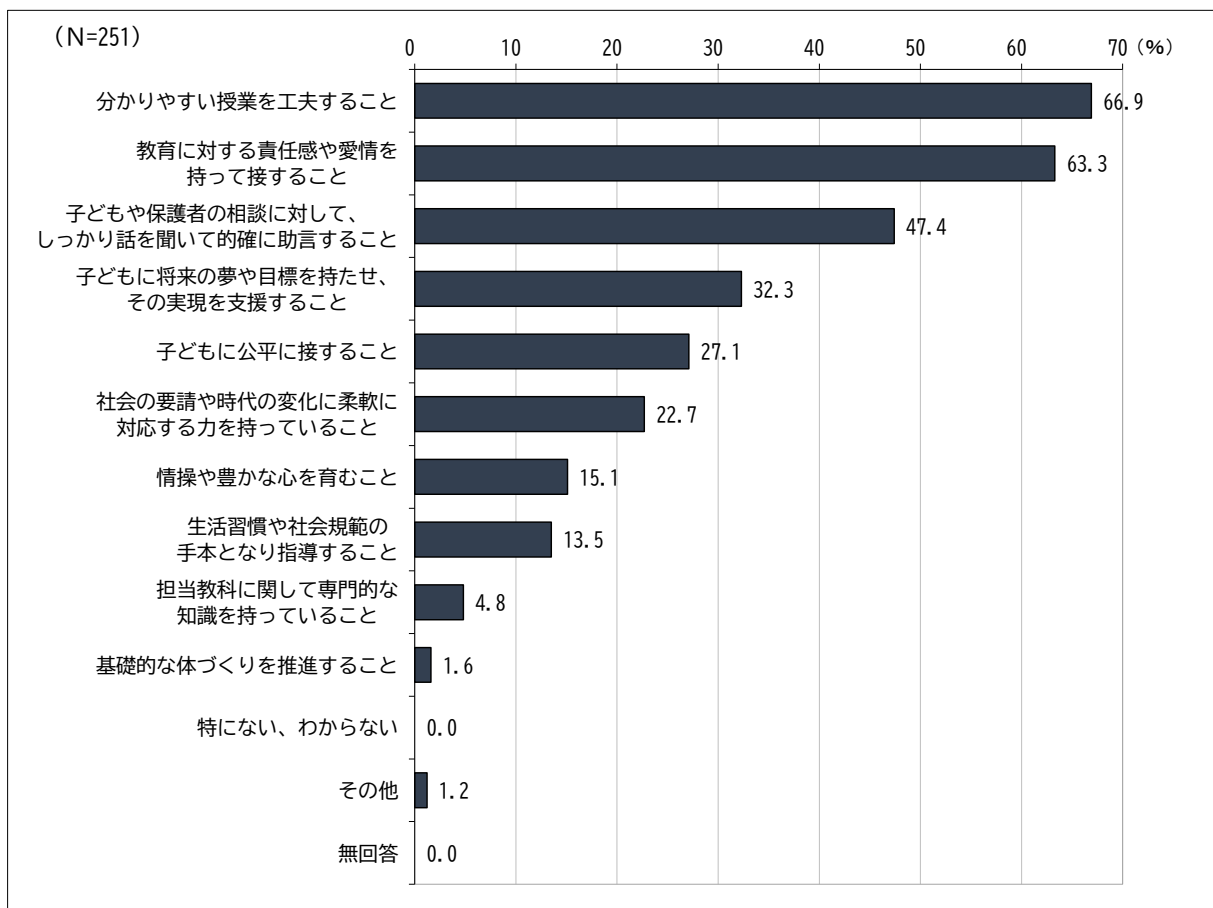
一人一台端末を使った授業を「楽しい」と感じている児童生徒の割合について、「ほとんどである(85%以上)」45.4%が最も多く、「かなりの割合である(70%程度)」45.0%と続き、合わせると9割を超えている。



▶対象者比較 P.57

(5)学校は、保護者や地域の方にどのようなことを期待されていると思いますか。

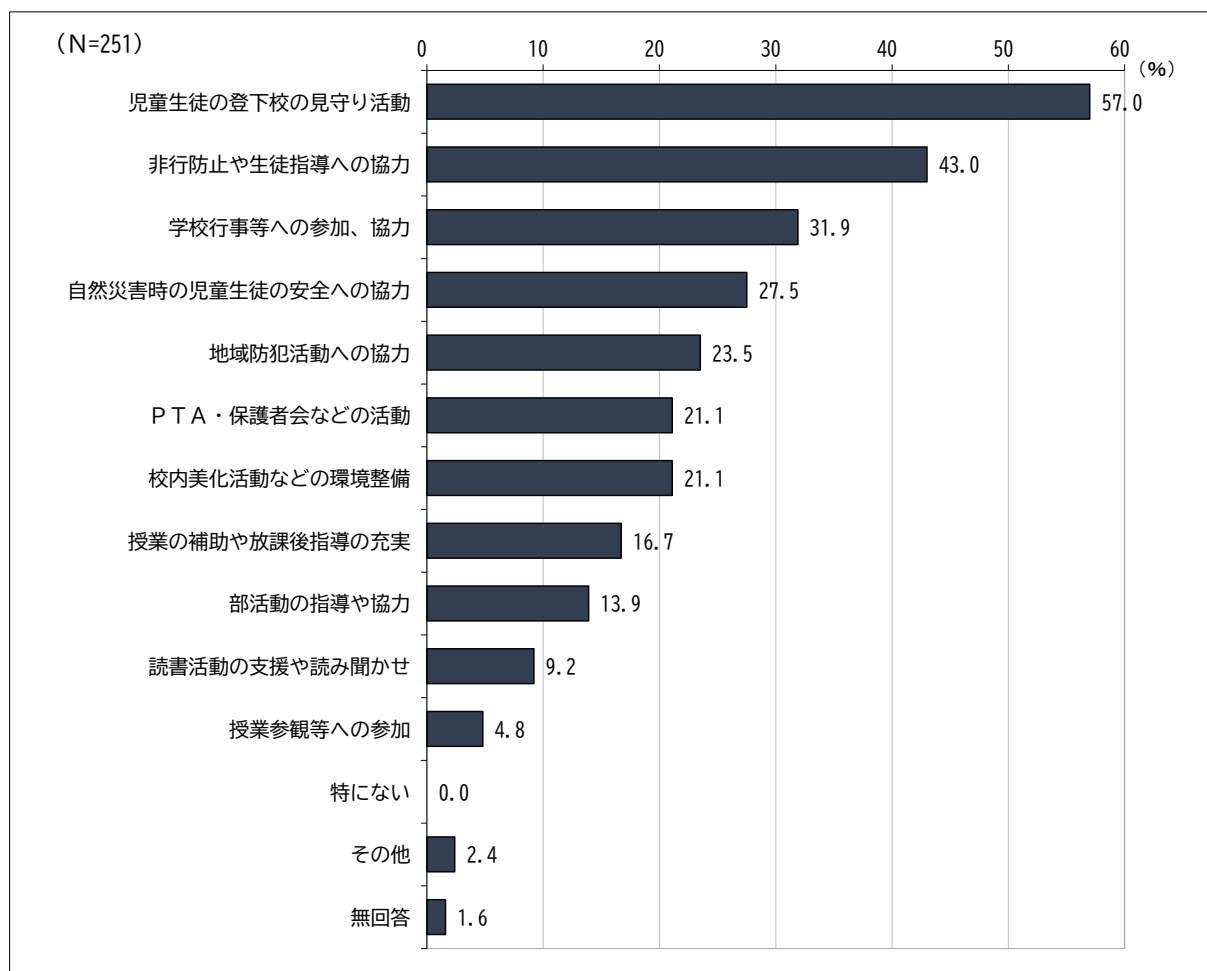
保護者や地域の方に期待されていることについて、「分かりやすい授業を工夫すること」66.9%が最も多く、「教育に対する責任感や愛情を持って接すること」63.3%、「子どもや保護者の相談に対して、しっかり話を聞いて的確に助言すること」47.4%と続いている。



▶対象者比較 P.64

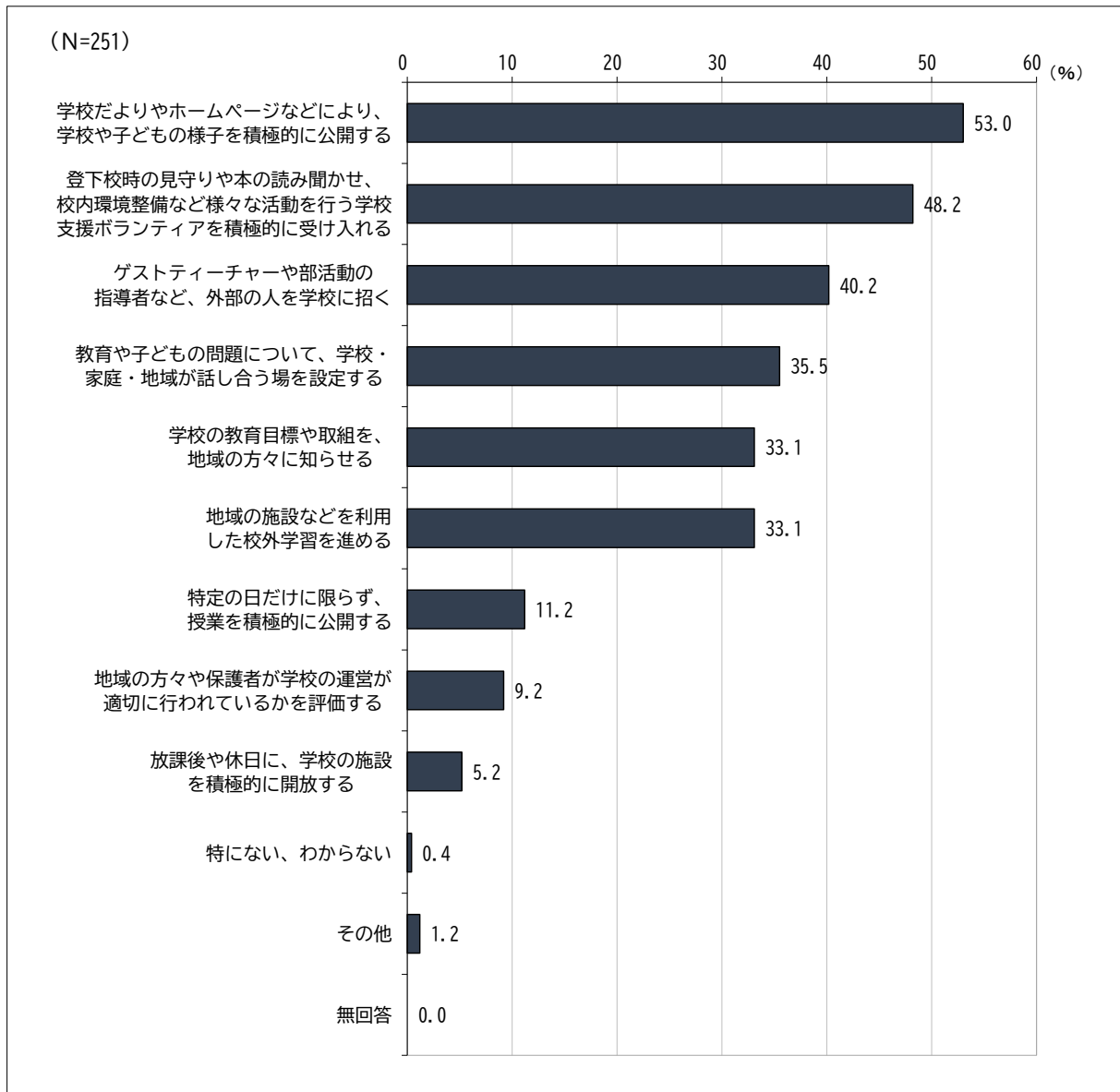
(6)あなたが、学校教育を推進するうえで保護者や地域住民に協力してほしいと思うことはどんなことですか。

学校教育を推進するうえで保護者や地域住民に協力してほしいと思うことについて、「児童生徒の登下校の見守り活動」57.0%が最も多く、「非行防止や生徒指導への協力」43.0%、「学校行事への参加・協力」31.9%と続いている。



(7)地域とともにある学校にするために、あなたは何が大切だと思いますか。

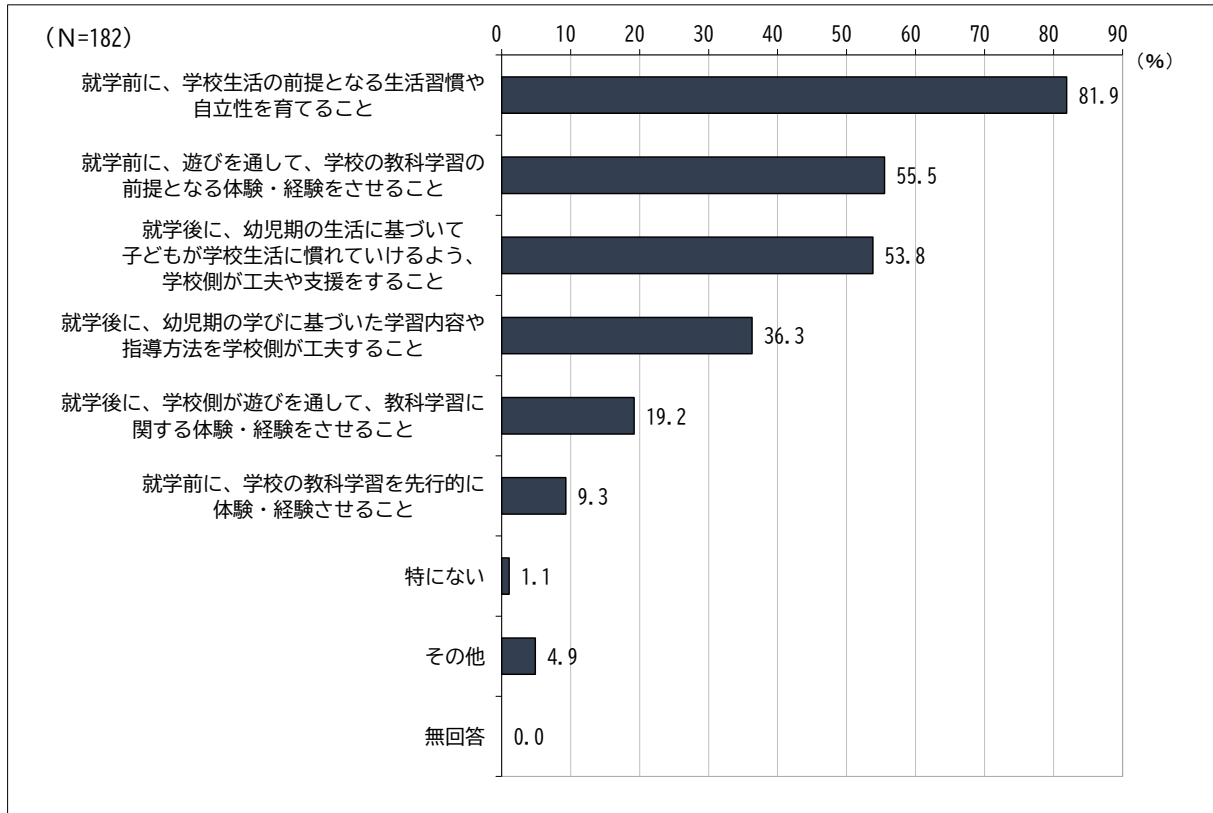
地域とともにある学校にするために大切なことについて、「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」53.0%と最も多く、「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」48.2%、「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」40.2%と続いている。



▶対象者比較 P.65

(8)就学前教育と小学校教育との円滑な接続に向けて、どのような取組が必要だと思いますか。

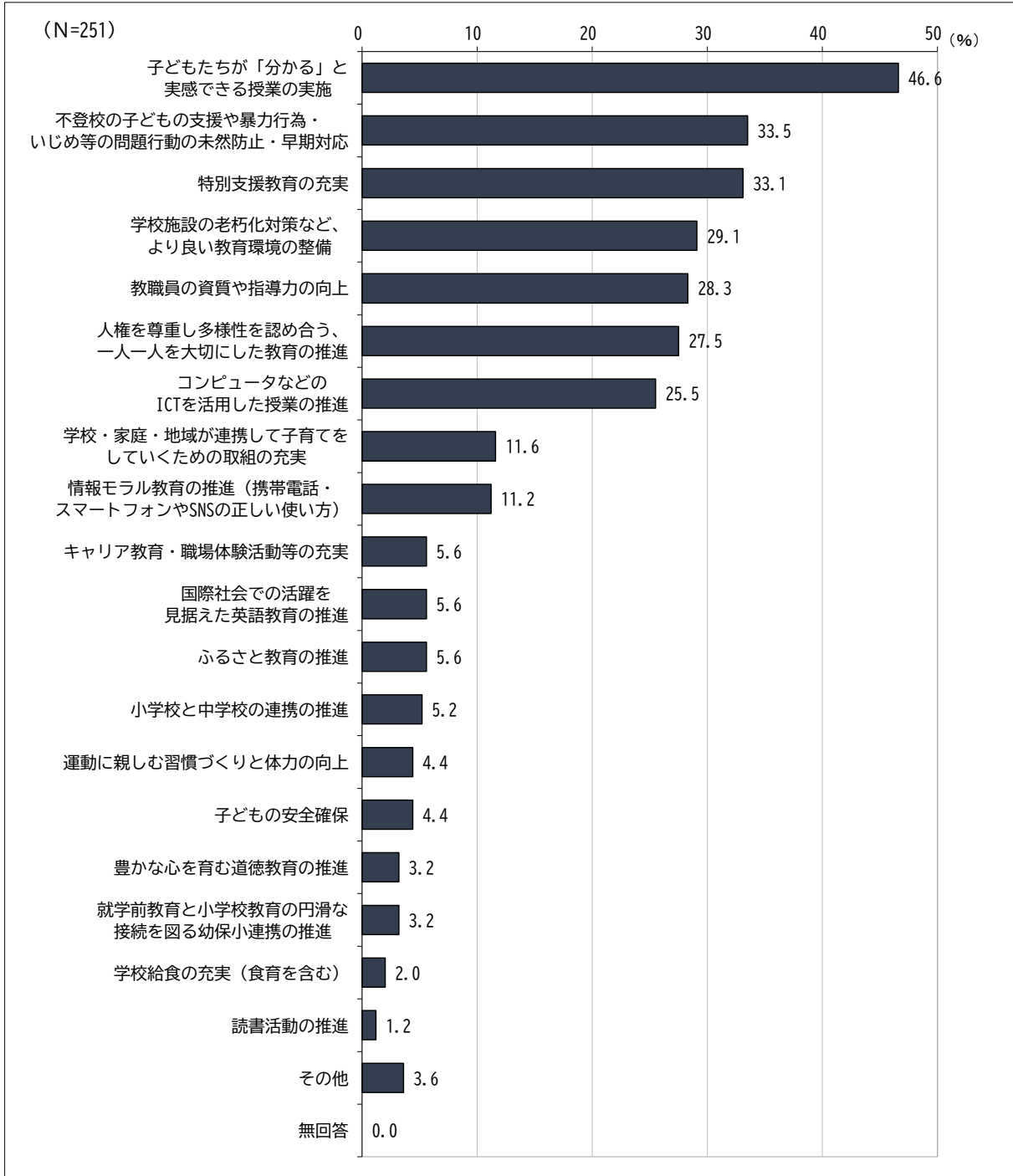
就学前教育と小学校教育との円滑な接続に向けて必要な取組について、「就学前に、学校生活の前提となる生活習慣や自立性を育てること」81.9%が最も多く、「就学前に、遊びを通して、学校の教科学習の前提となる体験・経験をさせること」55.5%、「就学後に、幼児期の生活に基づいて子どもが学校生活に慣れていけるよう、学校側が工夫や支援をすること」53.8%と続いている。



▶対象者比較 P.59

(9)教育に関する主な施策のうち、今後、高松市が力を入れて行う必要があるものはどれですか。

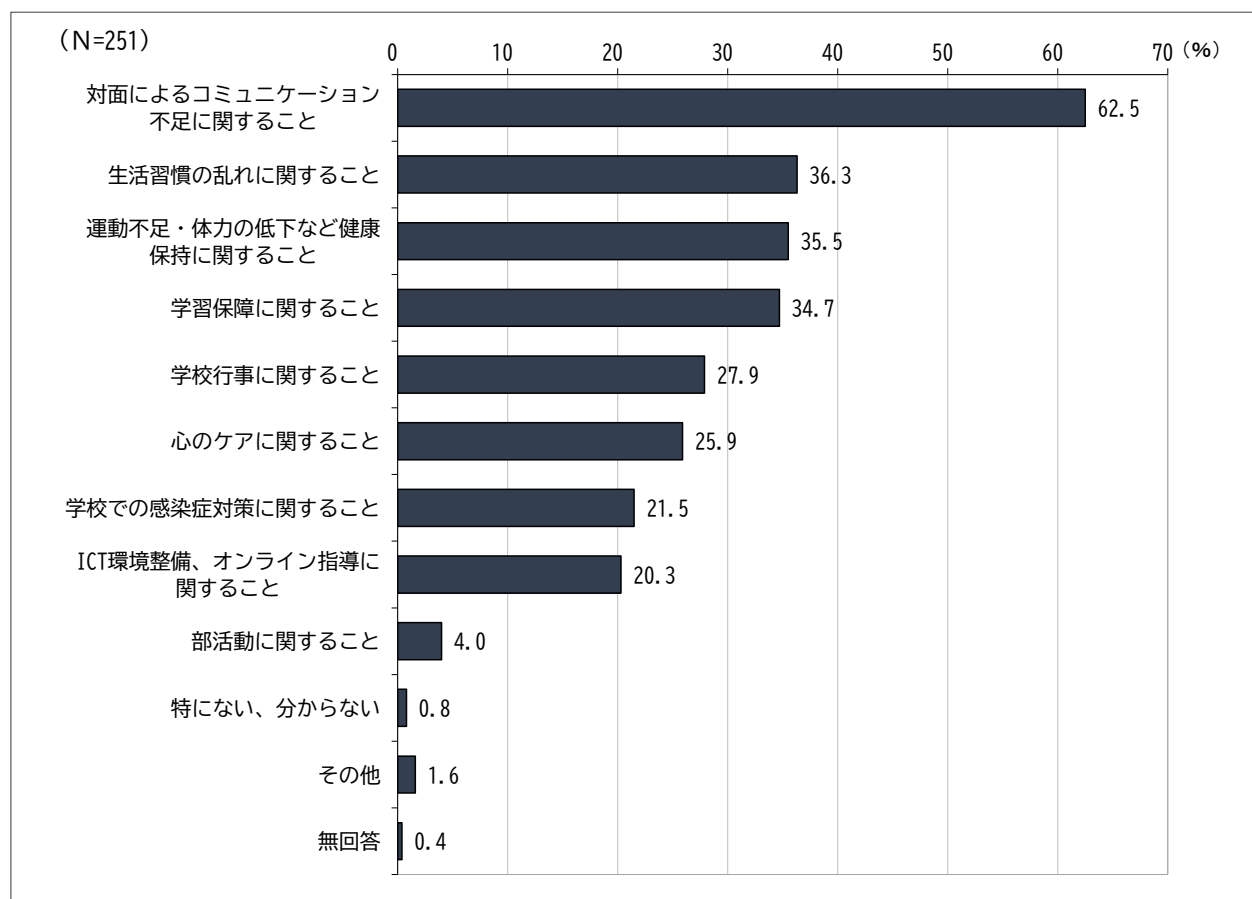
今後、高松市が力を入れて行う必要がある教育に関する主な施策について、「子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施」46.6%が最も多く、「不登校の子どもの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応」33.5%、「特別支援教育の充実」33.1%、「学校施設の老朽化対策など、より良い教育環境の整備」29.1%、「教職員の資質や指導力の向上」28.3%、「人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にされた教育の推進」27.5%と続いている。



▶対象者比較 P.66

(10)新型コロナウイルス感染症の流行に関して、高松市の子どもたちの教育について不安に感じていることは何ですか。

新型コロナウイルス感染症の流行に関して不安に感じていることについて、「対面によるコミュニケーション不足に関すること」62.5%が最も多く、「生活習慣の乱れに関すること」36.3%、「運動不足・体力の低下など健康保持に関すること」35.5%と続いている。



▶対象者比較 P.58

(12)最後に、日頃、学校教育について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

主な意見は以下のとおりとなっている。

①学校教育の充実について

- ・コロナ前の活気のある学校、活気のある子どもたちに、いかに近づけていけるかを、校内はもちろん、学校単独ではなく、学校間や管理職間などで話し合ったり情報を共有したりして、どの子どもも満足できるような学校生活を目指すことが大事であると思う。
- ・GIGA 端末の活用推進、いじめ問題における児童の教育相談などの新しい取組が増えていく中、「働き方改革」という言葉に対する教職員の多様な考えがある。
- ・夢や希望をもって主体的に学ぼうとする意識の格差が児童にも家庭にもあるため、保護者啓発も含めてきめ細かな支援をしていく必要性を強く感じている。
- ・教員の少なさにより校務分掌が多くなり、生徒に関わる時間が少なくなっており、人により分掌の差があるため、適切な分掌配置をしていただきたい。
- ・子どもたちとかかわる時間や寄り添う時間を大切にしたいと思っているが、現実的な時間が本当に足りない。働き方改革も意識しているが、部活動の地域移行など不安定要素が急に発生している。

②学校教育環境の整備について

- ・働き方改革を国を始め、県・市が推進しているが、教職員の資質の向上の上で、研修の場が少なくなっている気がする。
- ・働き方改革ができている教員の仕事の工夫を共有し、また教員という仕事の魅力を発信してもらいたい。
- ・子ども一人一人にしっかりと向き合って学力を付けていくためにも教員の適正な配置は必要不可欠であると感じる。
- ・タブレットの持ち帰りもできると学習の幅や保護者との連携が更に密に取れると感じるので検討していただきたい。
- ・ICT 教育の充実のためには特別支援の全学級に電子黒板を設置したり、全教員用のタブレットを準備したりすることが必要だと思う。
- ・教師がゆとりをもって児童や保護者に丁寧に向き合えるようにしたい。
- ・学校施設、設備の老朽化が進んでいる。体育館の雨漏り、消防設備の不備などを整えていく必要があると感じる。

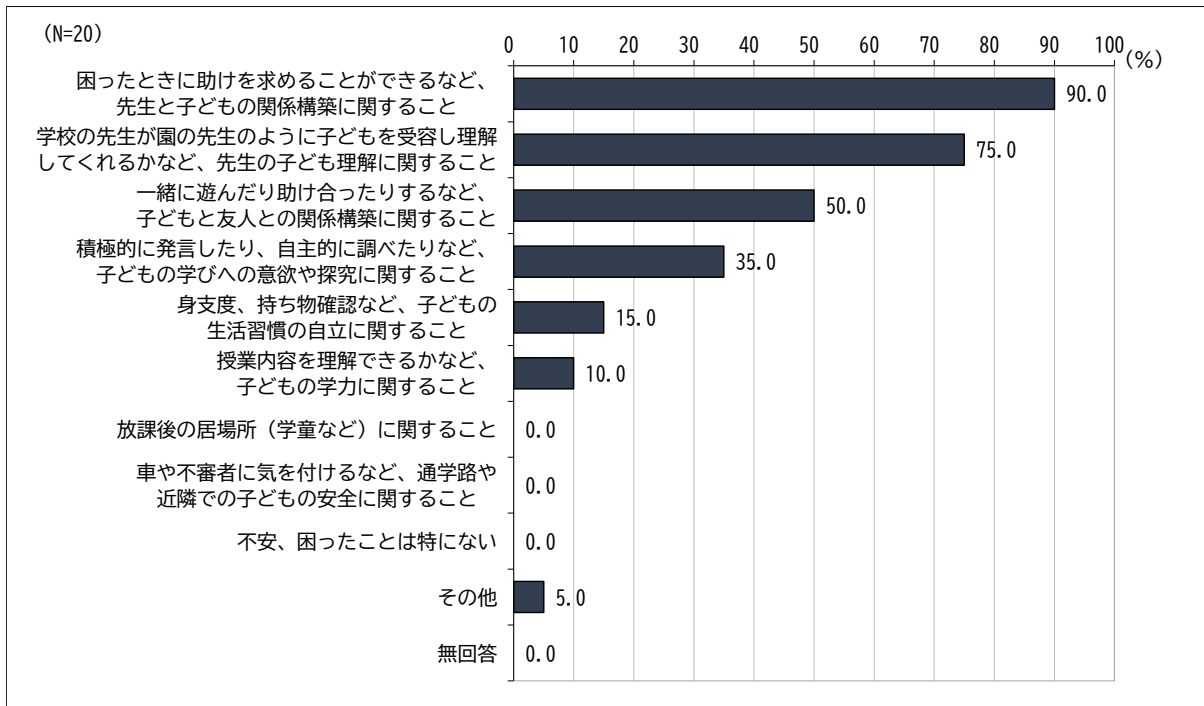
⑤家庭・地域の教育力の向上について

- ・校内の全ての教職員と保護者、地域で子どもたちを育むという意識へと転換することで、全ての子どもたちが自己実現できる学校でありたいと考えている。
- ・子どもたちを学校で教育していく立場として、押し付けることをするのではなく、保護者と連携を図りながら、子どもたちがどのような大人になっていくのかということのビジョンを持つ必要があると感じる。
- ・生徒数の減少という学校課題に対し、保護者や地域、市教育委員会さらに地域振興に関係する市長部局等と連携し、今後の学校の在り方を検討するような枠組みが必要だと感じている。

【2】幼稚園・こども園教員

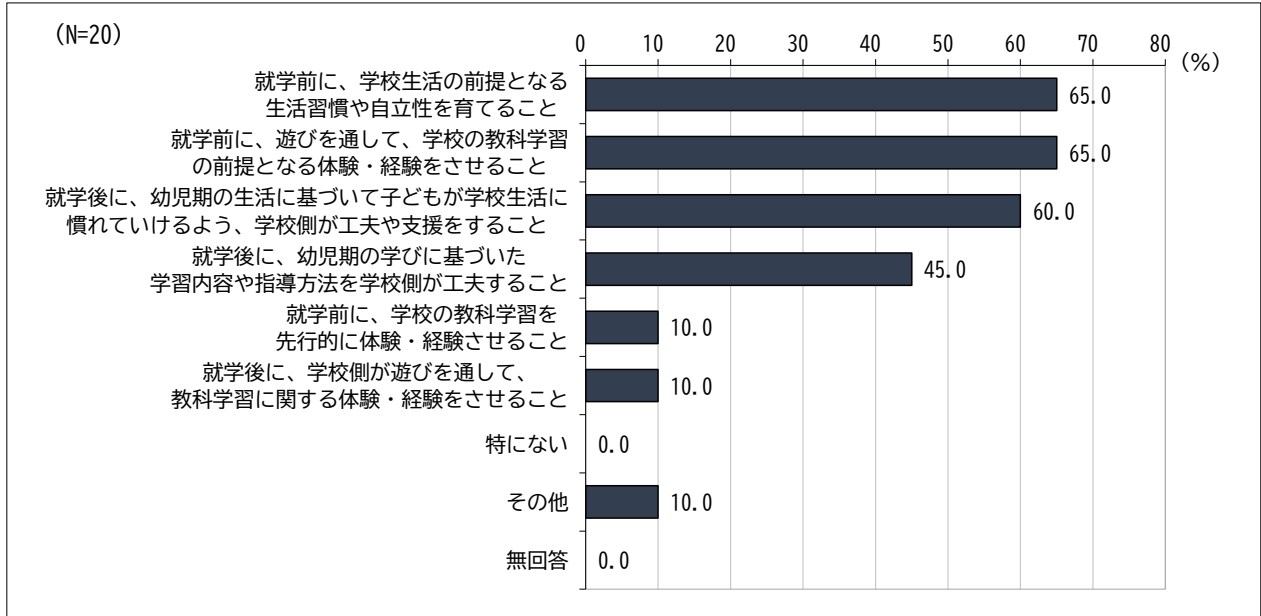
(1)就学前教育と小学校教育との円滑な接続について、不安に感じることは何ですか。

就学前教育と小学校教育との円滑な接続で不安に感じることについて、「困ったときに助けを求めることができるなど、先生と子どもの関係構築に関すること」90.0%が最も多く、「学校の先生が園の先生のように子どもを受容し理解してくれるかなど、先生の子どもの理解に関すること」75.0%、「一緒に遊んだり助け合ったりするなど、子どもと友人との関係構築に関すること」50.0%と続いている。



(2)就学前教育と小学校教育との円滑な接続に向けて、どのような取組が必要だと思いますか。

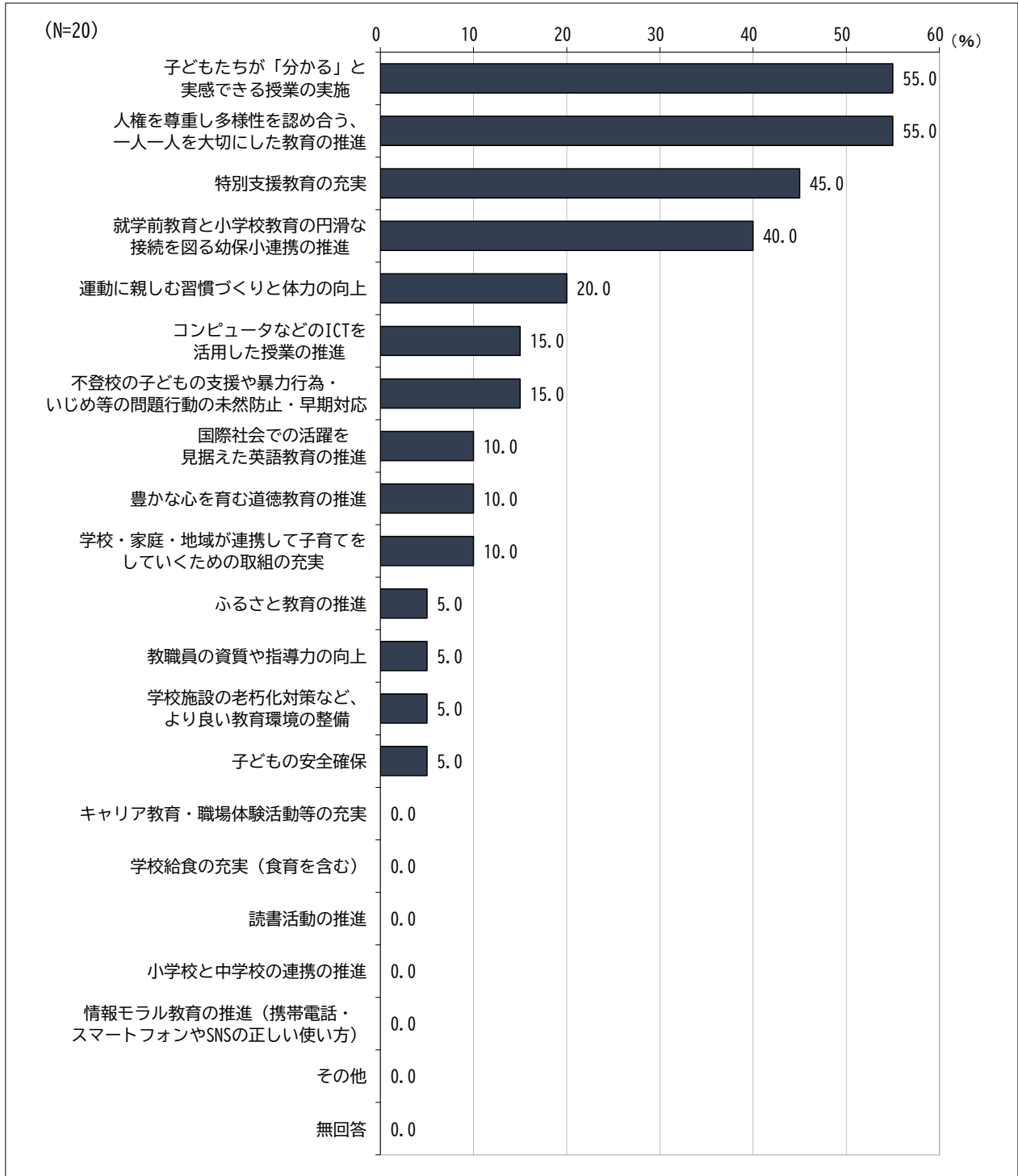
就学前教育と小学校教育との円滑な接続に向けて必要な取組について、「就学前に、学校生活の前提となる生活習慣や自立性を育てること」、「就学前に、遊びを通して、学校の教科学習の前提となる体験・経験をさせること」65.0%が同率で最も多く、「就学後に、幼児期の生活に基づいて子どもが学校生活に慣れていけるよう、学校側が工夫や支援をすること」60.0%、「就学後に、幼児期の学びに基づいた学習内容や指導方法を学校側が工夫すること」45.0%と続いている。



▶対象者比較 P.59

(3)教育に関する主な施策のうち、今後、高松市が力を入れて行う必要があるものはどれですか。

今後、高松市が力を入れて行う必要がある教育に関する主な施策について、「子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施」、「人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にされた教育の推進」55.0%が同率で最も多く、「特別支援教育の充実」45.0%、「就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図る幼保小連携の推進」40.0%と続いている。



▶対象者比較 P.66

(4)最後に、日頃、学校教育について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

主な意見は以下のとおりとなっている。

①学校教育の充実について

- ・特別支援教育に関する理解や配慮も進んできているが、学級担任の理解の個人差は大きいと感じる。一人一人が安心して通い、学べる環境について、今後もぜひともお願いしたい(特にインクルーシブ教育教育の推進を)。
- ・コロナ禍で難しいと思うが、是非幼稚園にも授業やその他の活動で児童・生徒が訪れ、互いに学びや気付き、親しみにつながる交流ができればと願う。
- ・就学前教育と小学校教育の円滑な接続をするためにお互いがよく理解し合い、そのために何を連携すべきか共通のベクトル上での接続が必要ではないか。
- ・就学前教育の大切さをもっと重要視してほしい。幼・保・こ・小の交流をもっと気軽に実施できるような関係性が築けたら良い。
- ・幼稚園・こども園と小学校が離れている場所の交流、連携の難しさがあり、もっと気軽に素早く情報を交換できるシステムがあればいいと思う。
- ・実際に見たり触れたり、五感を通しての体験や経験は内容の理解だけでなく、感動も伴うので心の教育になると思う。幼稚園教育でも大切にしていきたい。心の安定がなければ教育は充実していかないと思うので、家庭への支援も重要であると考えている。

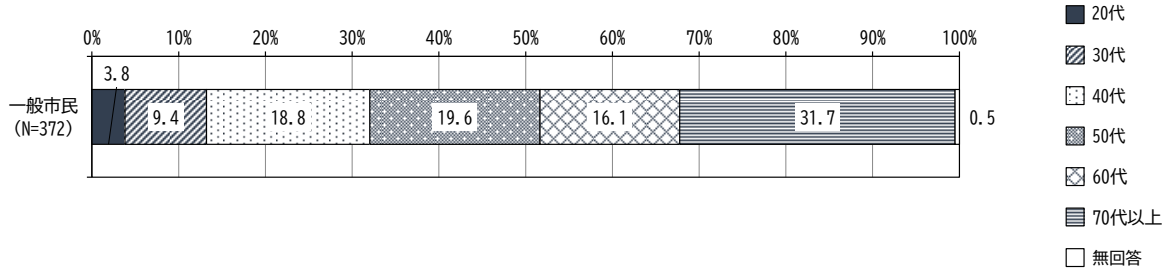
②家庭・地域の教育力の向上について

- ・PTA 活動を通して子どもの成長を見たり、保護者間のコミュニケーションの場となることを願う。また、地域に助けをもらいながら、人とかかわりを大切にしつつ、教育、保育ができるように連携を大切にしたい。子どもの学力向上に向け、幼児期には多様な経験ができるようにすることが大切と考える。物・事への興味、関心が探求心につながり、意欲的に自ら考えたり、活動したりする姿につながるよう支援している。

4. 一般市民調査

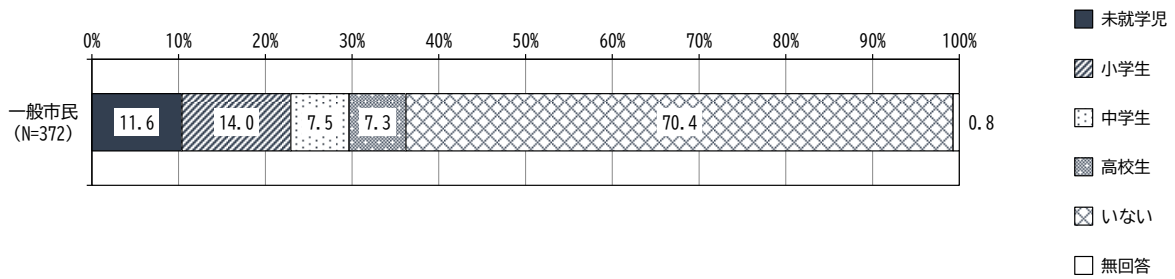
(1) あなたの年齢を教えてください。

「20代」3.8%、「30代」9.4%、「40代」18.8%、「50代」19.6%、「60代」16.1%、「70代以上」31.7%となっている。



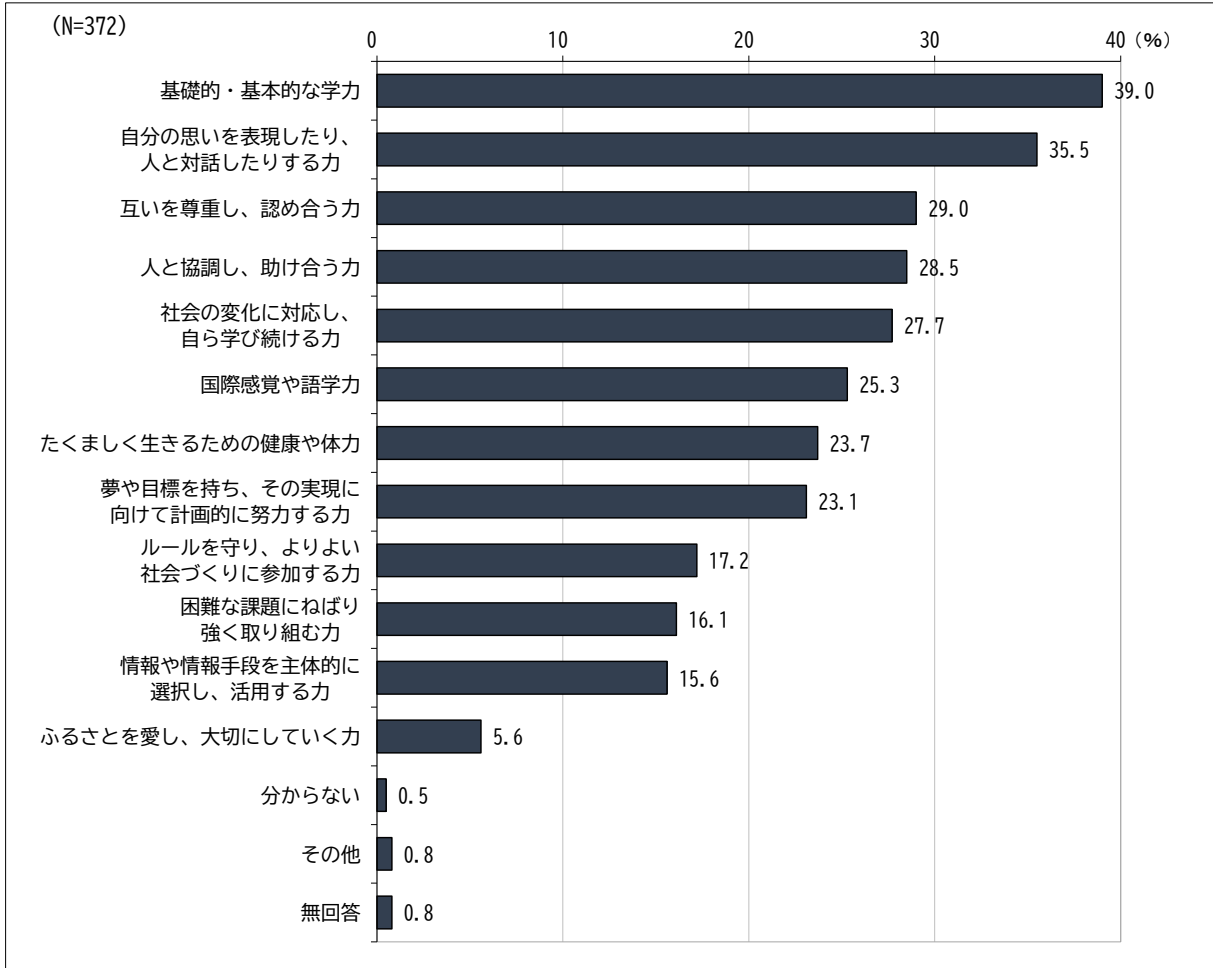
(2) あなたは、同居家族に高校生以下のお子さんはいらっしゃいますか。

「未就学児」11.6%、「小学生」14.0%、「中学生」7.5%、「高校生」7.3%、「いない」70.4%となっている。



(3)あなたは、これからの子どもたちに特に必要な資質・能力はどれだと思いますか。

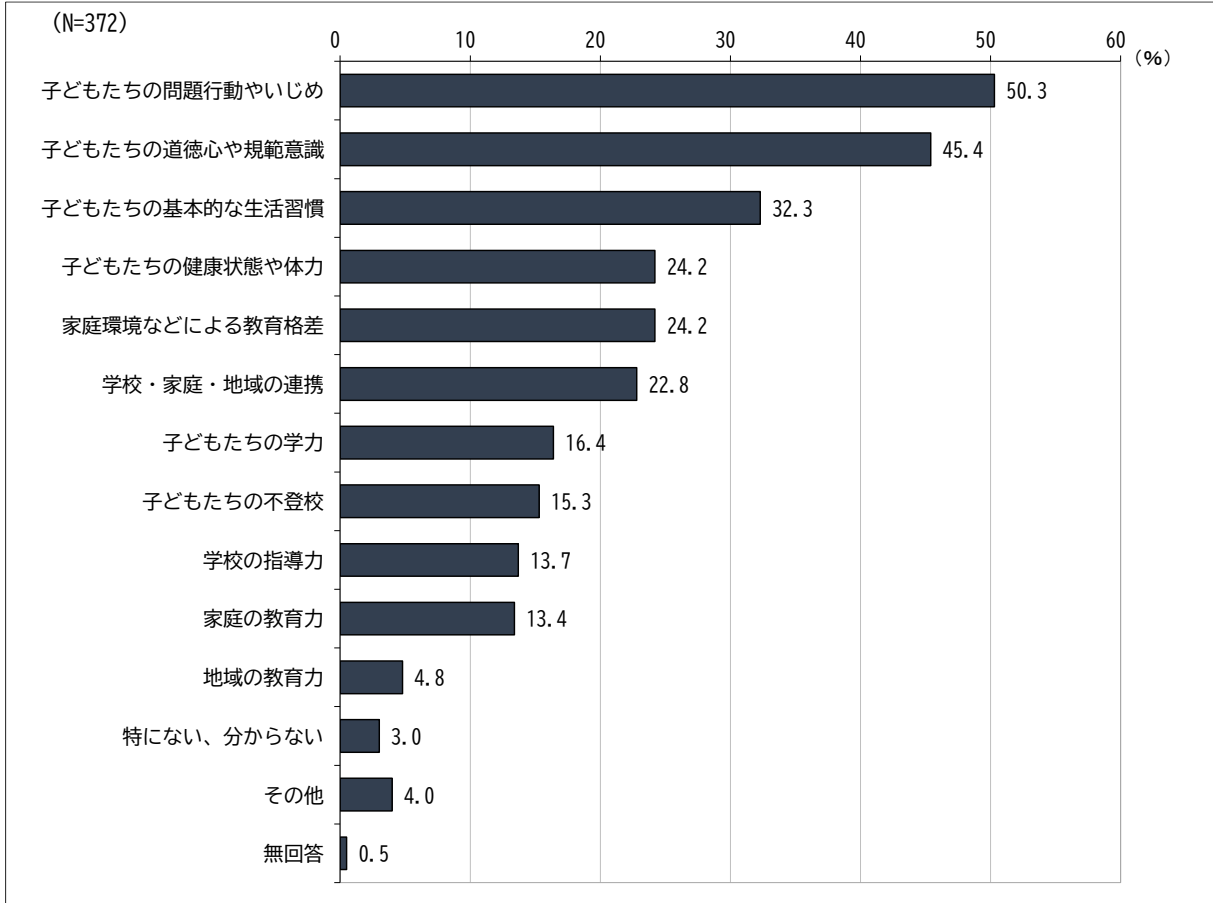
これからの子どもたちに特に必要な資質・能力について、「基礎的・基本的な学力」39.0%が最も多く、「自分の思いを表現したり、人と対話したりする力」35.5%、「互いを尊重し、認め合う力」29.0%と続いている。



▶対象者比較 P.62

(4)あなたが、子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。

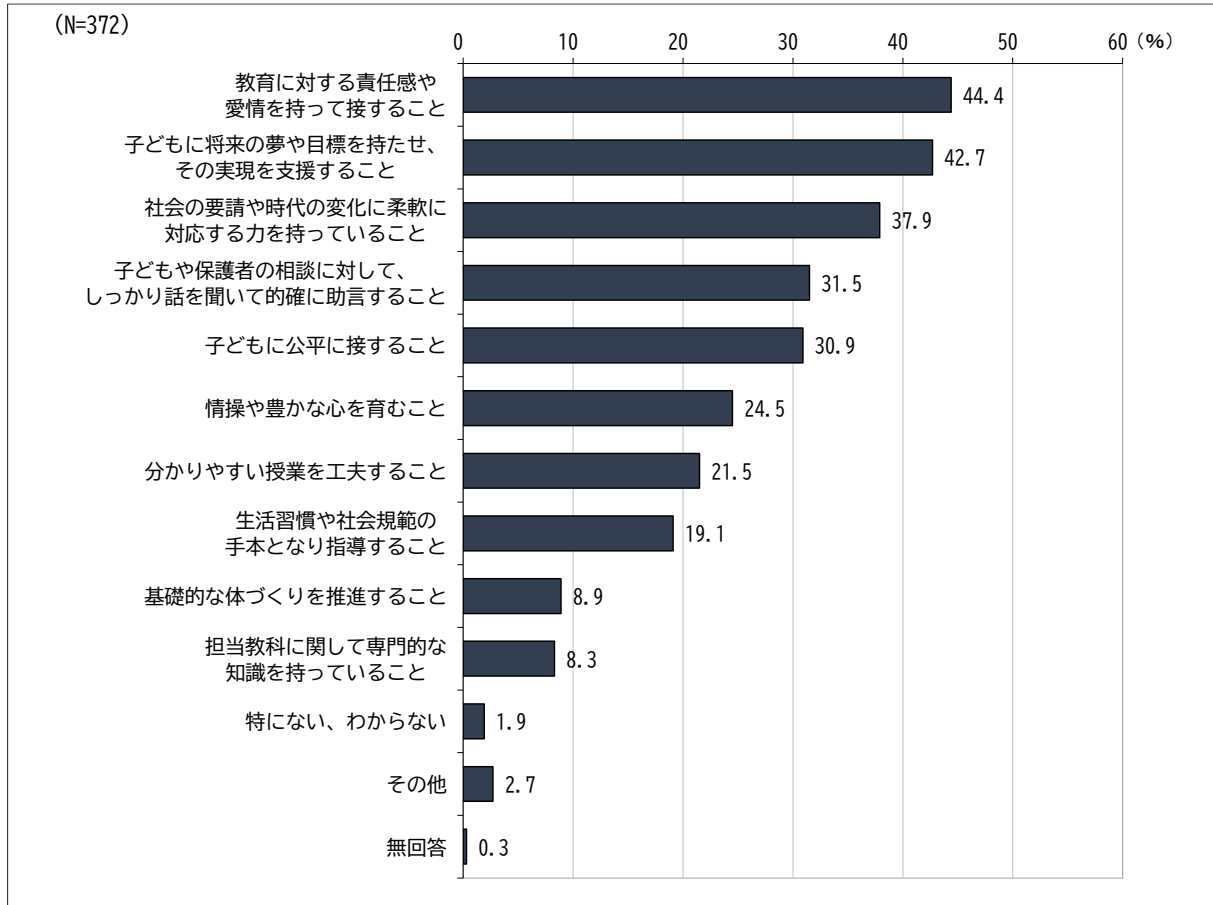
子どもたちや教育について課題と感じていることについて、「子どもたちの問題行動やいじめ」50.3%が最も多く、「子どもたちの道徳心や規範意識」45.4%、「子どもたちの基本的な生活習慣」32.3%、「子どもたちの健康状態や体力」24.2%と続いている。



▶対象者比較 P.63

(5)あなたは、小・中学校に対してどのようなことを望みますか。

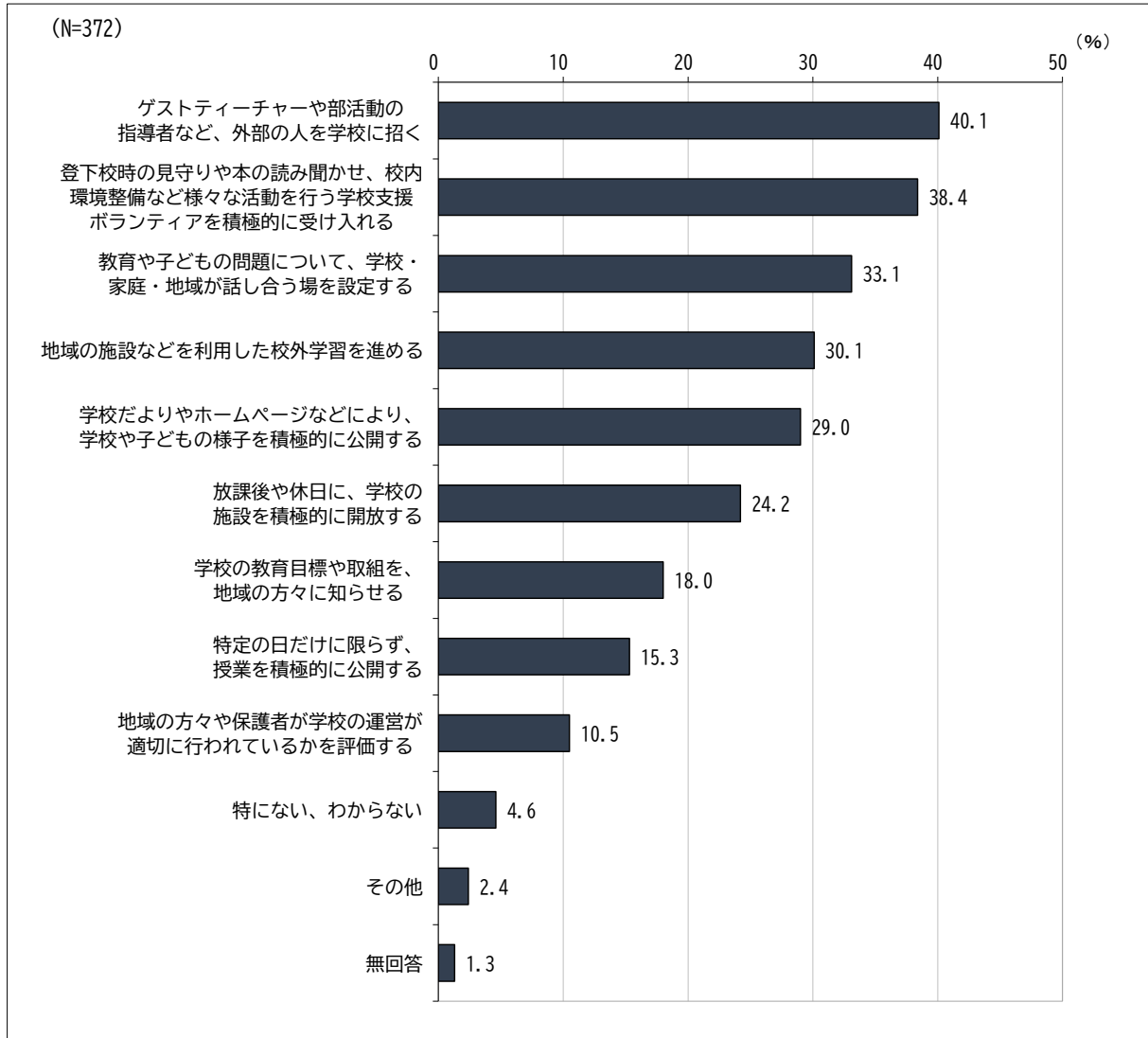
小・中学校に対して望むことについて、「教育に対する責任感や愛情をもって接すること」44.4%が最も多く、「子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること」42.7%、「社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること」37.9%と続いている。



▶対象者比較 P.64

(6)地域とともにある学校にするために、あなたは何が大切だと思いますか。

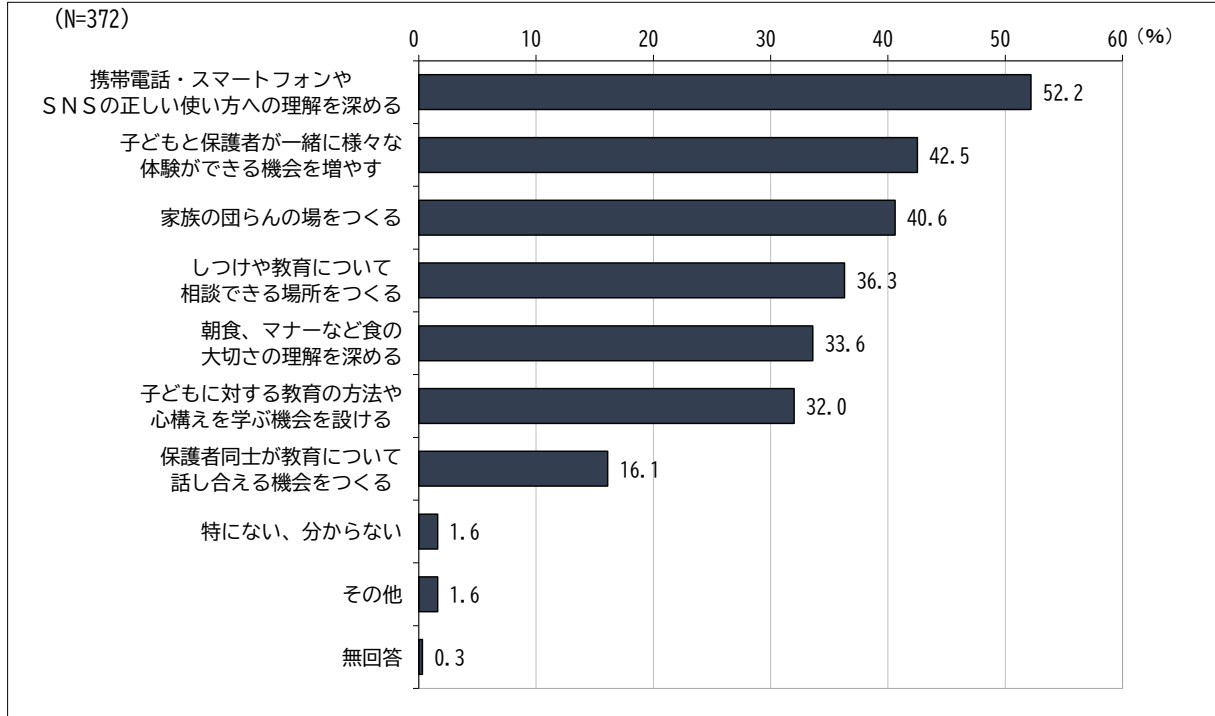
地域とともにある学校にするために大切なことについて、「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」40.1%と最も多く、「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」38.4%、「教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する」33.1%と続いている。



▶対象者比較 P.65

(7)あなたは、家庭教育についてどのような取組が必要だと思いますか。

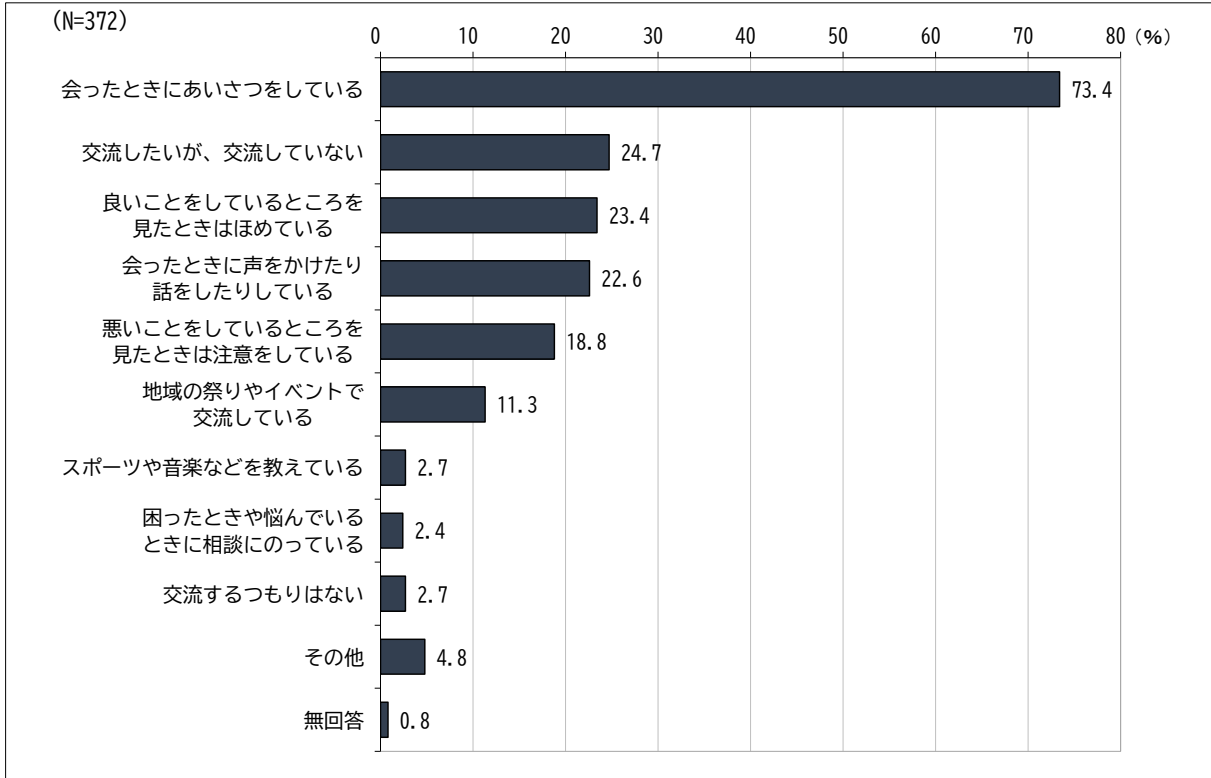
家庭教育に必要な取組について、「携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方への理解を深める」52.2%が最も多く、「子どもと保護者が一緒に様々な体験ができる機会を増やす」42.5%、「家族の団らんの場をつくる」40.6%と続いている。



▶対象者比較 P.60

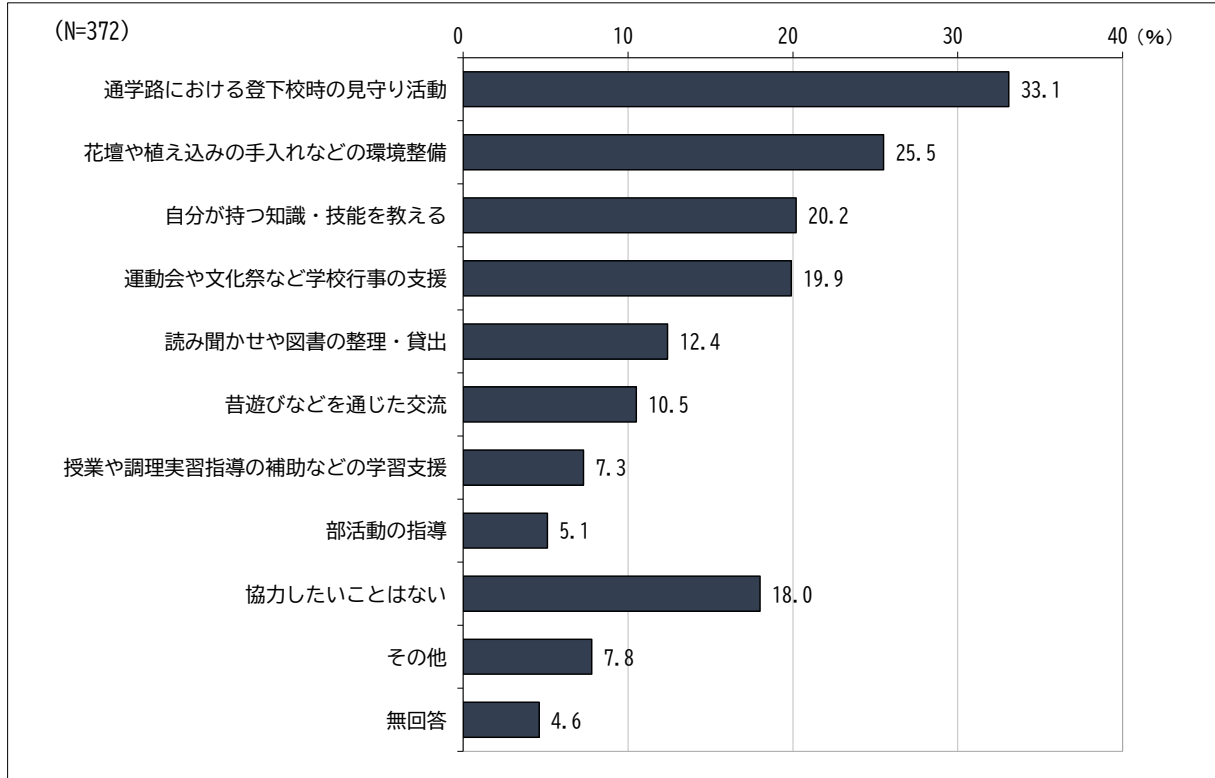
(8) 普段、あなたは地域の子どものどのように接していますか。

子どもたちとの普段の接し方について、「会ったときにあいさつをしている」73.4%が最も多く、「交流したいが、交流していない」24.7%、「良いことをしているところを見たときはほめている」23.4%、「会ったときに声をかけたり話をしたりしている」22.6%と続いている。



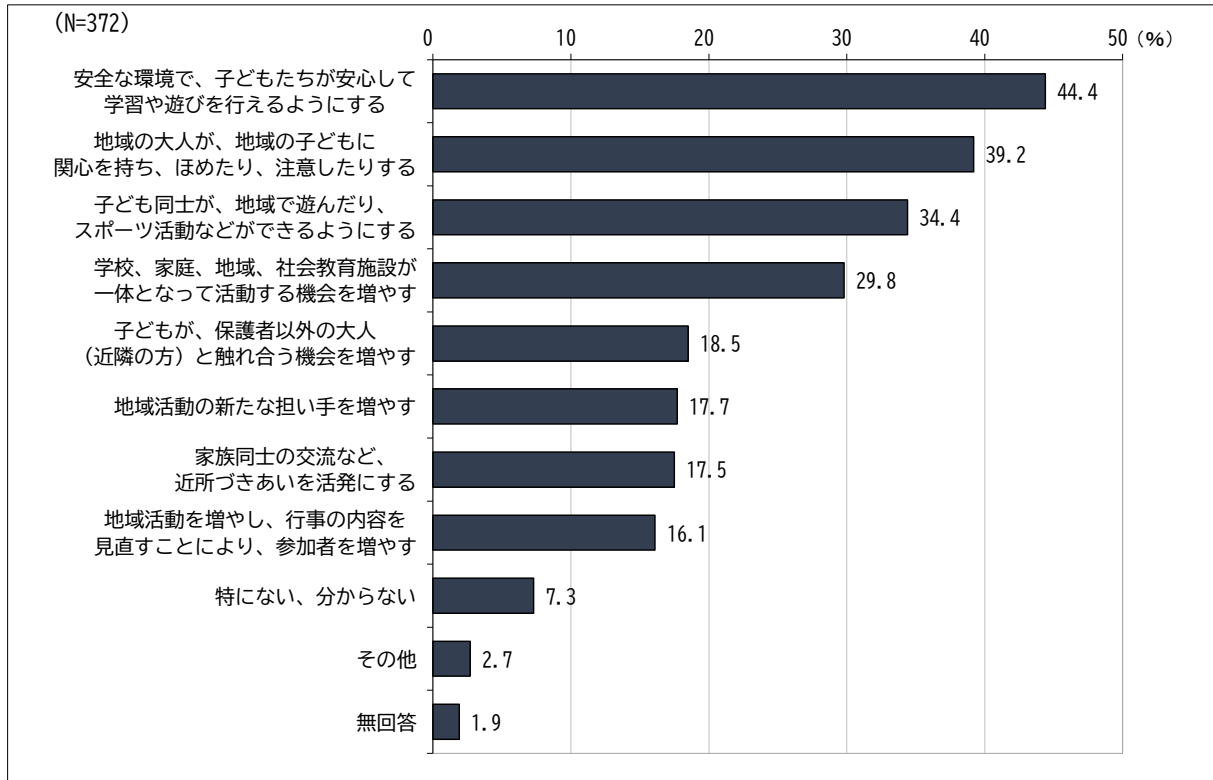
(9)あなたが、今後、地域の学校に対して協力してみたいと思うことは何ですか。

今後、地域の学校に対して協力してみたいことについて、「通学路における登下校時の見守り活動」33.1%が最も多く、「花壇や植え込みの手入れなどの環境整備」25.5%、「自分が持つ知識・技能を教える」20.2%と続いている。



(10)あなたは、「地域の教育力」を高めるために、どのような取組が必要だと思いますか。

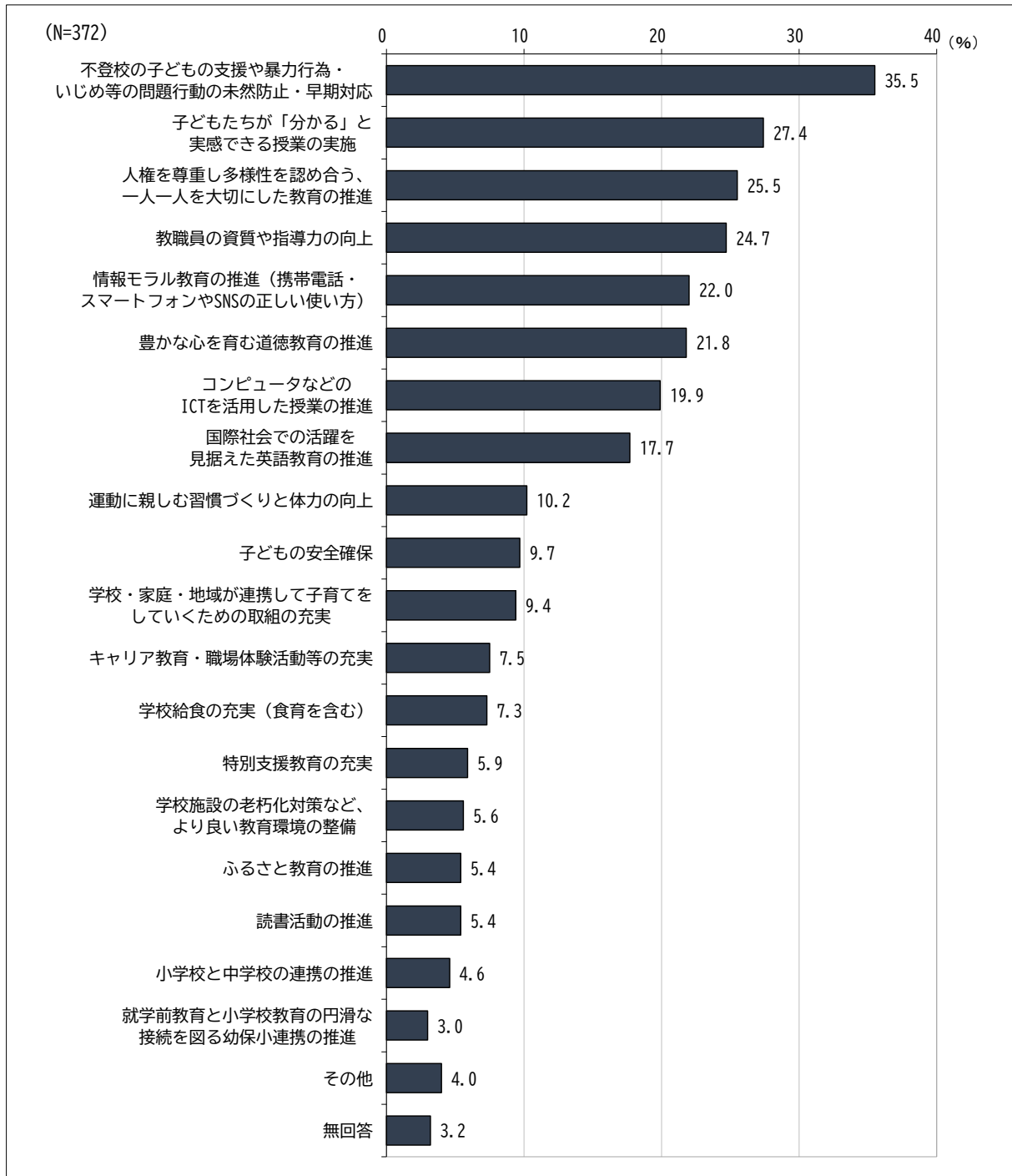
「地域の教育力」を高めるために必要な取組について、「安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする」44.4%が最も多く、「地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする」39.2%、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする」34.4%と続いている。



▶対象者比較 P.61

(11)教育に関する主な施策のうち、今後、高松市が力を入れて行う必要があるものはどれですか。

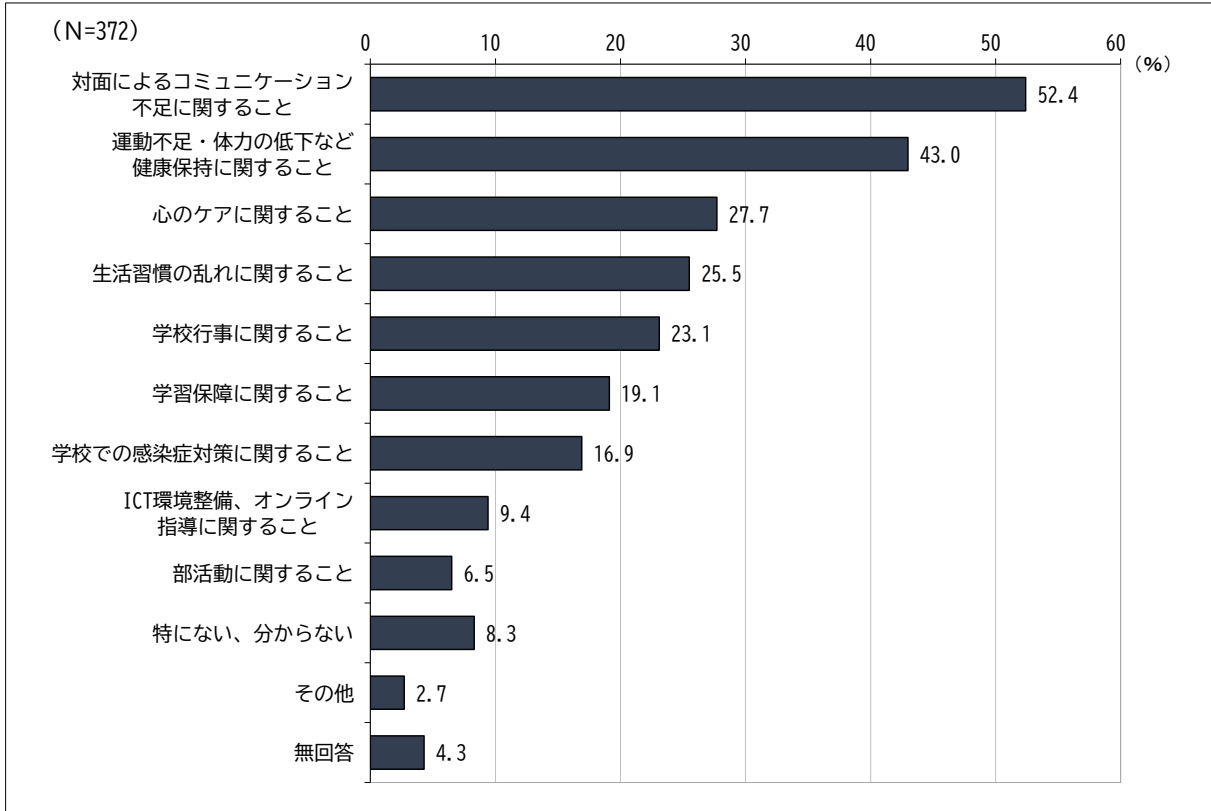
今後、高松市が力を入れて行う必要がある教育に関する主な施策について、「不登校の子どもの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応」35.5%が最も多く、「子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施」27.4%、「人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にした教育の推進」25.5%と続いている。



▶対象者比較 P.66

(12)新型コロナウイルス感染症の流行に関して、高松市の子どもたちの教育について不安に感じていることは何ですか。

新型コロナウイルス感染症の流行に関して不安に感じていることについて、「対面によるコミュニケーション不足に関すること」52.4%が最も多く、「運動不足・体力の低下など健康保持に関すること」43.0%、「心のケアに関すること」27.7%と続いている。



▶対象者比較 P.58

(13)最後に、日頃、学校教育について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

主な意見は以下のとおりとなっている。

①学校教育の充実について

- ・子どもにとっての1年は大切な1年なので、その1年で経験できることを増やして欲しい。マスク、黙食などを減らし、コミュニケーションや楽しく食事できる食育を大切にほしい。
- ・人との繋がりが減る中で、学校では積極的にコミュニケーション能力が向上するような教育にも期待したい。
- ・先生が子どもたちとしっかり過ごせる時間を確保することが何よりも大切ではないかと思う。
- ・子どもの能力差なども現実的に受け入れた上で、違いに応じた個々に応じた課題を設定するには、デジタル化は必須だと思う。
- ・現場の先生方は生徒との高いコミュニケーション能力を持って、子どもたちの成長を導くことのできる、コーチング的な関わりを求めるべき。
- ・日本人としての自覚と誇りをもって自分もふるさとも日本も愛せることが当たり前となる教育が必要だと思う。その心を持って世界に羽ばたいてほしい。
- ・体験や経験をできる限り増やしてほしい。

②学校教育環境の整備について

- ・先生方の業務(授業以外、事務や部活など)が多すぎて、教材研究にかける時間が不十分だと思う。
- ・先生も休みを取りながら、もう少し柔軟に動ける環境を整備し、教員が悩み相談できるシステムを充実させて、まずは先生のストレスを解消しないと、よい教育が出来ないと思う。
- ・教員の労働環境の改善が必要。教員に余裕ができると指導力の向上、心理的なケアに結びつく。

③子どもの安全確保について

- ・子どもでも自分の命を守るために正しい判断と安心して相談できる環境を整えてあげてほしい。

④家庭・地域の教育力の向上について

- ・子どもの教育は、学校と家庭だけではなく、社会全体で見守って行く必要があると思う。
- ・いじめの問題が増加しており、担任と両親との信頼関係を密にして、事前に予兆などを把握することの必要性を感じる。
- ・最近、地域でも挨拶をする子どもが少なく感じる。校長先生によっては挨拶に力を入れてくださっていると感じることがある。まずは、子どもたちの明るい元気な挨拶が基本だと思っている。大人たちも子どもたちの挨拶に元気をもらっている。

5. 対象者比較

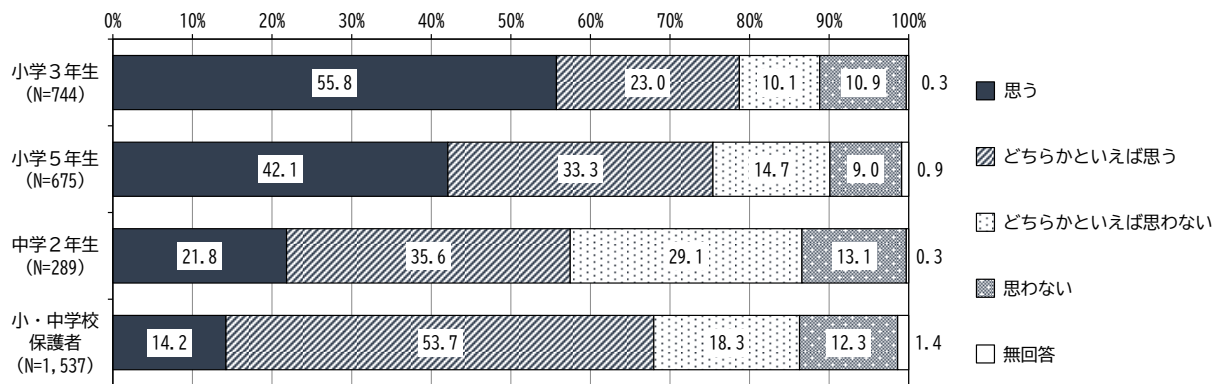
調査種別(児童生徒調査、保護者調査、教員調査、一般市民調査)ごとに、類似する設問について、調査結果の比較を行い、傾向を分析した。

【1】児童生徒、保護者

(1)児童生徒:あなたは、大人になっても高松市や今住んでいる地域に住み続けたいと思いますか。(P.11)

保護者:あなたは、将来、お子さんに高松市に住み続けてもらいたいと思いますか。(P.18)

「思う」は小学3年生 55.8%、小学5年生 42.1%、中学2年生 21.8%、小・中学校保護者 14.2%と年齢が上がるにつれて、減少している。「思う」、「どちらかといえば思う」を合わせた数字は小学3年生 78.8%、小学5年生 75.4%、小・中学校保護者 67.9%と多くなっている。



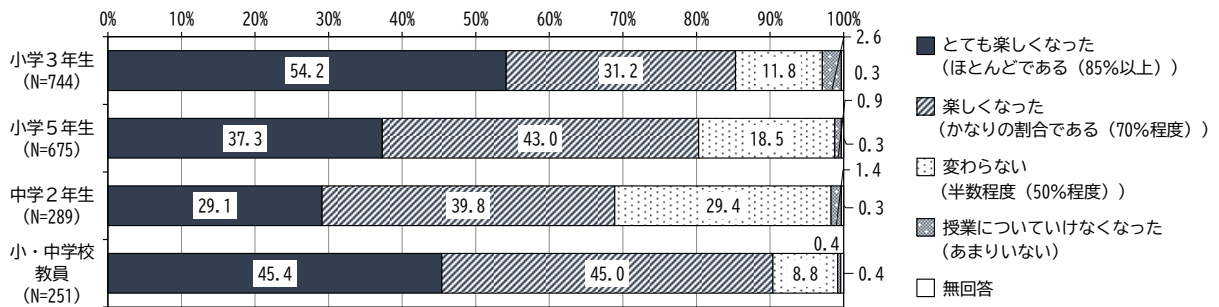
【2】児童生徒、教員

(1)児童生徒:一人一台端末を使った授業について、これまでの授業と比べてどのように感じていますか。(P.7)

(2)教員:一人一台端末を使った授業について、「楽しい」と感じている児童生徒の割合はどの程度だと思いますか。(P.33)

「とても楽しくなった」、「楽しくなった」を合わせた数字は小学3年生 85.4%、小学5年生 80.3%、中学2年生 68.9%となっており、教員では「楽しい」と感じている児童生徒の割合は「ほとんどである」、「かなりの割合である」を合わせた数字は90.4%と多くなっている。

一方、中学2年生では「変わらない」の割合が29.4%と多くなっている。



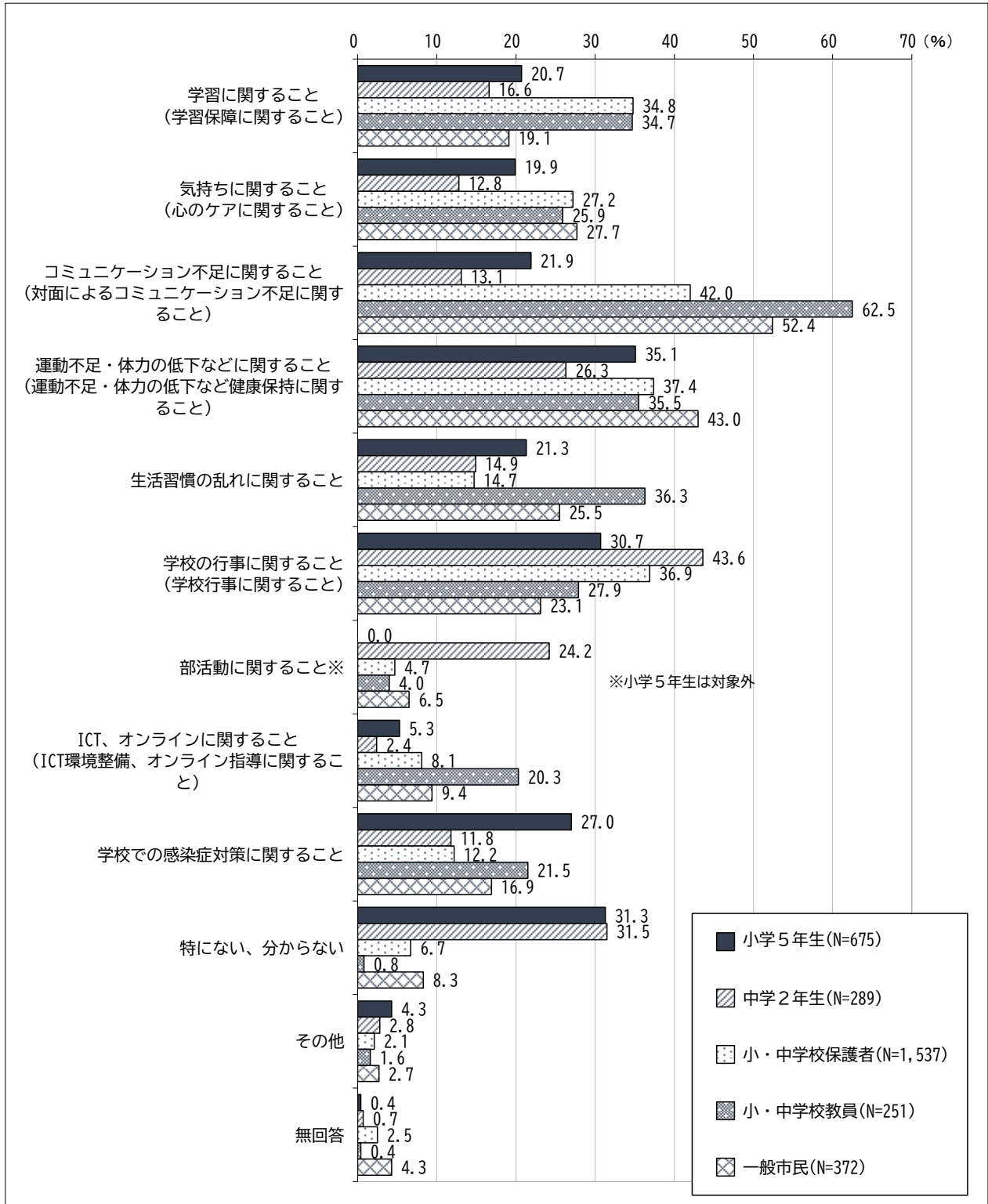
(小・中学校教員の選択肢)

【3】児童生徒、保護者、教員、一般市民

(1)新型コロナウイルス感染症の流行に関して、あなたが不安に感じていることは何ですか。 (P.12) (P.23) (P.38) (P.54)

小学5年生は「運動不足・体力の低下などに関すること」35.1%、中学2年生は「学校の行事に関すること」43.6%が最も多く、保護者、教員、一般市民は「コミュニケーション不足に関すること(対面によるコミュニケーション不足に関すること)」の割合が最も多くなっている。

一方、児童生徒は「特にない、わからない」の割合も3割程度と多くなっている。

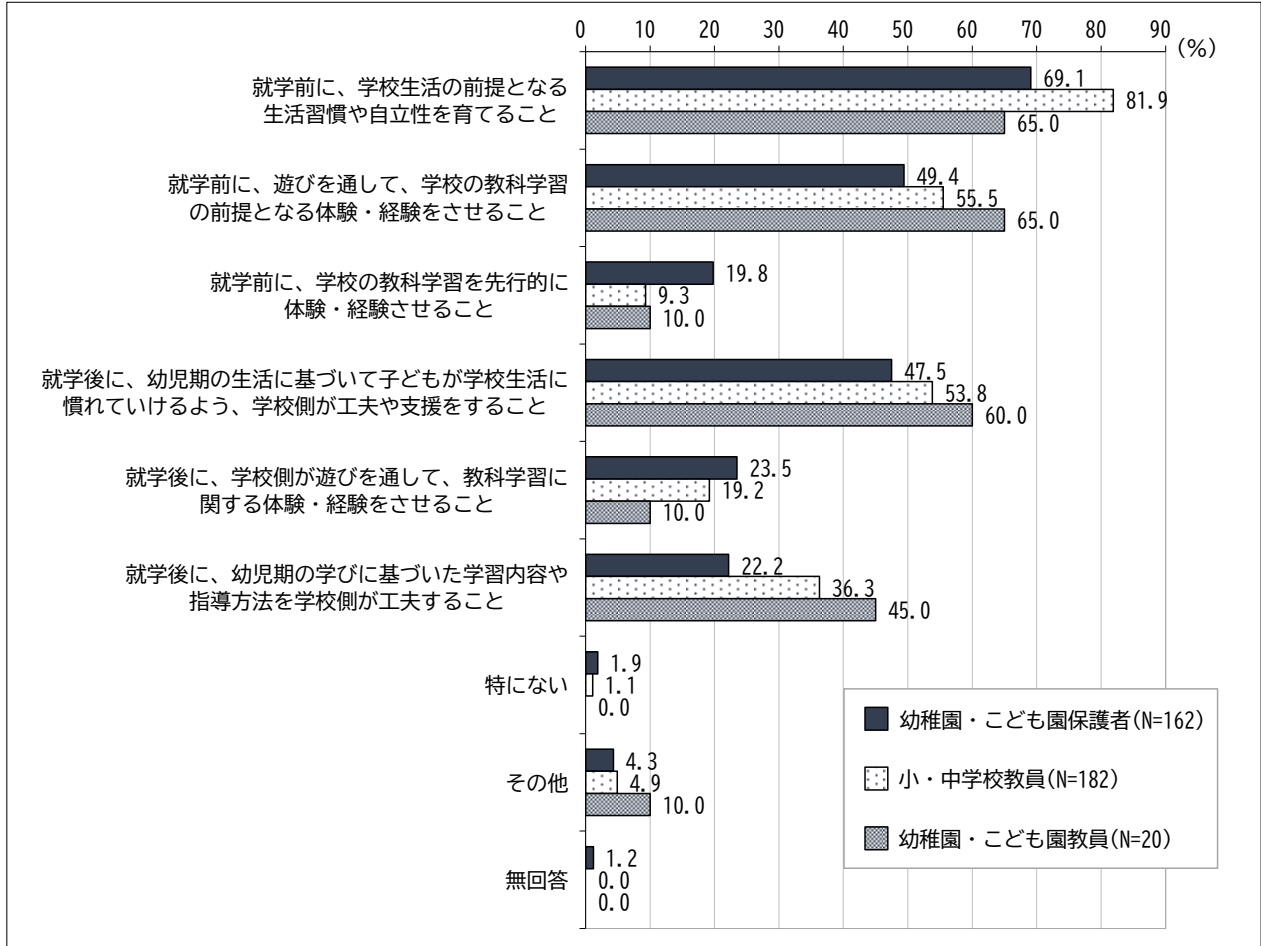


(小・中学校教員・一般市民の選択肢)

【4】保護者、教員

(1) 就学前教育と小学校教育との円滑な接続に向けて、どのような取組が必要だと思いますか。 (P. 27) (P. 36) (P. 41)

いずれも「就学前に、学校生活の前提となる生活習慣や自立性を育てること」の割合が最も多く、「就学前に、遊びを通して、学校の教科学習の前提となる体験・経験をさせること」の割合が続いている。

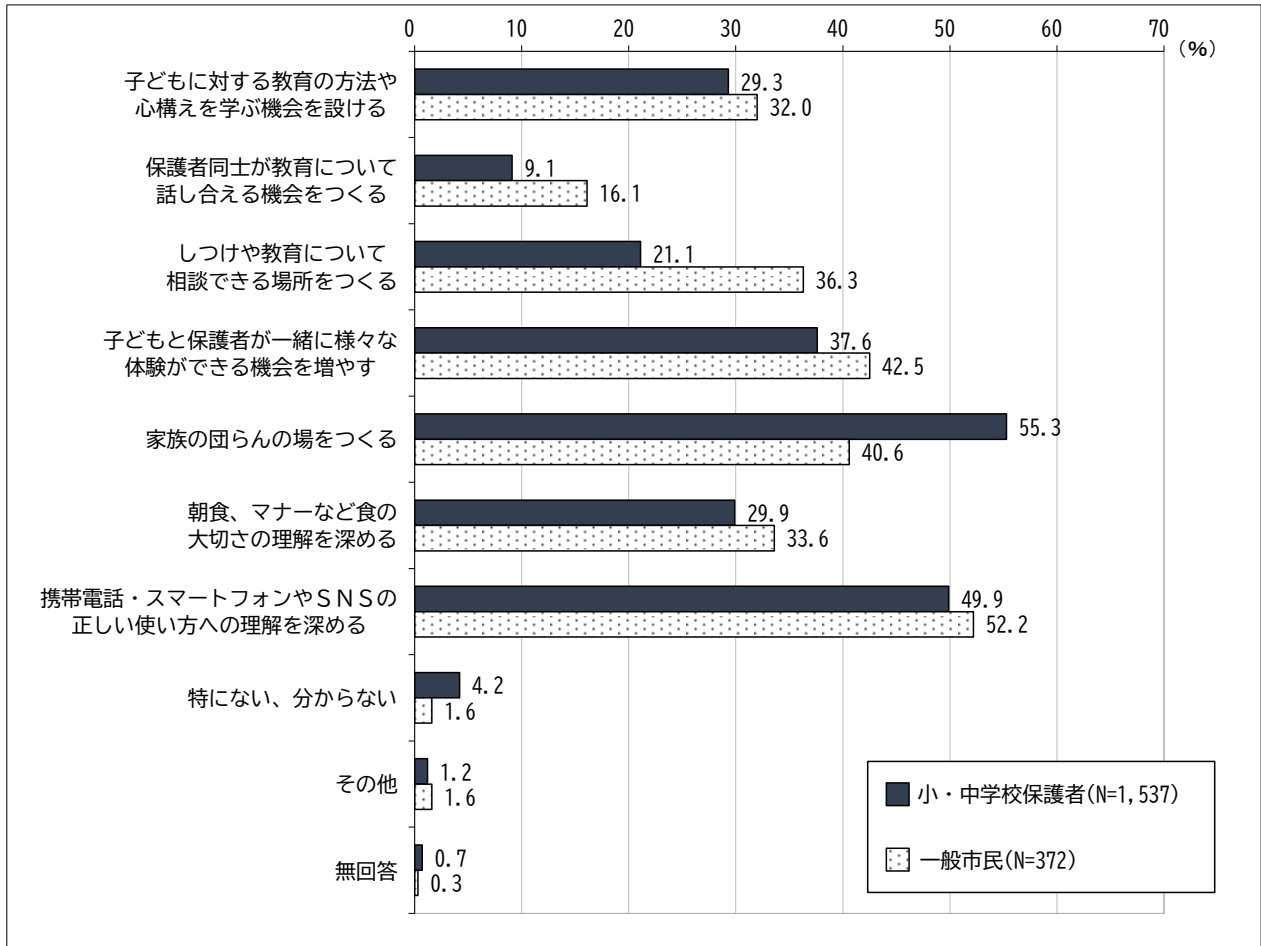


【5】保護者、一般市民

(1)あなたは、家庭教育についてどのような取組が必要だと思いますか。(P. 19) (P. 49)

小・中学校保護者は「家族の団らんの場をつくる」55.3%、一般市民は「携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方への理解を深める」52.2%が最も多くなっている。

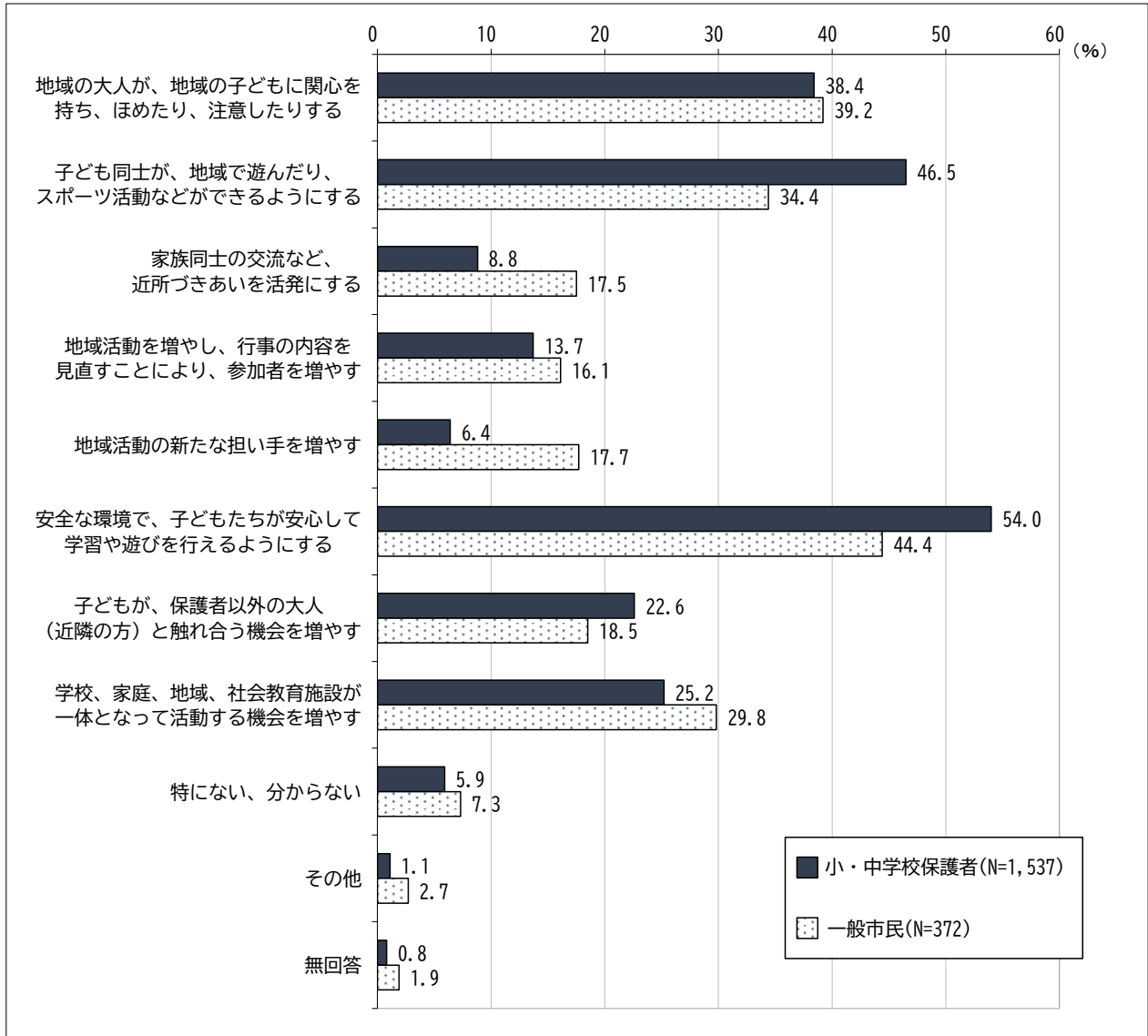
また、小・中学校保護者では「携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方への理解を深める」、一般市民では「子どもと保護者が一緒に様々な体験ができる機会を増やす」の割合がそれぞれ続いている。



(2)あなたは、「地域の教育力」を高めるために、どのような取組が必要だと思いますか。
(P. 21) (P. 52)

小・中学校保護者、一般市民ともに「安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする」の割合が最も多くなっている。

また、小・中学校保護者では「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする」、一般市民では「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」の割合がそれぞれ続いている。

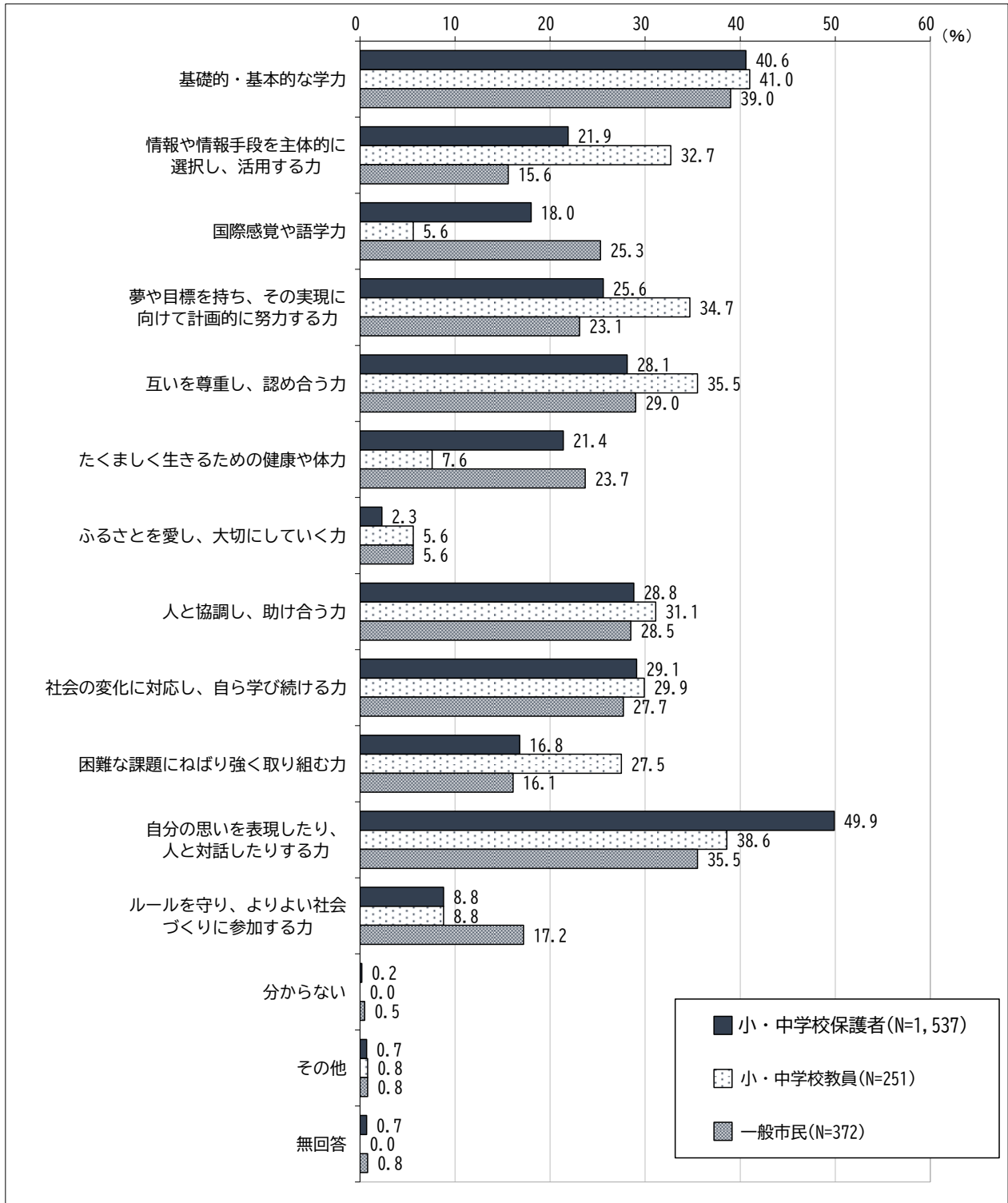


【6】保護者、教員、一般市民

(1)あなたは、これからの子どもに特に必要な資質・能力はどれだと思いますか。 (P. 14) (P. 31) (P. 45)

小・中学校保護者は「自分の思いを表現したり、人と対話したりする力」49.9%が最も多く、小・中学校教員、一般市民は「基礎的・基本的な学力」がそれぞれ41.0%、39.0%と最も多くなっている。

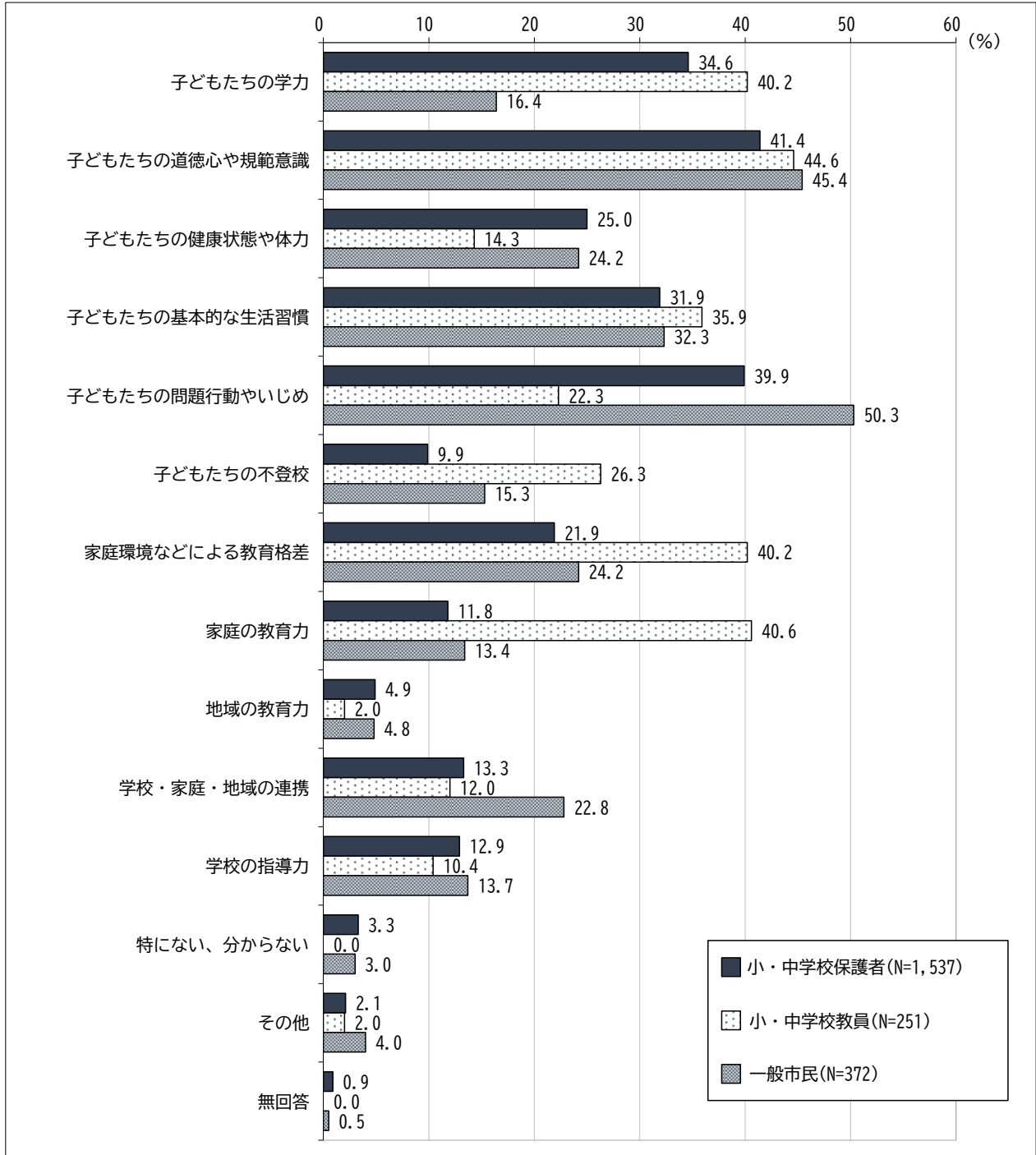
また、小・中学校教員では「情報や情報手段を主体的に選択し、活用する力」、「夢や目標を持ち、その実現に向けて計画的に努力する力」、小・中学校保護者、一般市民では「国際感覚や語学力」、「たくましく生きるための健康や体力」の割合がそれぞれ続いている。



(2)あなたが、子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。
(P.15) (P.32) (P.46)

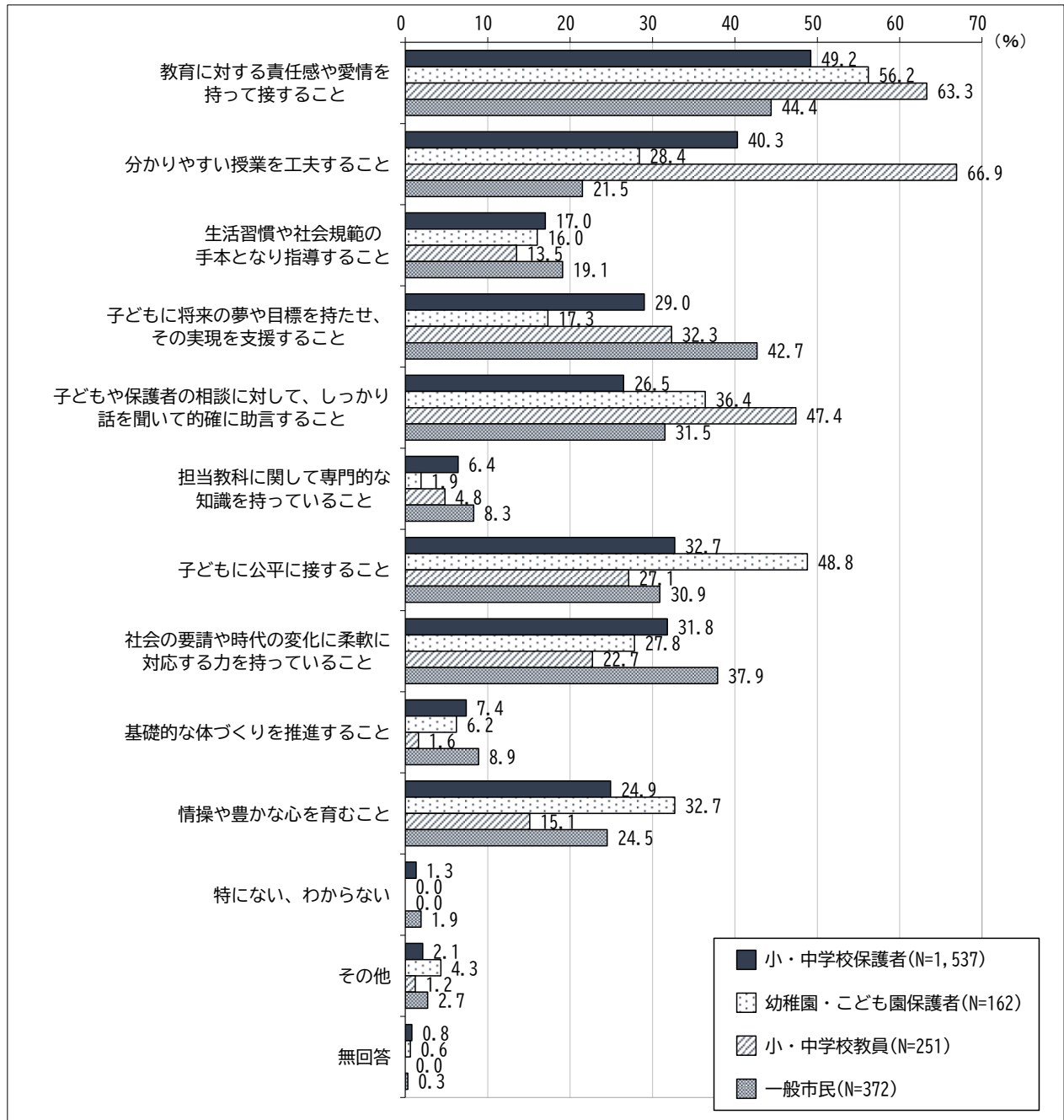
小・中学校保護者、小・中学校教員は「子どもたちの道徳心や規範意識」がそれぞれ41.4%、44.6%、一般市民は「子どもたちの問題行動やいじめ」50.3%が最も多くなっている。

また、小・中学校保護者では「子どもたちの基本的な生活習慣」、小・中学校教員では「家庭の教育力」、一般市民では「子どもたちの道徳心や規範意識」の割合がそれぞれ続いている。



- (3)保護者:あなたは、学校に対してどのようなことを望みますか。(P. 18) (P. 28)
 教員:学校は、保護者や地域の方にどのようなことを期待されていると思いますか。
 (P. 33)
 一般市民:あなたは、小・中学校に対してどのようなことを望みますか。(P. 47)

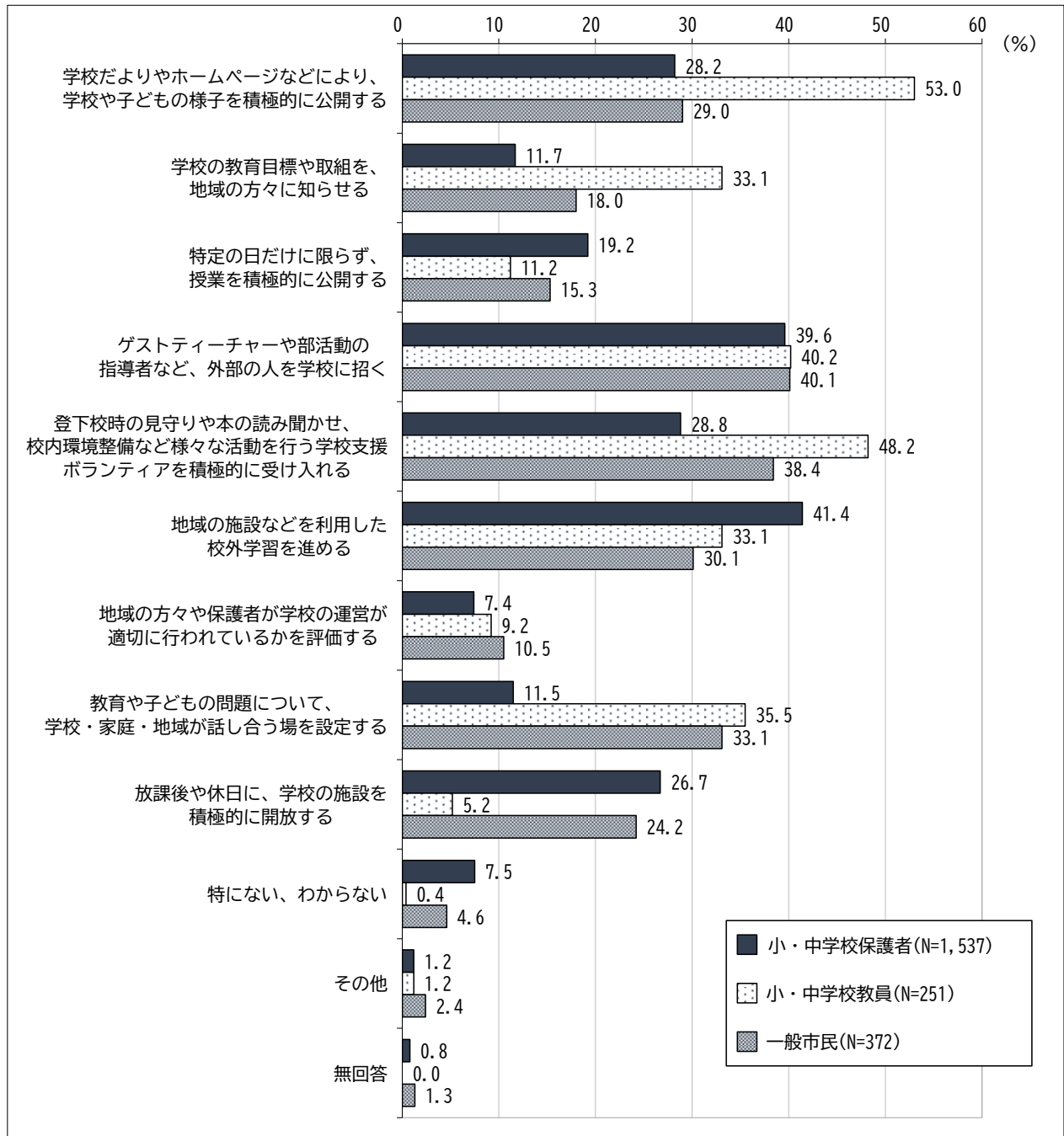
小・中学校教員を除くすべての対象者で「教育に対する責任感や愛情を持って接すること」の割合が最も多くなっている。小・中学校教員では「分かりやすい授業を工夫すること」の割合が最も多くなっている。
 また、小・中学校保護者では「分かりやすい授業を工夫すること」、幼稚園・こども園保護者では「子どもに公平に接すること」、小・中学校教員では「教育に対する責任感や愛情を持って接すること」、一般市民では「子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること」の割合がそれぞれ続いている。



(4)地域とともにある学校にするために、あなたは何が大切だと思いますか。
(P. 20) (P. 35) (P. 48)

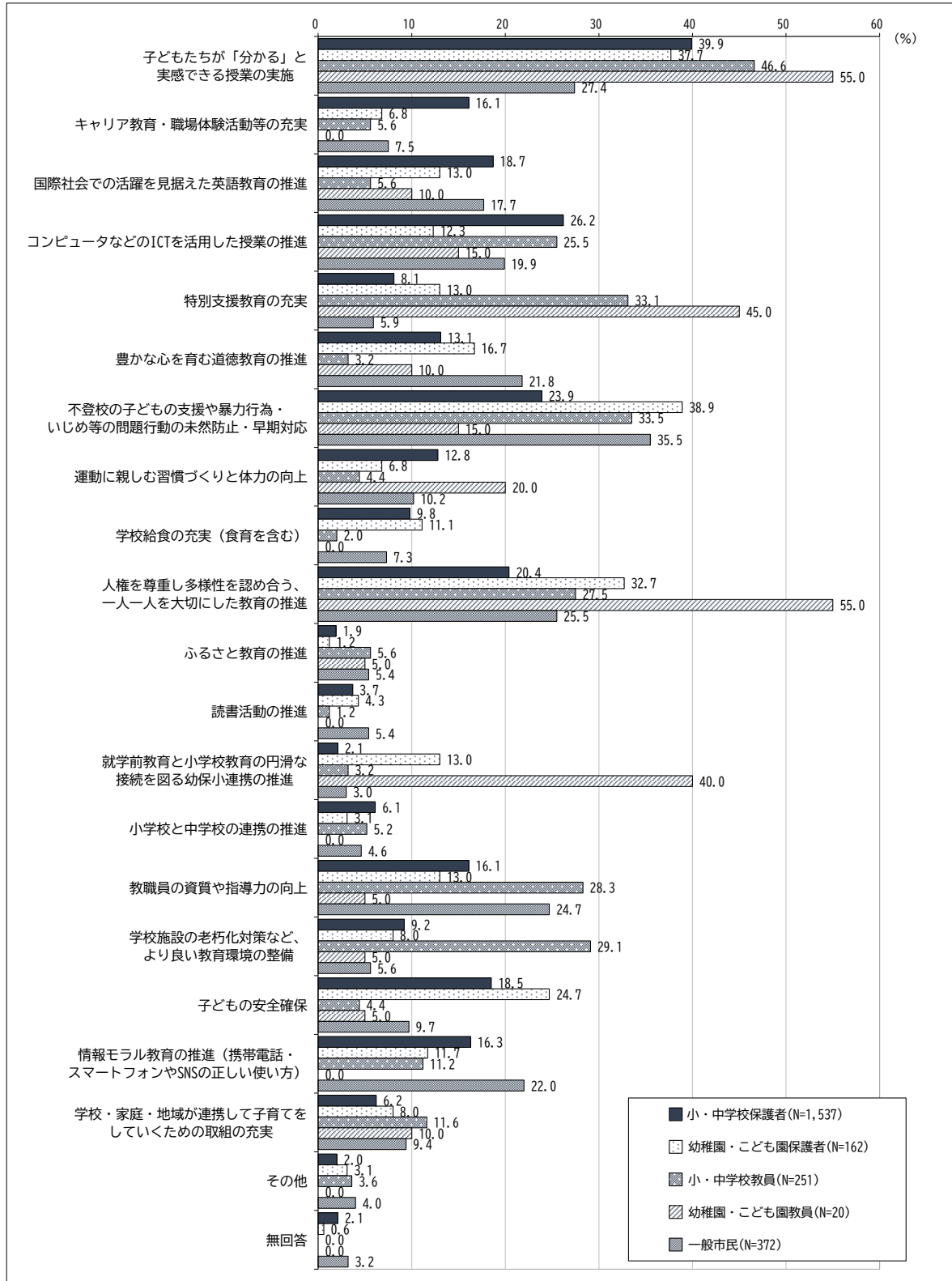
小・中学校保護者は「地域の施設などを利用した校外学習を進める」41.4%、小・中学校教員は「学校だよりホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」53.0%、一般市民は「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」40.1%が最も多くなっている。

また、小・中学校保護者では「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」、小・中学校教員、一般市民では「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合がそれぞれ続いている。



(5)教育に関する主な施策のうち、今後、高松市が力を入れて行う必要があるものはどれですか。
(P. 22) (P. 29) (P. 37) (P. 42) (P. 53)

小・中学校保護者、小・中学校教員は「子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施」がそれぞれ46.6%、39.9%、幼稚園・こども園保護者、一般市民は「不登校の子どもの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応」がそれぞれ38.9%、35.5%、幼稚園・こども園教員は「子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施」、「人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にされた教育の推進」ともに55.0%と最も多くなっている。



<参考資料>

参考資料

1. 集計表(※対象者比較の一部設問のみ)

対象者比較の一部設問について、区分ごとの回答項目(上位3位まで)を下記のとおり記載した。

■新型コロナウイルス感染症の流行に関して、あなたが不安に感じていることは何ですか。

区分	第1位	第2位	第3位
小学5年生	運動不足・体力の低下などに関すること (35.1%)	学校の行事に関すること (30.7%)	学校での感染症対策に関すること (27.0%)
中学2年生	学校の行事に関すること (43.6%)	運動不足・体力の低下などに関すること (26.3%)	部活動に関すること (24.2%)
小・中学校保護者	コミュニケーション不足に関すること (42.0%)	運動不足・体力の低下などに関すること (37.4%)	学校の行事に関すること (36.9%)
小・中学校教員	対面によるコミュニケーション不足に関すること (62.5%)	生活習慣の乱れに関すること (36.3%)	運動不足・体力の低下など健康保持に関すること (35.5%)
一般市民	対面によるコミュニケーション不足に関すること (52.4%)	運動不足・体力の低下など健康保持に関すること (43.0%)	心のケアに関すること (27.7%)

▶対象者比較 P.58

■あなたは、これからの子どもに特に必要な資質・能力はどれだと思いますか。

区分	第1位	第2位	第3位
小・中学校保護者	自分の思いを表現したり、人と対話したりする力 (49.9%)	基礎的・基本的な学力 (40.6%)	社会の変化に対応し、自ら学び続ける力 (29.1%)
小・中学校教員	基礎的・基本的な学力 (41.0%)	自分の思いを表現したり、人と対話したりする力 (38.6%)	互いを尊重し、認め合う力 (35.5%)
一般市民	基礎的・基本的な学力 (39.0%)	自分の思いを表現したり、人と対話したりする力 (35.5%)	互いを尊重し、認め合う力 (29.0%)

▶対象者比較 P.62

■あなたが、子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。

区分	第1位	第2位	第3位
小・中学校保護者	子どもたちの道徳心や規範意識 (41.4%)	子どもたちの問題行動やいじめ (39.9%)	子どもたちの学力 (34.6%)
小・中学校教員	子どもたちの道徳心や規範意識 (44.6%)	家庭の教育力 (40.6%)	子どもたちの学力 (40.2%) 家庭環境などによる教育格差 (40.2%)
一般市民	子どもたちの問題行動やいじめ (50.3%)	子どもたちの道徳心や規範意識 (45.4%)	子どもたちの基本的な生活習慣 (32.3%)

▶対象者比較 P.63

- 保護者:あなたは、学校に対してどのようなことを望みますか。
 教員:学校は、保護者や地域の方にどのようなことを期待されていると思いますか。
 一般市民:あなたは、小・中学校に対してどのようなことを望みますか。

区分	第1位	第2位	第3位
小・中学校保護者	教育に対する責任感や愛情を持って接すること (49.2%)	分かりやすい授業を工夫すること (40.3%)	子どもに公平に接すること (32.7%)
幼稚園・子ども園保護者	教育に対する責任感や愛情を持って接すること (56.2%)	子どもに公平に接すること (48.8%)	子どもや保護者の相談に対して、しっかり話を聞いて的確に助言すること (36.4%)
小・中学校教員	分かりやすい授業を工夫すること (66.9%)	教育に対する責任感や愛情を持って接すること (63.3%)	子どもや保護者の相談に対して、しっかり話を聞いて的確に助言すること (47.4%)
一般市民	教育に対する責任感や愛情を持って接すること (44.4%)	子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること (42.7%)	社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること (37.9%)

▶対象者比較 P.64

- 地域とともにある学校にするために、あなたは何が大切だと思いますか。

区分	第1位	第2位	第3位
小・中学校保護者	地域の施設などを利用した校外学習を進める (41.4%)	ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く (39.6%)	登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる (28.8%)
小・中学校教員	学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する (53.0%)	登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる (48.2%)	ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く (40.2%)
一般市民	ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く (40.1%)	登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる (38.4%)	教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する (33.1%)

▶対象者比較 P.65

■教育に関する主な施策のうち、今後、高松市が力を入れて行う必要があるものはどれですか。

区分	第1位	第2位	第3位
小・中学校保護者	子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施 (39.9%)	コンピュータなどのICTを活用した授業の推進 (26.2%)	不登校の子どもへの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応 (23.9%)
幼稚園・子ども園保護者	不登校の子どもへの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応 (38.9%)	子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施 (37.7%)	人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にされた教育の推進 (32.7%)
小・中学校教員	子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施 (46.6%)	不登校の子どもへの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応 (33.5%)	特別支援教育の充実 (33.1%)
幼稚園・子ども園教員	子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施(55.0%) 人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にされた教育の推進 (55.0%)	特別支援教育の充実 (45.0%)	就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図る幼保小連携の推進 (40.0%)
一般市民	不登校の子どもへの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応 (35.5%)	子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施 (27.4%)	人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にされた教育の推進 (25.5%)

▶対象者比較 P.66

2. 調査票(小学3年生用)

問 1. あなたの通っている学校名を記入してください。

() 小学校

1. 学校生活について

問 2. あなたは、勉強が面白いですか。(1つだけ○)

1 そう思う	2 まあまあそう思う
3 あまり思わない	4 思わない

問 3. あなたは、友達と遊ぶのが楽しいですか。(1つだけ○)

1 そう思う	2 まあまあそう思う
3 あまり思わない	4 思わない

問 4. あなたのまわりには、やさしい先生がいますか。(1つだけ○)

1 そう思う	2 まあまあそう思う
3 あまり思わない	4 思わない


問 5. あなたは、学校の授業がどのくらい分かりますか。(1つだけ○)

1 よく分かる	2 だいたい分かる	3 あまり分からない	4 分からない
---------	-----------	------------	---------


問 6. あなたは、学校(学級)の規則(きまり)づくりに参加していますか。(1つだけ○)

1 参加している	2 参加していないが、機会があれば参加したい	3 参加していない
----------	------------------------	-----------

問 7. あなたは、どんな先生が好きですか。(3つまで○)

1 勉強を分かりやすく教えてくれる先生	
2 できたところや得意なところをほめてくれる先生	
3 一人一人の気持ちを分かってくれる先生	
4 いろいろなことに挑戦させてくれる先生	
5 みんなに公平に接してくれる先生	
6 悪いことをしたら叱ってくれる先生	
7 その他()	

問 8. 一人一台端末(タブレット)を使った授業について、これまでの授業と比べてどのように感じていますか。(1つだけ○)

1 とても楽しくなった	
2 楽しくなった	
3 変わらない	
4 授業についていけなくなった	

問 9. あなたは、学校で困っていることや、不安に思うことがありますか。(1つだけ○)

1 勉強のこと	2 友だちのこと
3 先生のこと	4 特にない
5 その他()	

問 10. あなたは、学校で困っていることや、不安に思うことがあるときには、誰に相談しますか。(1つだけ○)

- | | |
|------------|----------|
| 1 親 | 2 兄弟姉妹 |
| 3 友だち | 4 先生 |
| 5 誰にも相談しない | 6 その他() |

2. 家庭や地域での生活について

問 11. あなたは、家で困っていることや、不安に思うことがありますか。(1つだけ○)

- | | |
|--------|-----------|
| 1 親のこと | 2 兄弟姉妹のこと |
| 3 特にない | 4 その他() |

問 12. あなたは、家で困っていることや、不安に思うことがあるときには、誰に相談しますか。(1つだけ○)

- | | |
|------------|----------|
| 1 親 | 2 兄弟姉妹 |
| 3 友だち | 4 先生 |
| 5 誰にも相談しない | 6 その他() |

問 13. あなたは、学校から帰ったら、どのようなことに使う時間が多いですか。(休日を含む)
(3つまで○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 家で宿題・勉強をする |
| 2 習い事や塾に行く |
| 3 家の手伝いをする |
| 4 テレビやマンガを見たりする |
| 5 スマートフォンやタブレットなどで、インターネットやゲームをしたりする |
| 6 友だちと携帯電話で話をしたり、メールのやり取りなどをする |
| 7 友だちと外で遊ぶ |
| 8 スポーツをする |
| 9 読書をする |
| 10 その他() |



問 14. あなたは、自分だけが使う携帯電話やスマートフォンを持っていますか。(1つだけ○)

- | | |
|---------|----------|
| 1 持っている | 2 持っていない |
|---------|----------|

【「1. 持っている」を選んだ人にお聞きします。】

問 15. あなたは、平日に携帯電話やスマートフォンを、どのくらいの時間使っていますか。(1つだけ○)

- | | | |
|---------|------------|---------------|
| 1 4時間以上 | 2 3~4時間 | 3 2~3時間 |
| 4 1~2時間 | 5 1時間より少ない | 6 まったく利用していない |

3. 自分自身や将来のことについて

問 16. あなたは、大人になっても高松市や今住んでいる地域に住み続けたいと思いますか。(1つだけ○)

- | | | | |
|------|--------------|----------------|--------|
| 1 思う | 2 どちらかといえば思う | 3 どちらかといえば思わない | 4 思わない |
|------|--------------|----------------|--------|

ご協力ありがとうございました。

3. 調査票(小学5年生用)

問 1. あなたの通っている学校名を記入してください。

() 小学校

1. 学校生活について

問 2. あなたは、勉強が面白いですか。(1つだけ○)

1 そう思う	2 まあまあそう思う
3 あまり思わない	4 思わない

問 3. あなたは、友だちと遊ぶのが楽しいですか。(1つだけ○)

1 そう思う	2 まあまあそう思う
3 あまり思わない	4 思わない

問 4. あなたのまわりには、やさしい先生がいますか。(1つだけ○)

1 そう思う	2 まあまあそう思う
3 あまり思わない	4 思わない


問 5. あなたは、学校の授業がどのくらい分かりますか。(1つだけ○)

1 よく分かる	2 だいたい分かる	3 あまり分からない	4 分からない
---------	-----------	------------	---------


問 6. あなたは、学校(学級)の規則(きまり)づくりに参加していますか。(1つだけ○)

1 参加している	2 参加していないが、機会があれば参加したい	3 参加していない
----------	------------------------	-----------

問 7. あなたは、どんな先生が好きですか。(3つまで○)

1 勉強を分かりやすく教えてくれる先生	
2 できたところや得意なところをほめてくれる先生	
3 一人一人の気持ちを分かってくれる先生	
4 いろいろなことに挑戦させてくれる先生	
5 みんなに公平に接してくれる先生	
6 悪いことをしたら叱ってくれる先生	
7 その他()	

問 8. 一人一台端末(タブレット)を使った授業について、これまでの授業と比べてどのように感じていますか。(1つだけ○)

1 とても楽しくなった	2 楽しくなった	
3 変わらない	4 授業についていけなくなった	

問 9. あなたは、学校で困っていることや、不安に思うことがありますか。(1つだけ○)

1 勉強のこと	2 友だちのこと
3 先生のこと	4 特にない
5 その他()	

問 10. あなたは、学校で困っていることや、不安に思うことがあるときには、誰に相談しますか。(1つだけ○)

1 親	2 兄弟姉妹
3 友だち	4 先生
5 誰にも相談しない	6 その他()

2. 家庭や地域での生活について

問 11. あなたは、家で困っていることや、不安に思うことがありますか。(1つだけ○)


1 親のこと	2 兄弟姉妹のこと	3 特にない	4 その他()
--------	-----------	--------	----------

問 12. あなたは、家で困っていることや、不安に思うことがあるときには、誰に相談しますか。(1つだけ○)

1 親	2 兄弟姉妹	3 友だち	4 先生
5 誰にも相談しない	6 その他()		

問 13. あなたは、学校から帰ったら、どのようなことに使う時間が多いですか。(休日を含む)
(3つまで○)

1 家で宿題・勉強をする	2 習い事や塾に行く	3 家の手伝いをする
4 テレビやマンガを見たりする		
5 スマートフォンやタブレットなどで、インターネットやゲームをしたりする		
6 友だちと携帯電話で話をしたり、メールのやり取りなどをする		
7 友だちと外で遊ぶ	8 スポーツをする	9 読書をする
10 その他()		



問 14. あなたは、自分だけが使う携帯電話やスマートフォンを持っていますか。(1つだけ○)

1 持っている	2 持っていない
---------	----------

【「1. 持っている」を選んだ人にお聞きします。】

問 15. あなたは、平日に携帯電話やスマートフォンを、どのくらいの時間使っていますか。(1つだけ○)

1 4時間以上	2 3~4時間	3 2~3時間
4 1~2時間	5 1時間より少ない	6 まったく利用していない

問 16. 普段、あなたは地域の人たちとどのように接していますか。(3つまで○)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1 会ったときにあいさつをしている | 2 会ったときに声をかけたり話をしたりする |
| 3 困ったときや悩んでいるときに相談にのってもらう | 4 スポーツや音楽などを教えてもらう |
| 5 地域の祭りやイベントで交流している | 6 交流したいが、交流していない |
| 7 交流するつもりはない | 8 その他() |

3. 自分自身や将来のことについて

問 17. あなたは、将来どのような大人になりたいと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------------------------|------------------------|
| 1 世界で活躍できるような大人 | 2 仕事に就いて自立できる大人 |
| 3 自分で思っていることや感じていることを表現し、伝えることができる大人 | |
| 4 物事の善悪をきちんと判断できる大人 | 5 他人の立場を考えられる大人 |
| 6 地域のために役立つことができる大人 | 7 難しいことでもあきらめず、挑戦できる大人 |
| 8 社会に役立つことができる大人 | 9 その他() |

問 18. あなたは、大人になっても高松市や今住んでいる地域に住み続けたいと思いますか。(1つだけ○)

- | | | | |
|------|--------------|----------------|--------|
| 1 思う | 2 どちらかといえば思う | 3 どちらかといえば思わない | 4 思わない |
|------|--------------|----------------|--------|

4. その他

問 19. 新型コロナウイルス感染症の流行に関して、あなたが不安に感じていることは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 学習に関すること | 2 気持ちに関すること |
| 3 コミュニケーション不足に関すること | 4 運動不足・体力の低下などに関すること |
| 5 生活習慣の乱れに関すること | 6 学校の行事に関すること |
| 7 ICT、オンラインに関すること | 8 学校での感染症対策に関すること |
| 9 特にない、分からない | 10 その他() |



問 20. 最後に、今後の学校生活でやってみたいことや、学校が変わってほしいと思うことがあれば、ご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。

4. 調査票(中学2年生用)

問 1. あなたの通っている学校名を記入してください。

() 中学校

1. 学校生活について

問 2. あなたは、勉強が面白いですか。(1つだけ○)

1 そう思う	2 まあまあそう思う
3 あまり思わない	4 思わない

問 3. あなたは、友だちと遊ぶのが楽しいですか。(1つだけ○)

1 そう思う	2 まあまあそう思う
3 あまり思わない	4 思わない

問 4. あなたのまわりには、やさしい先生がいますか。(1つだけ○)

1 そう思う	2 まあまあそう思う
3 あまり思わない	4 思わない

問 5. あなたは、部活動が楽しいですか。(1つだけ○)

1 そう思う	2 まあまあそう思う
3 あまり思わない	4 思わない

問 6. あなたは、学校の授業がどのくらい分かりますか。(1つだけ○)

1 よく分かる	2 だいたい分かる	3 あまり分からない	4 分からない
---------	-----------	------------	---------

問 7. あなたは、学校(学級)の規則(きまり)づくりに参加していますか。(1つだけ○)

1 参加している	2 参加していないが、機会があれば参加したい	3 参加していない
----------	------------------------	-----------

問 8. あなたは、どんな先生が好きですか。(3つまで○)

1 勉強を分かりやすく教えてくれる先生
2 できたところや得意なところをほめてくれる先生
3 一人一人の気持ちを分かってくれる先生
4 いろいろなことに挑戦させてくれる先生
5 みんなに公平に接してくれる先生
6 悪いことをしたら叱ってくれる先生
7 その他()



問 9. 一人一台端末(タブレット)を使った授業について、これまでの授業と比べてどのように感じていますか。(1つだけ○)

1 とても楽しくなった	2 楽しくなった
3 変わらない	4 授業についていけなくなった



問 10. あなたは、学校で困っていることや、不安に思うことがありますか。(1つだけ○)

1 勉強のこと	2 友だちのこと
3 先生のこと	4 特にない
5 その他()	

問 11. あなたは、学校で困っていることや、不安に思うことがあるときには、誰に相談しますか。(1つだけ○)

1 親	2 兄弟姉妹
3 友だち	4 先生
5 誰にも相談しない	6 その他()

2. 家庭や地域での生活について

問 12. あなたは、家で困っていることや、不安に思うことがありますか。(1つだけ○)


1 親のこと	2 兄弟姉妹のこと	3 特にない	4 その他()
--------	-----------	--------	----------

問 13. あなたは、家で困っていることや、不安に思うことがあるときには、誰に相談しますか。(1つだけ○)

1 親	2 兄弟姉妹	3 友だち	4 先生
5 誰にも相談しない	6 その他()		

問 14. あなたは、学校から帰ったら、どのようなことに使う時間が多いですか。(休日を含む)
(3つまで○)

1 家で宿題・勉強をする	2 習い事や塾に行く	3 家の手伝いをする
4 テレビやマンガを見たりする		
5 スマートフォンやタブレットなどで、インターネットやゲームをしたりする		
6 友だちと携帯電話で話をしたり、メールのやり取りなどをする		
7 友だちと外で遊ぶ	8 スポーツをする	9 読書をする
10 その他()		



問 15. あなたは、自分だけが使う携帯電話やスマートフォンを持っていますか。(1つだけ○)

1 持っている	2 持っていない
---------	----------

【「1. 持っている」を選んだ人にお聞きします。】
問 16. あなたは、平日に携帯電話やスマートフォンを、どのくらいの時間使っていますか。(1つだけ○)

1 4時間以上	2 3~4時間	3 2~3時間
4 1~2時間	5 1時間より少ない	6 まったく利用していない

問 17. 普段、あなたは地域の人たちとどのように接していますか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 会ったときにあいさつをしている | 2 会ったときに声をかけたり話をしたりする |
| 3 困ったときや悩んでいるときに相談にのってもら | 4 スポーツや音楽などを教えてもらう |
| 5 地域の祭りやイベントで交流している | 6 交流したいが、交流していない |
| 7 交流するつもりはない | 8 その他() |

3. 自分自身や将来のことについて

問 18. あなたは、将来どのような大人になりたいと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------------------------|------------------------|
| 1 世界で活躍できるような大人 | 2 仕事に就いて自立できる大人 |
| 3 自分で思っていることや感じていることを表現し、伝えることができる大人 | |
| 4 物事の善悪をきちんと判断できる大人 | 5 他人の立場を考えられる大人 |
| 6 地域のために役立つことができる大人 | 7 難しいことでもあきらめず、挑戦できる大人 |
| 8 社会に役立つことができる大人 | 9 その他() |

問 19. あなたは、大人になっても高松市や今住んでいる地域に住み続けたいと思いますか。(1つだけ○)

- | | | | |
|------|--------------|----------------|--------|
| 1 思う | 2 どちらかといえば思う | 3 どちらかといえば思わない | 4 思わない |
|------|--------------|----------------|--------|

4. その他

問 20. 新型コロナウイルス感染症の流行に関して、あなたが不安に感じていることは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 学習に関すること | 2 気持ちに関すること |
| 3 コミュニケーション不足に関すること | 4 運動不足・体力の低下などに関すること |
| 5 生活習慣の乱れに関すること | 6 学校の行事に関すること |
| 7 部活動に関すること | 8 ICT、オンラインに関すること |
| 9 学校での感染症対策に関すること | 10 特にない、分からない |
| 11 その他() | |



問 21. 最後に、今後の学校生活でやってみたいことや、学校が変わってほしいと思うことがあれば、ご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。

5. 調査票(小・中学校保護者用)

問 1. あなたのお子さんが通っている学校名を記入してください。

() 小学校/中学校

1. 子どもの教育について

問 2. あなたは、これからの子どもたちに特に必要な資質・能力はどれだと思いますか。(3つまで○)

1 基礎的・基本的な学力	2 情報や情報手段を主体的に選択し、活用する力
3 国際感覚や語学力	4 夢や目標を持ち、その実現に向けて計画的に努力する力
5 互いを尊重し、認め合う力	6 たくましく生きるための健康や体力
7 ふるさとを愛し、大切にしていく力	8 人と協調し、助け合う力
9 社会の変化に対応し、自ら学び続ける力	10 困難な課題にねばり強く取り組む力
11 自分の思いを表現したり、人と対話したりする力	12 ルールを守り、よりよい社会づくりに参加する力
13 分からない	14 その他()

問 3. あなたが、子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。(3つまで○)

1 子どもたちの学力	2 子どもたちの道徳心や規範意識
3 子どもたちの健康状態や体力	4 子どもたちの基本的な生活習慣
5 子どもたちの問題行動やいじめ	6 子どもたちの不登校
7 家庭環境などによる教育格差	8 家庭の教育力
9 地域の教育力	10 学校・家庭・地域の連携
11 学校の指導力	12 特にない、分からない
13 その他()	

2. 学校教育・生活について

問 4. あなたのお子さんは、学校に楽しく通っていますか。(1つだけ○)

1 とても楽しそう 2 まあまあ楽しそう 3 あまり楽しそうでない 4 楽しくなさそう

問 5. 問4の回答について、理由は何だと思いますか。(1つだけ○)

1 勉強のこと 2 友だちのこと 3 先生のこと 4 その他()

問 6. あなたはお子さんが、学習内容をどのくらい理解していると思いますか。(1つだけ○)

1 大部分を理解している	2 だいたい理解している
3 あまり理解できていない	4 ほとんど理解できていない

【「3」「4」を選んだ人にお聞きします。】

問 7. 理解が十分でない理由は何だと思いますか。(3つまで○)

1 学習意欲があまりない	2 学ばなければならない量が多すぎる
3 学習内容が難しい	4 授業がよく分からない
5 今までの学習が定着していない	6 学習に対する時間が十分でない
7 理由は分からない	8 その他()

問 8. あなたのお子さんは、一人一台端末を使った授業について、意欲的に取り組んでいると思いますか。(1つだけ○)

1 とても意欲的に取り組んでいる	2 意欲的に取り組んでいる
3 変わらない	4 授業についていけなくなった

問 9. あなたは、学校に対してどのようなことを望みますか。(3つまで○)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| 1 教育に対する責任感や愛情を持って接すること | 2 分かりやすい授業を工夫すること |
| 3 生活習慣や社会規範の手本となり指導すること | 4 子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること |
| 5 子どもや保護者の相談に対して、しっかり話を聞いて的確に助言すること | |
| 6 担当教科に関して専門的な知識を持っていること | 7 子どもに公平に接すること |
| 8 社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること | |
| 9 基礎的な体づくりを推進すること | 10 情操や豊かな心を育むこと |
| 11 特にない、わからない | 12 その他() |

3. 家庭・地域における教育について

問 10. あなたは、お子さんが、将来について考えていると思いますか。(1つだけ○)

- | | | | |
|-----------|--------------|-------------|----------|
| 1 よく考えている | 2 ある程度は考えている | 3 あまり考えていない | 4 考えていない |
|-----------|--------------|-------------|----------|

問 11. あなたは、将来、お子さんに高松市に住み続けてもらいたいと思いますか。(1つだけ○)

- | | | | |
|------|--------------|----------------|--------|
| 1 思う | 2 どちらかといえば思う | 3 どちらかといえば思わない | 4 思わない |
|------|--------------|----------------|--------|

問 12. あなたは、家庭教育についてどのような取組が必要だと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| 1 子どもに対する教育の方法や心構えを学ぶ機会を設ける | 2 保護者同士が教育について話し合える機会をつくる |
| 3 しつけや教育について相談できる場所をつくる | 4 子どもと保護者が一緒に様々な体験ができる機会を増やす |
| 5 家族の団らんの場をつくる | 6 朝食、マナーなど食の大切さの理解を深める |
| 7 携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方への理解を深める | 8 特にない、わからない |
| 9 その他() | |

問 13. 地域とともにある学校にするために、あなたは何が大切だと思いますか。(3つまで○)

- | |
|---|
| 1 学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する |
| 2 学校の教育目標や取組を、地域の方々には知らせる |
| 3 特定の日だけに限らず、授業を積極的に公開する |
| 4 ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く |
| 5 登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる |
| 6 地域の施設などを利用した校外学習を進める |
| 7 地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する |
| 8 教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する |
| 9 放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する |
| 10 特にない、わからない |
| 11 その他() |

問 14. あなたは、「地域の教育力」を高めるために、どのような取組が必要だと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1 地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする | |
| 2 子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする | |
| 3 家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする | |
| 4 地域活動を増やし、行事の内容を見直すことにより、参加者を増やす | |
| 5 地域活動の新たな担い手を増やす | 6 安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする |
| 7 子どもが、保護者以外の大人(近隣の方)と触れ合う機会を増やす | |
| 8 学校、家庭、地域、社会教育施設が一体となって活動する機会を増やす | 9 特にない、わからない |
| 10 その他() | |

4. その他

問 15. 教育に関する主な施策のうち、今後、高松市が力を入れて行う必要があるものはどれですか。
(3つまで○)

- 1 子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施
- 2 キャリア教育・職場体験活動等の充実
- 3 国際社会での活躍を見据えた英語教育の推進
- 4 コンピュータなどのICTを活用した授業の推進
- 5 特別支援教育の充実
- 6 豊かな心を育む道徳教育の推進
- 7 不登校の子どもの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応
- 8 運動に親しむ習慣づくりと体力の向上
- 9 学校給食の充実(食育を含む)
- 10 人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にされた教育の推進
- 11 ふるさと教育の推進
- 12 読書活動の推進
- 13 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図る幼保小連携の推進
- 14 小学校と中学校の連携の推進
- 15 教職員の資質や指導力の向上
- 16 学校施設の老朽化対策など、より良い教育環境の整備
- 17 子どもの安全確保
- 18 情報モラル教育の推進(携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方)
- 19 学校・家庭・地域が連携して子育てをしていくための取組の充実
- 20 その他()

問 16. 新型コロナウイルス感染症の流行に関して、高松市の子どもたちの教育について不安に感じていることは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 学習に関すること | 2 気持ちに関すること |
| 3 コミュニケーション不足に関すること | 4 運動不足・体力の低下などに関すること |
| 5 生活習慣の乱れに関すること | 6 学校行事に関すること |
| 7 部活動に関すること | 8 ICT、オンラインに関すること |
| 9 学校での感染症対策に関すること | 10 特にない、分からない |
| 11 その他() | |

問 17. 最後に、日頃、学校教育や家庭・地域の教育力について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

6. 調査票(幼稚園・こども園保護者用)

問 1.あなたのお子さんが通っている幼稚園・こども園名を記入してください。

() 幼稚園/こども園

1. 園生活について

問 2.あなたのお子さんは、幼稚園・こども園に楽しく通っていますか。(1つだけ○)

1 とても楽しそう
2 まあまあ楽しそう
3 あまり楽しそうでない
4 楽しくなさそう

問 3.問2の回答について、理由は、何だと思えますか。(1つだけ○)

1 幼稚園・こども園での活動のこと
2 友だちのこと
3 先生のこと
4 その他()

問 4.小学校生活について、不安に感じることは何ですか。(3つまで○)

1 授業内容を理解できるかなど、子どもの学力に関すること
2 学校の先生が園の先生のように子どもを受容し理解してくれるかなど、先生の子どもの理解に関すること
3 積極的に発言したり、自主的に調べたりなど、子どもの学びへの意欲や探究に関すること
4 困ったときに助けを求められることができるなど、先生と子どもの関係構築に関すること
5 一緒に遊んだり助け合ったりするなど、子どもと友人との関係構築に関すること
6 身支度、持ち物確認など、子どもの生活習慣の自立に関すること
7 放課後の居場所(学童など)に関すること
8 車や不審者に気を付けるなど、通学路や近隣での子どもの安全に関すること
9 不安、困ったことは特にない
10 その他()

問 5.就学前教育と小学校教育との円滑な接続に向けて、どのような取組が必要だと思えますか。(3つまで○)

1 就学前に、学校生活の前提となる生活習慣や自立性を育てること
2 就学前に、遊びを通して、学校の教科学習の前提となる体験・経験をさせること
3 就学前に、学校の教科学習を先行的に体験・経験させること
4 就学後に、幼児期の生活に基づいて子どもが学校生活に慣れていけるよう、学校側が工夫や支援をすること
5 就学後に、学校側が遊びを通して、教科学習に関する体験・経験をさせること
6 就学後に、幼児期の学びに基づいた学習内容や指導方法を学校側が工夫すること
7 特にない
8 その他()

2. その他

問 6. あなたは学校に対してどのようなことを望みますか。(3つまで○)

- 1 教育に対する責任感や愛情を持って接すること
- 2 分かりやすい授業を工夫すること
- 3 生活習慣や社会規範の手本となり指導すること
- 4 子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること
- 5 子どもや保護者の相談に対して、しっかり話を聞いて的確に助言すること
- 6 担当教科に関して専門的な知識を持っていること
- 7 子どもに公平に接すること
- 8 社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること
- 9 基礎的な体づくりを推進すること
- 10 情操や豊かな心を育むこと
- 11 特にない、わからない
- 12 その他()

問 7. 教育に関する主な施策のうち、今後、高松市が力を入れて行う必要があるものはどれですか。(3つまで○)

- 1 子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施
- 2 キャリア教育・職場体験活動等の充実
- 3 国際社会での活躍を見据えた英語教育の推進
- 4 コンピュータなどの ICT を活用した授業の推進
- 5 特別支援教育の充実
- 6 豊かな心を育む道徳教育の推進
- 7 不登校の子どもの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応
- 8 運動に親しむ習慣づくりと体力の向上
- 9 学校給食の充実(食育を含む)
- 10 人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にされた教育の推進
- 11 ふるさと教育の推進
- 12 読書活動の推進
- 13 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図る幼保小連携の推進
- 14 小学校と中学校の連携の推進
- 15 教職員の資質や指導力の向上
- 16 学校施設の老朽化対策など、より良い教育環境の整備
- 17 子どもの安全確保
- 18 情報モラル教育の推進(携帯電話・スマートフォンや SNS の正しい使い方)
- 19 学校・家庭・地域が連携して子育てをしていくための取組の充実
- 20 その他()

問 8. 最後に、日頃、学校教育や家庭・地域の教育力について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

7. 調査票(小・中学校教員用)

問 1. あなたの勤めている学校名を記入してください。

() 小学校/中学校

問 2. あなたの年齢を教えてください。(1つだけ○)

1 20代	2 30代	3 40代	4 50代以上
-------	-------	-------	---------

問 3. あなたの学校での立場を教えてください。(1つだけ○)

1 教頭以上の管理職	2 教諭	3 左記以外
------------	------	--------

1. 子どもの教育について

問 4. あなたは、これからの子どもたちに特に必要な資質・能力はどれだと思いますか。(3つまで○)

1 基礎的・基本的な学力
2 情報や情報手段を主体的に選択し、活用する力
3 国際感覚や語学力
4 夢や目標を持ち、その実現に向けて計画的に努力する力
5 互いを尊重し、認め合う力
6 たくましく生きるための健康や体力
7 ふるさとを愛し、大切にしていける力
8 人と協調し、助け合う力
9 社会の変化に対応し、自ら学び続ける力
10 困難な課題にねばり強く取り組む力
11 自分の思いを表現したり、人と対話したりする力
12 ルールを守り、よりよい社会づくりに参加する力
13 分からない
14 その他()

問 5. あなたが、子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。(3つまで○)

1 子どもたちの学力	2 子どもたちの道徳心や規範意識
3 子どもたちの健康状態や体力	4 子どもたちの基本的な生活習慣
5 子どもたちの問題行動やいじめ	6 子どもたちの不登校
7 家庭環境などによる教育格差	8 家庭の教育力
9 地域の教育力	10 学校・家庭・地域の連携
11 学校の指導力	12 特にない、分からない
13 その他()	

2. 学校教育について

問 6. あなたの学校を、「楽しい」と感じている児童生徒の割合はどの程度だと思いますか。(1つだけ○)

1 ほとんどである(85%以上)	2 かなりの割合である(70%程度)
3 半数程度(50%程度)	4 あまりいない

問 7. 一人一台端末を使った授業について、「楽しい」と感じている児童生徒の割合はどの程度だと思いますか。(1つだけ○)

1 ほとんどである(85%以上)	2 かなりの割合である(70%程度)
3 半数程度(50%程度)	4 あまりいない

3. 学校・地域における教育について

問 8. 学校は、保護者や地域の方にどのようなことを期待されていると思いますか。(3つまで○)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| 1 教育に対する責任感や愛情を持って接すること | 2 分かりやすい授業を工夫すること |
| 3 生活習慣や社会規範の手本となり指導すること | |
| 4 子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること | |
| 5 子どもや保護者の相談に対して、しっかり話を聞いて的確に助言すること | |
| 6 担当教科に関して専門的な知識を持っていること | 7 子どもに公平に接すること |
| 8 社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること | 9 基礎的な体づくりを推進すること |
| 10 情操や豊かな心を育むこと | 11 特にない、わからない |
| 12 その他() | |

問 9. あなたが、学校教育を推進するうえで保護者や地域住民に協力してほしいと思うことはどんなことですか。(3つまで○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 児童生徒の登下校の見守り活動 | 2 PTA・保護者会などの活動 |
| 3 校内美化活動などの環境整備 | 4 授業の補助や放課後指導の充実 |
| 5 読書活動の支援や読み聞かせ | 6 部活動の指導や協力 |
| 7 非行防止や生徒指導への協力 | 8 地域防犯活動への協力 |
| 9 自然災害時の児童生徒の安全への協力 | 10 授業参観等への参加 |
| 11 学校行事等への参加、協力 | 12 特にない |
| 13 その他() | |

問 10. 地域とともにある学校にするために、あなたは何が大切だと思いますか。(3つまで○)

- | |
|---|
| 1 学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する |
| 2 学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる |
| 3 特定の日だけに限らず、授業を積極的に公開する |
| 4 ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く |
| 5 登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる |
| 6 地域の施設などを利用した校外学習を進める |
| 7 地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する |
| 8 教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する |
| 9 放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する |
| 10 特にない、わからない |
| 11 その他() |

【小学校教員の方にお聞きします。】

問 11. 就学前教育と小学校教育との円滑な接続に向けて、どのような取組が必要だと思いますか。(3つまで○)

- | |
|--|
| 1 就学前に、学校生活の前提となる生活習慣や自立性を育てること |
| 2 就学前に、遊びを通して、学校の教科学習の前提となる体験・経験をさせること |
| 3 就学前に、学校の教科学習を先行的に体験・経験させること |
| 4 就学後に、幼児期の生活に基づいて子どもが学校生活に慣れていけるよう、学校側が工夫や支援をすること |
| 5 就学後に、学校側が遊びを通して、教科学習に関する体験・経験をさせること |
| 6 就学後に、幼児期の学びに基づいた学習内容や指導方法を学校側が工夫すること |
| 7 特にない |
| 8 その他() |

4. その他

問 12. 教育に関する主な施策のうち、今後、高松市が力を入れて行う必要があるものはどれですか。(3つまで○)

- 1 子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施
- 2 キャリア教育・職場体験活動等の充実
- 3 国際社会での活躍を見据えた英語教育の推進
- 4 コンピュータなどのICTを活用した授業の推進
- 5 特別支援教育の充実
- 6 豊かな心を育む道德教育の推進
- 7 不登校の子どもの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応
- 8 運動に親しむ習慣づくりと体力の向上
- 9 学校給食の充実(食育を含む)
- 10 人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にした教育の推進
- 11 ふるさと教育の推進
- 12 読書活動の推進
- 13 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図る幼保小連携の推進
- 14 小学校と中学校の連携の推進
- 15 教職員の資質や指導力の向上
- 16 学校施設の老朽化対策など、より良い教育環境の整備
- 17 子どもの安全確保
- 18 情報モラル教育の推進(携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方)
- 19 学校・家庭・地域が連携して子育てをしていくための取組の充実
- 20 その他()

問 13. 新型コロナウイルス感染症の流行に関して、高松市の子どもたちの教育について不安に感じていることは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 学習保障に関すること | 2 心のケアに関すること |
| 3 対面によるコミュニケーション不足に関すること | 4 運動不足・体力の低下など健康保持に関すること |
| 5 生活習慣の乱れに関すること | 6 学校行事に関すること |
| 7 部活動に関すること | 8 ICT環境整備、オンライン指導に関すること |
| 9 学校での感染症対策に関すること | 10 特にない、分からない |
| 11 その他() | |

問 14. 最後に、日頃、学校教育について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

8. 調査票(幼稚園・こども園教員用)

問 1. あなたの勤めている幼稚園・こども園名を記入してください。

() 幼稚園/こども園

問 2. あなたの年齢を教えてください。(1つだけ○)

1 20代	2 30代	3 40代	4 50代以上
-------	-------	-------	---------

問 3. あなたの幼稚園・こども園での立場を教えてください。(1つだけ○)

1 園長	2 クラス担任
------	---------

1. 就学前教育について (小学校との接続)

問 4. 就学前教育と小学校教育との円滑な接続について、不安に感じることは何ですか。(3つまで○)

1 授業内容を理解できるかなど、子どもの学力に関すること
2 学校の先生が園の先生のように子どもを受容し理解してくれるかなど、先生の子どもの理解に関すること
3 積極的に発言したり、自主的に調べたりなど、子どもの学びへの意欲や探究に関すること
4 困ったときに助けを求められることができるなど、先生と子どもの関係構築に関すること
5 一緒に遊んだり助け合ったりするなど、子どもと友人との関係構築に関すること
6 身支度、持ち物確認など、子どもの生活習慣の自立に関すること
7 放課後の居場所(学童など)に関すること
8 車や不審者に気を付けるなど、通学路や近隣での子どもの安全に関すること
9 不安、困ったことは特にない
10 その他()

問 5. 就学前教育と小学校教育との円滑な接続に向けて、どのような取組が必要だと思えますか。(3つまで○)

1 就学前に、学校生活の前提となる生活習慣や自立性を育てること
2 就学前に、遊びを通して、学校の教科学習の前提となる体験・経験をさせること
3 就学前に、学校の教科学習を先行的に体験・経験させること
4 就学後に、幼児期の生活に基づいて子どもが学校生活に慣れていけるよう、学校側が工夫や支援をすること
5 就学後に、学校側が遊びを通して、教科学習に関する体験・経験をさせること
6 就学後に、幼児期の学びに基づいた学習内容や指導方法を学校側が工夫すること
7 特にない
8 その他()

2. その他

問 6. 教育に関する主な施策のうち、今後、高松市が力を入れて行う必要があるものはどれですか。
(3つまで○)

- 1 子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施
- 2 キャリア教育・職場体験活動等の充実
- 3 国際社会での活躍を見据えた英語教育の推進
- 4 コンピュータなどのICTを活用した授業の推進
- 5 特別支援教育の充実
- 6 豊かな心を育む道德教育の推進
- 7 不登校の子どもの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応
- 8 運動に親しむ習慣づくりと体力の向上
- 9 学校給食の充実(食育を含む)
- 10 人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にされた教育の推進
- 11 ふるさと教育の推進
- 12 読書活動の推進
- 13 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図る幼保小連携の推進
- 14 小学校と中学校の連携の推進
- 15 教職員の資質や指導力の向上
- 16 学校施設の老朽化対策など、より良い教育環境の整備
- 17 子どもの安全確保
- 18 情報モラル教育の推進(携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方)
- 19 学校・家庭・地域が連携して子育てをしていくための取組の充実
- 20 その他()

問 7. 最後に、日頃、学校教育について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

9. 調査票(一般市民用)

問 1. あなたの年齢を教えてください。(1つだけ○)

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1 20代 | 2 30代 | 3 40代 | 4 50代 | 5 60代 | 6 70代以上 |
|-------|-------|-------|-------|-------|---------|

問 2. あなたは、同居家族に高校生以下のお子さんはいらっしゃいますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 1 未就学児 | 2 小学生 | 3 中学生 | 4 高校生 | 5 いない |
|--------|-------|-------|-------|-------|

1. 子どもの教育について

問 3. あなたは、これからの子どもたちに特に必要な資質・能力はどれだと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1 基礎的・基本的な学力 | 2 情報や情報手段を主体的に選択し、活用する力 |
| 3 国際感覚や語学力 | 4 夢や目標を持ち、その実現に向けて計画的に努力する力 |
| 5 互いを尊重し、認め合う力 | 6 たくましく生きるための健康や体力 |
| 7 ふるさとを愛し、大切にしていく力 | 8 人と協調し、助け合う力 |
| 9 社会の変化に対応し、自ら学び続ける力 | 10 困難な課題にねばり強く取り組む力 |
| 11 自分の思いを表現したり、人と対話したりする力 | 12 ルールを守り、よりよい社会づくりに参加する力 |
| 13 分からない | 14 その他() |

問 4. あなたが、子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 子どもたちの学力 | 2 子どもたちの道徳心や規範意識 |
| 3 子どもたちの健康状態や体力 | 4 子どもたちの基本的な生活習慣 |
| 5 子どもたちの問題行動やいじめ | 6 子どもたちの不登校 |
| 7 家庭環境などによる教育格差 | 8 家庭の教育力 |
| 9 地域の教育力 | 10 学校・家庭・地域の連携 |
| 11 学校の指導力 | 12 特にない、分からない |
| 13 その他() | |

2. 学校教育について

問 5. あなたは、小・中学校に対してどのようなことを望みますか。(3つまで○)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| 1 教育に対する責任感や愛情を持って接すること | 2 分かりやすい授業を工夫すること |
| 3 生活習慣や社会規範の手本となり指導すること | 4 子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること |
| 5 子どもや保護者の相談に対して、しっかり話を聞いて的確に助言すること | |
| 6 担当教科に関して専門的な知識を持っていること | 7 子どもに公平に接すること |
| 8 社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること | |
| 9 基礎的な体づくりを推進すること | 10 情操や豊かな心を育むこと |
| 11 特にない、わからない | 12 その他() |

問 6. 地域とともにある学校にするために、あなたは何が大切だと思いますか。(3つまで○)

- | |
|---|
| 1 学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する |
| 2 学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる |
| 3 特定の日だけに限らず、授業を積極的に公開する |
| 4 ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く |
| 5 登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる |
| 6 地域の施設などを利用した校外学習を進める |
| 7 地域の方や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する |
| 8 教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する |
| 9 放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する |
| 10 特にない、わからない |
| 11 その他() |

3. 家庭・地域における教育について

問 7. あなたは、家庭教育についてどのような取組が必要だと思いますか。(3つまで○)

- 1 子どもに対する教育の方法や心構えを学ぶ機会を設ける
- 2 保護者同士が教育について話し合える機会をつくる
- 3 しつけや教育について相談できる場所をつくる
- 4 子どもと保護者が一緒に様々な体験ができる機会を増やす
- 5 家族の団らんの場をつくる
- 6 朝食、マナーなど食の大切さの理解を深める
- 7 携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方への理解を深める
- 8 特になし、分からない
- 9 その他()

問 8. 普段、あなたは地域の子どもとどのように接していますか。(3つまで○)

- 1 会ったときにあいさつをしている
- 2 会ったときに声をかけたり話をしたりしている
- 3 良いことをしているところを見たときはほめている
- 4 悪いことをしているところを見たときは注意をしている
- 5 困ったときや悩んでいるときに相談にのっている
- 6 スポーツや音楽などを教えている
- 7 地域の祭りやイベントで交流している
- 8 交流したいが、交流していない
- 9 交流するつもりはない
- 10 その他()

問 9. あなたが、今後、地域の学校に対して協力してみたいと思うことは何ですか。(3つまで○)

- 1 自分が持つ知識・技能を教える
- 2 通学路における登下校時の見守り活動
- 3 部活動の指導
- 4 花壇や植え込みの手入れなどの環境整備
- 5 読み聞かせや図書の整理・貸出
- 6 運動会や文化祭など学校行事の支援
- 7 授業や調理実習指導の補助などの学習支援
- 8 昔遊びなどを通じた交流
- 9 協力したいことはない
- 10 その他()

問 10. あなたは、「地域の教育力」を高めるために、どのような取組が必要だと思いますか。(3つまで○)

- 1 地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする
- 2 子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする
- 3 家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする
- 4 地域活動を増やし、行事の内容を見直すことにより、参加者を増やす
- 5 地域活動の新たな担い手を増やす
- 6 安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする
- 7 子どもが、保護者以外の大人(近隣の方)と触れ合う機会を増やす
- 8 学校、家庭、地域、社会教育施設が一体となって活動する機会を増やす
- 9 特になし、分からない
- 10 その他()

4. その他

問 11. 教育に関する主な施策のうち、今後、高松市が力を入れて行う必要があるものはどれですか。
(3つまで○)

- 1 子どもたちが「分かる」と実感できる授業の実施
- 2 キャリア教育・職場体験活動等の充実
- 3 国際社会での活躍を見据えた英語教育の推進
- 4 コンピュータなどのICTを活用した授業の推進
- 5 特別支援教育の充実
- 6 豊かな心を育む道徳教育の推進
- 7 不登校の子どもの支援や暴力行為・いじめ等の問題行動の未然防止・早期対応
- 8 運動に親しむ習慣づくりと体力の向上
- 9 学校給食の充実(食育を含む)
- 10 人権を尊重し多様性を認め合う、一人一人を大切にした教育の推進
- 11 ふるさと教育の推進
- 12 読書活動の推進
- 13 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図る幼保小連携の推進
- 14 小学校と中学校の連携の推進
- 15 教職員の資質や指導力の向上
- 16 学校施設の老朽化対策など、より良い教育環境の整備
- 17 子どもの安全確保
- 18 情報モラル教育の推進(携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方)
- 19 学校・家庭・地域が連携して子育てをしていくための取組の充実
- 20 その他()

問 12. 新型コロナウイルス感染症の流行に関して、高松市の子どもたちの教育について不安に感じていることは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 学習保障に関すること | 2 心のケアに関すること |
| 3 対面によるコミュニケーション不足に関すること | 4 運動不足・体力の低下など健康保持に関すること |
| 5 生活習慣の乱れに関すること | 6 学校行事に関すること |
| 7 部活動に関すること | 8 ICT環境整備、オンライン指導に関すること |
| 9 学校での感染症対策に関すること | 10 特にない、分からない |
| 11 その他() | |

問 13. 最後に、日頃、学校教育について感じることや、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

高松市の教育に関するアンケート調査

－ 報告書 －

発行年月:令和5年5月

発 行:高松市教育委員会